

平成26年 愛知県現任保育士研修

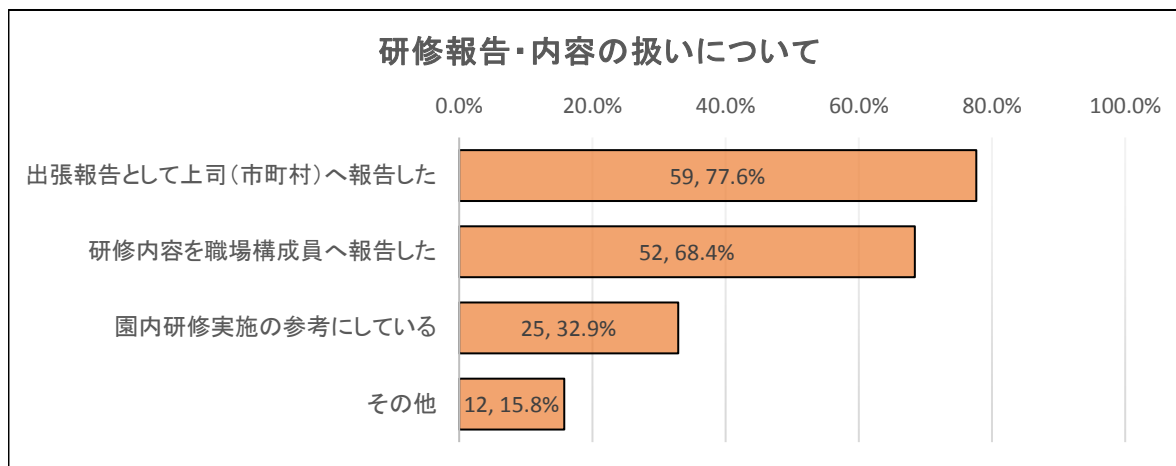
研修事後調査集計結果

	派遣自治体	派遣自治体数	回答自治体数
資料1-自	愛知県内市町村	47自治体	40自治体

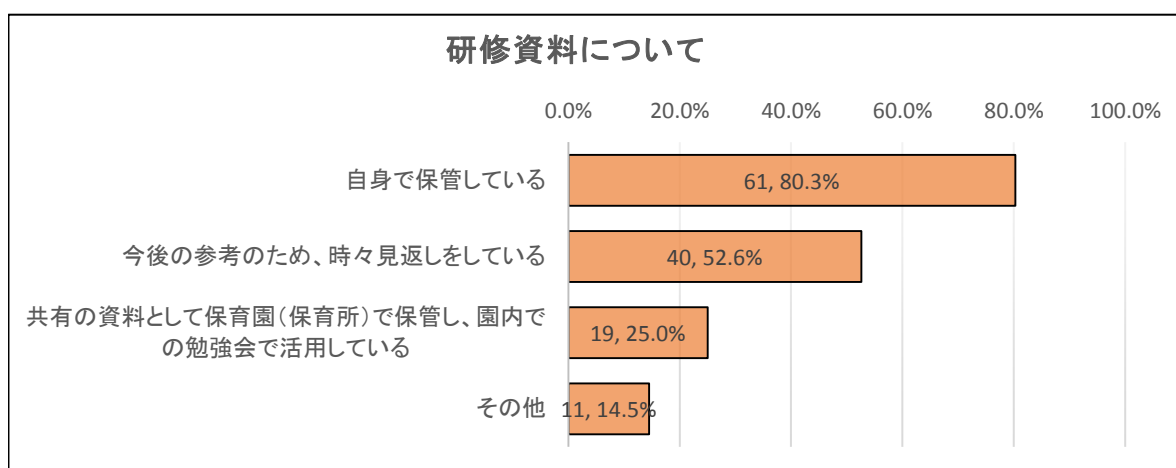
	研修名	受講者数	回答者数
資料1-園	園長研修	79名	76名
資料1-主	主任保育士研修	76名	71名
資料1-前	中堅前期保育士研修	76名	67名
資料1-後	中堅後期保育士研修	104名	100名
資料1-育	育児休業明け保育士研修	68名	66名
資料1-障	障害児保育専門研修	89名	83名
資料1-乳	乳児保育専門研修	104名	100名

研修事後調査集計結果(園長)(76名/79名)

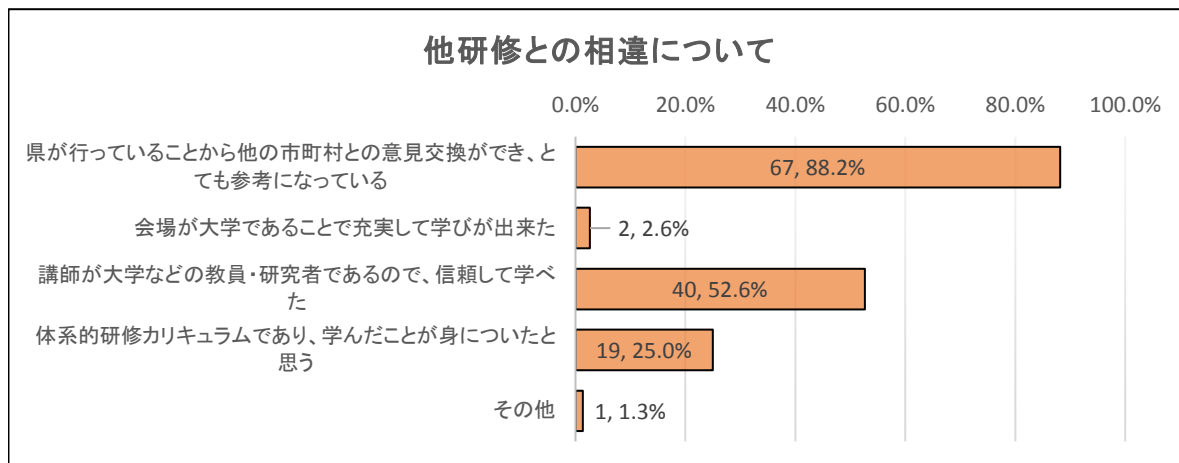
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	59	77.6%
研修内容を職場構成員へ報告した	52	68.4%
園内研修実施の参考にしている	25	32.9%
その他	12	15.8%
計	148	



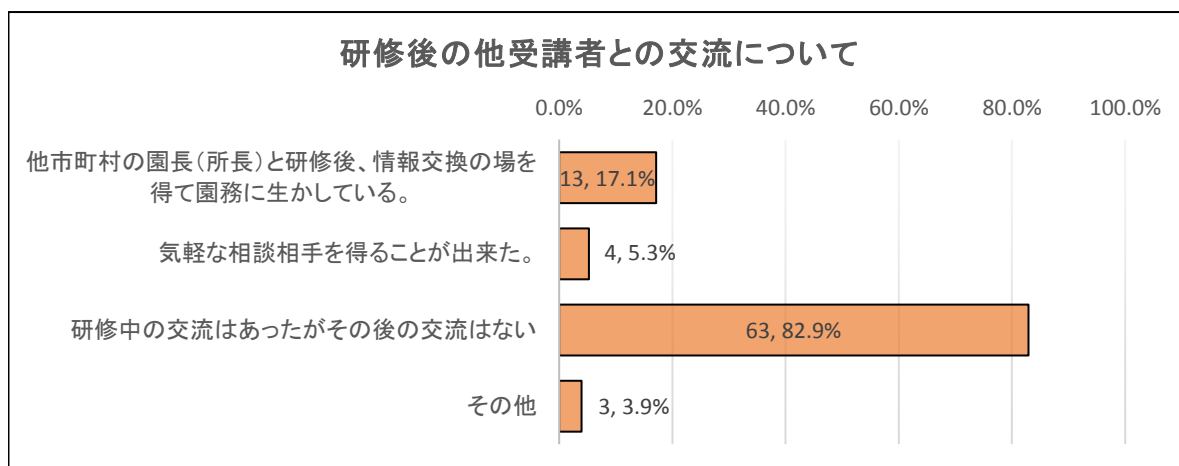
研修資料について(複数回答可)	回答数	該当受講者
自身で保管している	61	80.3%
今後の参考のため、時々見返しをしている	40	52.6%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	19	25.0%
その他	11	14.5%
計	131	



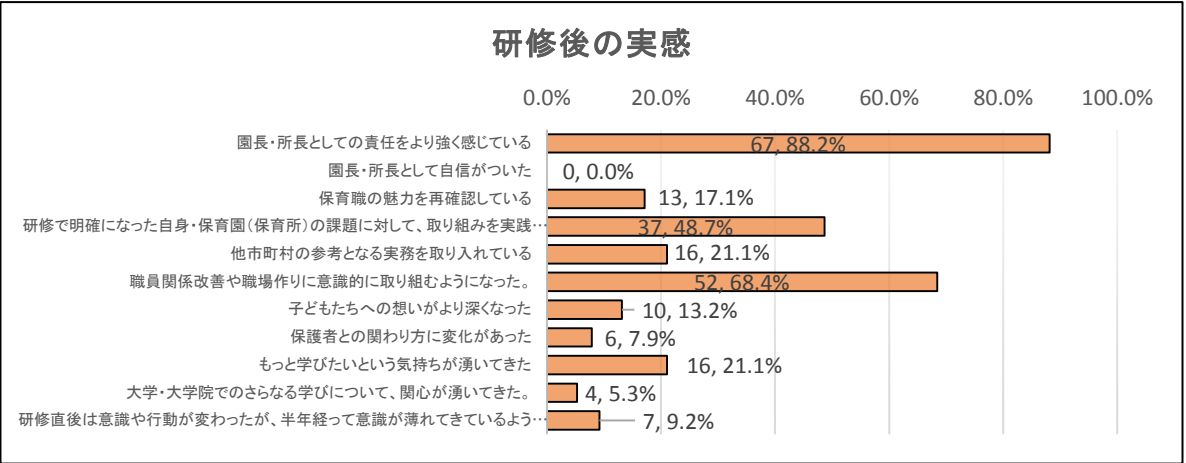
他研修との相違について(複数回答可)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	67	88.2%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	2	2.6%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	40	52.6%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	19	25.0%
その他	1	1.3%
計	129	



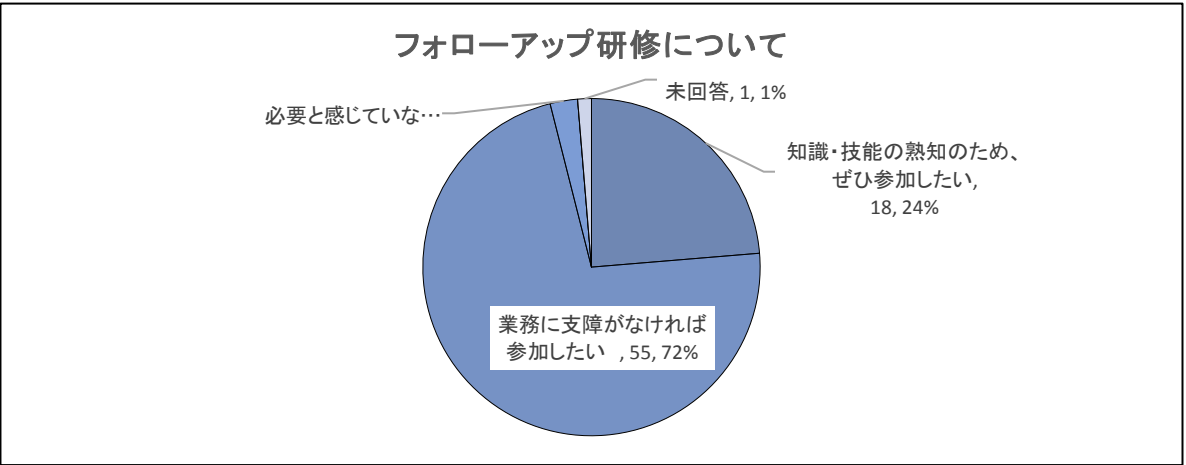
研修後他受講者との交流について(複数回答可)	回答数	該当受講者
他市町村の園長(所長)と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	13	17.1%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	4	5.3%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	63	82.9%
その他	3	3.9%
計	83	



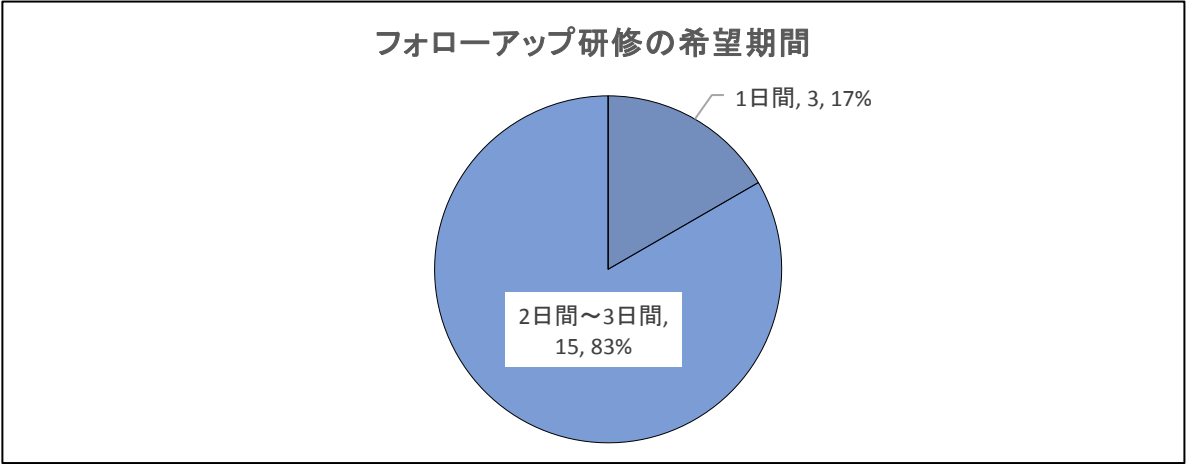
研修後の実感(複数回答可)	回答数	該当受講者
園長・所長としての責任をより強く感じている	67	88.2%
園長・所長として自信がついた	0	0.0%
保育職の魅力を再確認している	13	17.1%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	37	48.7%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	16	21.1%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	52	68.4%
子どもたちへの想いがより深くなった	10	13.2%
保護者との関わり方に変化があった	6	7.9%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	16	21.1%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	4	5.3%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	7	9.2%
計	228	



本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	18	23.7%
業務に支障がなければ参加したい	55	72.4%
必要と感じていない	2	2.6%
その他	0	0.0%
未回答	1	1.3%
計	76	100.0%

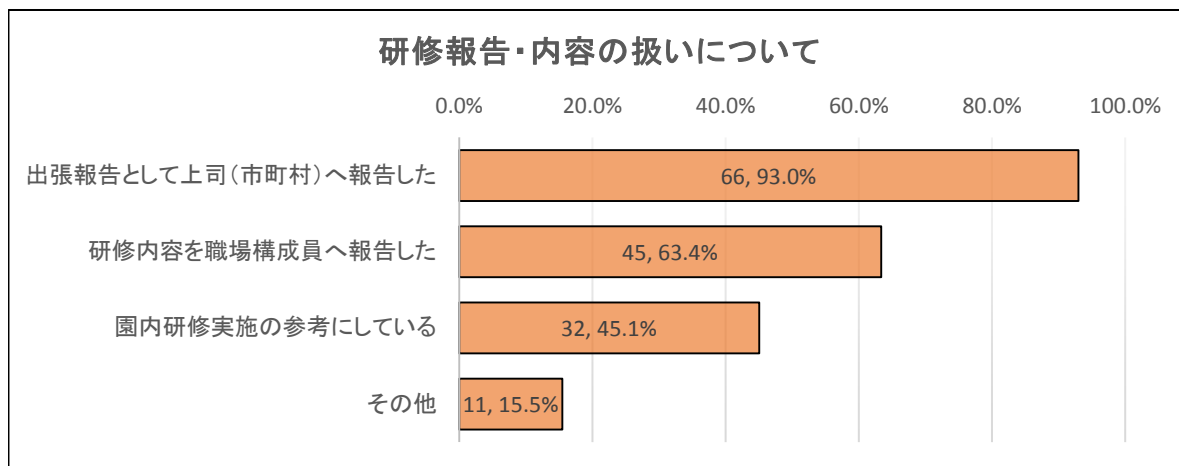


フォローアップの希望期間	回答数	割合
1日間	3	16.7%
2日間～3日間	15	83.3%
4日以上	0	0.0%
計	18	100.0%

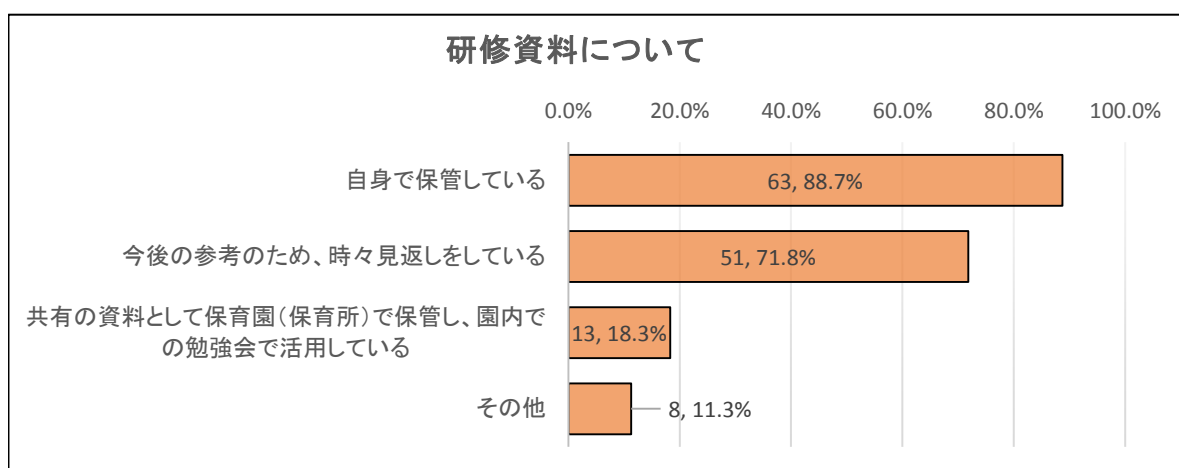


研修事後調査集計結果(主任)(71名/76名)

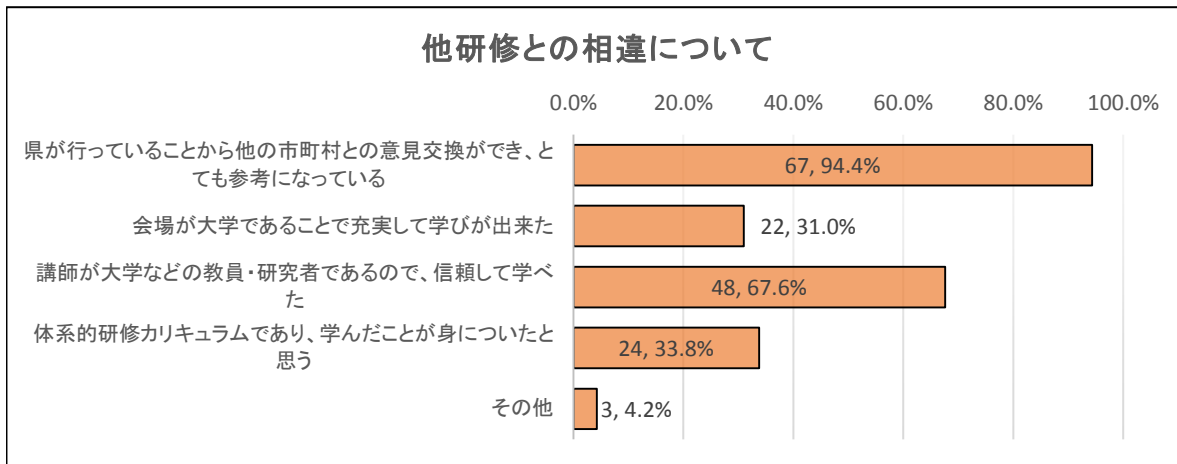
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	66	93.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	45	63.4%
園内研修実施の参考にしている	32	45.1%
その他	11	15.5%
計	154	



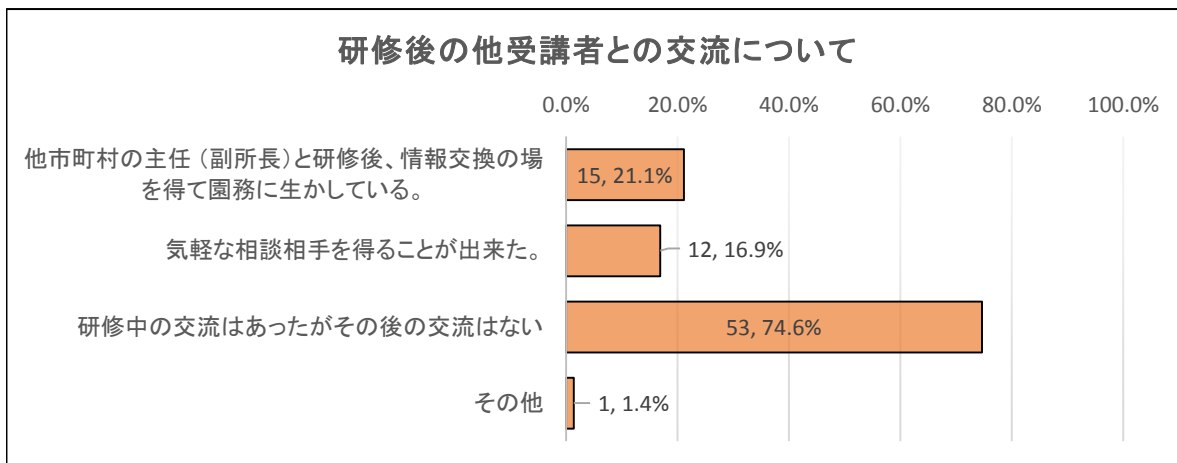
研修資料について(複数回答可)	回答数	該当受講者
自身で保管している	63	88.7%
今後の参考のため、時々見返しをしている	51	71.8%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	13	18.3%
その他	8	11.3%
計	135	



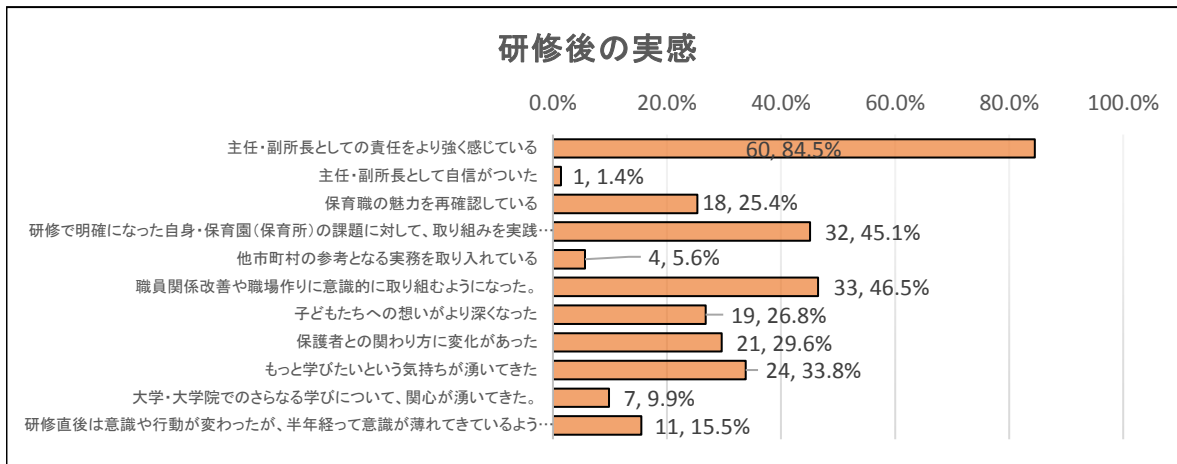
他研修との相違について(複数回答可)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	67	94.4%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	22	31.0%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	48	67.6%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	24	33.8%
その他	3	4.2%
計	164	



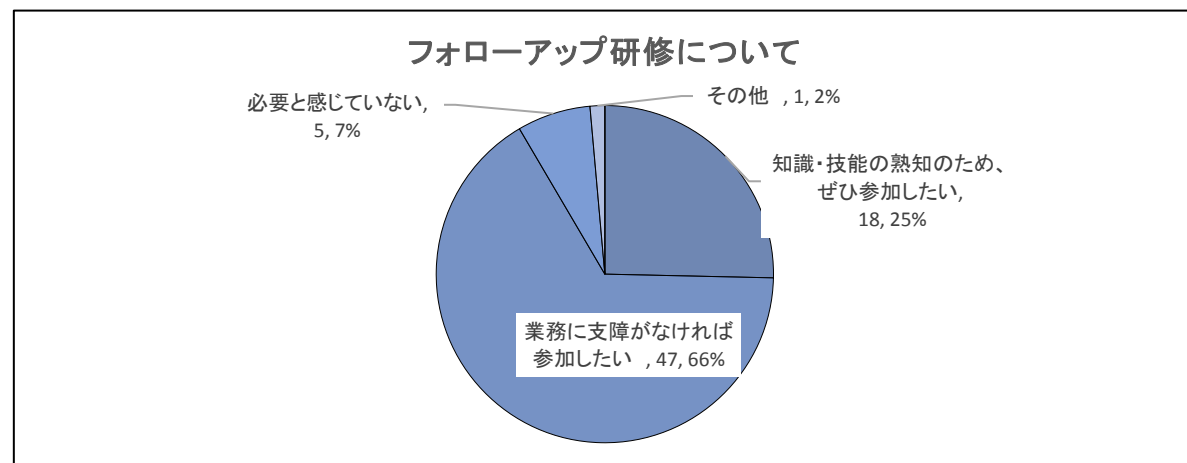
研修後他受講者との交流について(複数回答可)	回答数	該当受講者
他市町村の主任(副所長)と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	15	21.1%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	12	16.9%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	53	74.6%
その他	1	1.4%
計	81	



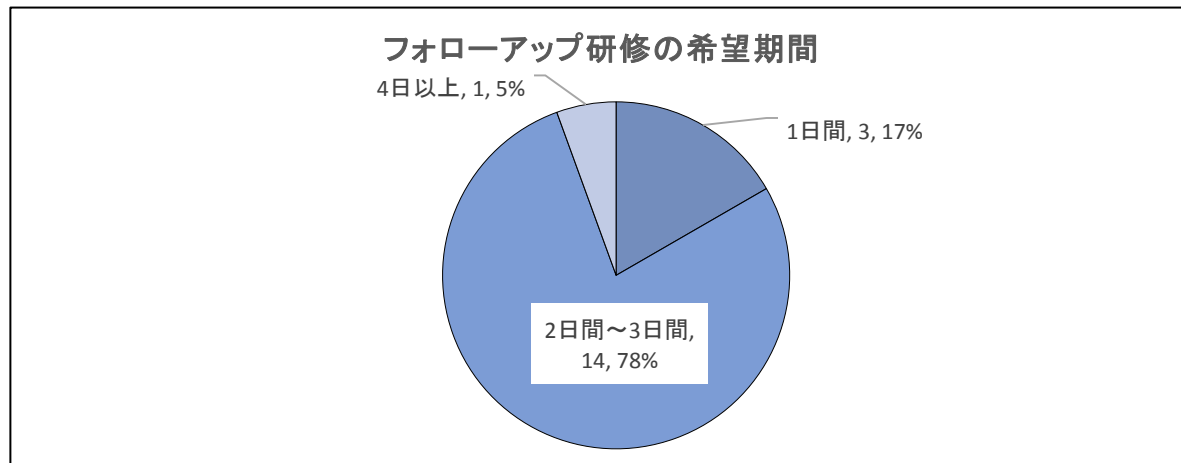
研修後の実感(複数回答可)	回答数	該当受講者
主任・副所長としての責任をより強く感じている	60	84.5%
主任・副所長として自信がついた	1	1.4%
保育職の魅力を再確認している	18	25.4%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	32	45.1%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	4	5.6%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	33	46.5%
子どもたちへの想いがより深くなった	19	26.8%
保護者との関わり方に変化があった	21	29.6%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	24	33.8%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	7	9.9%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	11	15.5%
計	230	



本研修の終了後一定期間において研修を行うフォローアップ研修について	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	18	25.4%
業務に支障がなければ参加したい	47	66.2%
必要と感じていない	5	7.0%
その他	1	1.4%
未回答	0	0.0%
計	71	100.0%

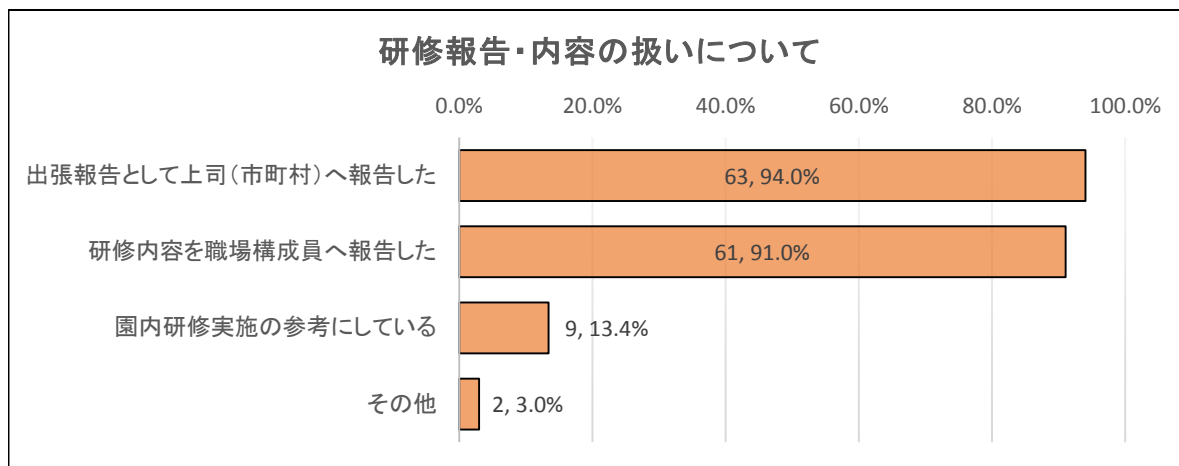


フォローアップの希望期間	回答数	割合
1日間	3	16.7%
2日間～3日間	14	77.8%
4日以上	1	5.6%
計	18	100.0%

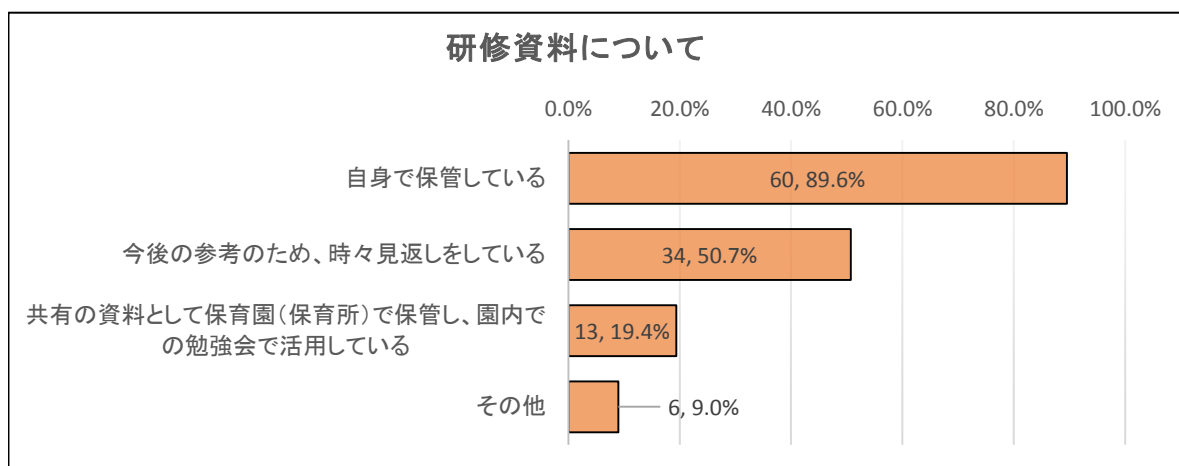


研修事後調査集計結果(中堅前期)(67名/76名)

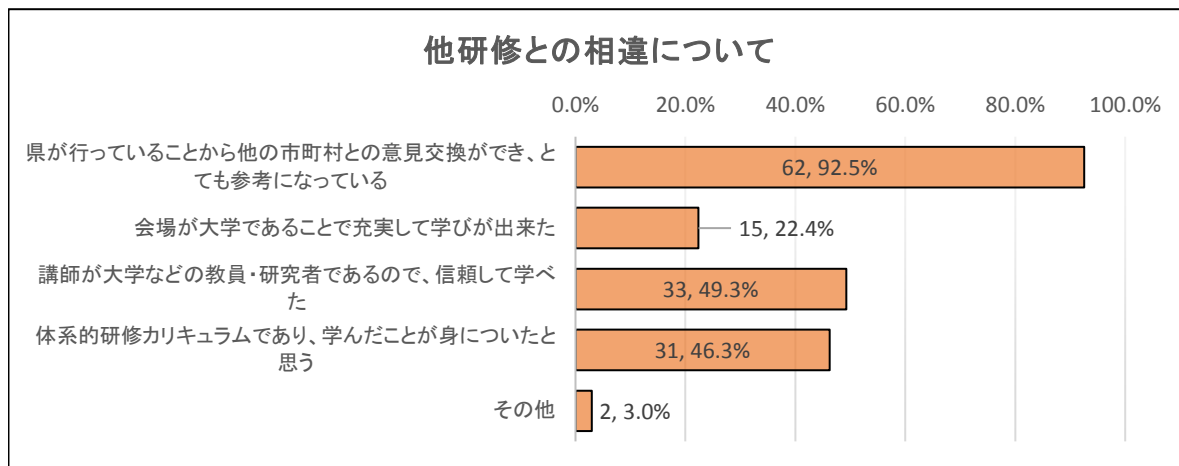
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	63	94.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	61	91.0%
園内研修実施の参考にしている	9	13.4%
その他	2	3.0%
計	135	



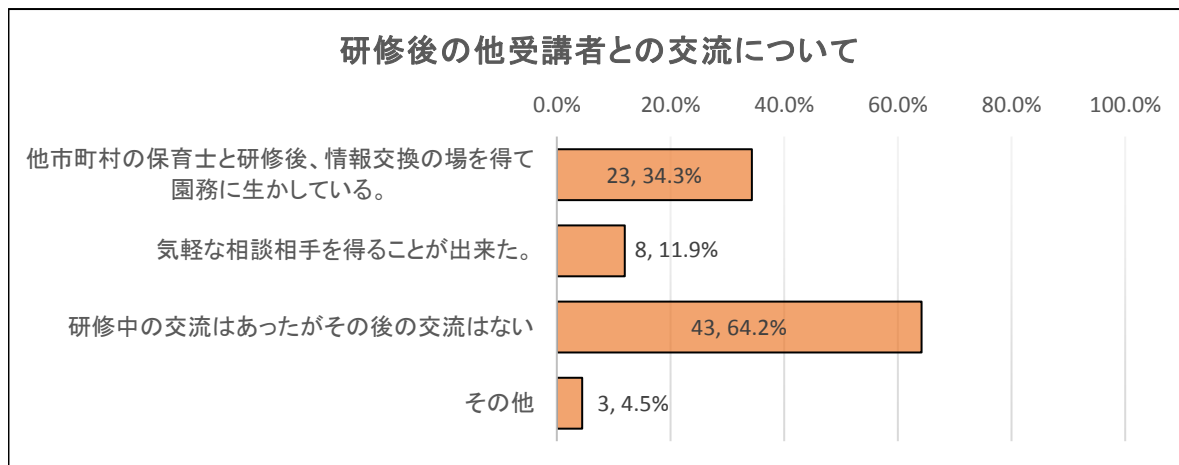
研修資料について(複数回答可)	回答数	該当受講者
自身で保管している	60	89.6%
今後の参考のため、時々見返しをしている	34	50.7%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	13	19.4%
その他	6	9.0%
計	113	



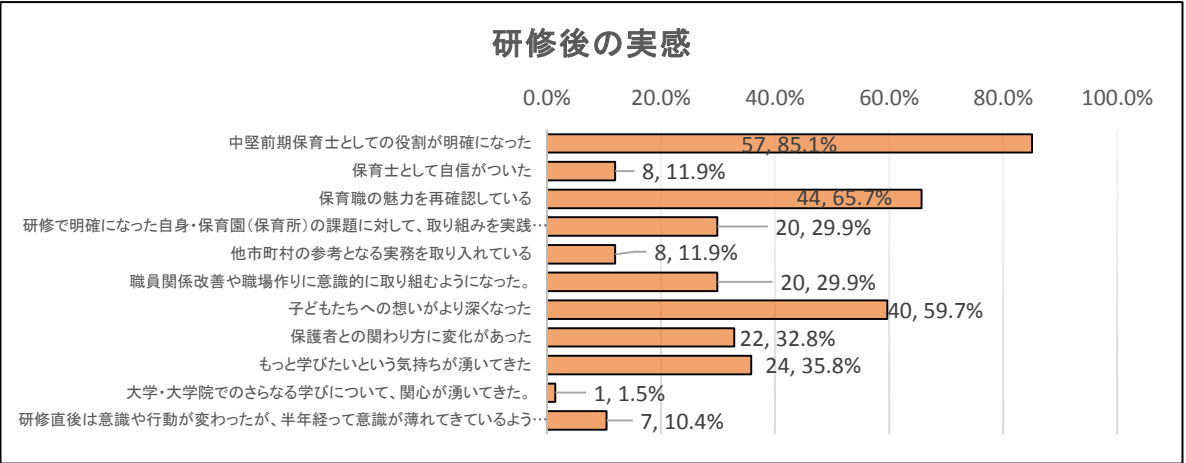
他研修との相違について(複数回答可)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	62	92.5%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	15	22.4%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	33	49.3%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	31	46.3%
その他	2	3.0%
計	143	



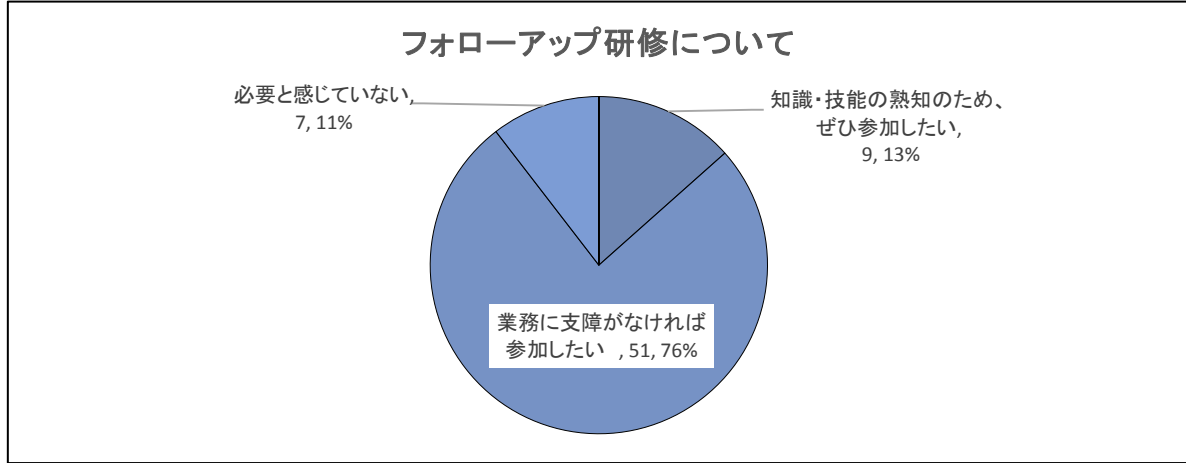
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	23	34.3%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	8	11.9%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	43	64.2%
その他	3	4.5%
計	77	



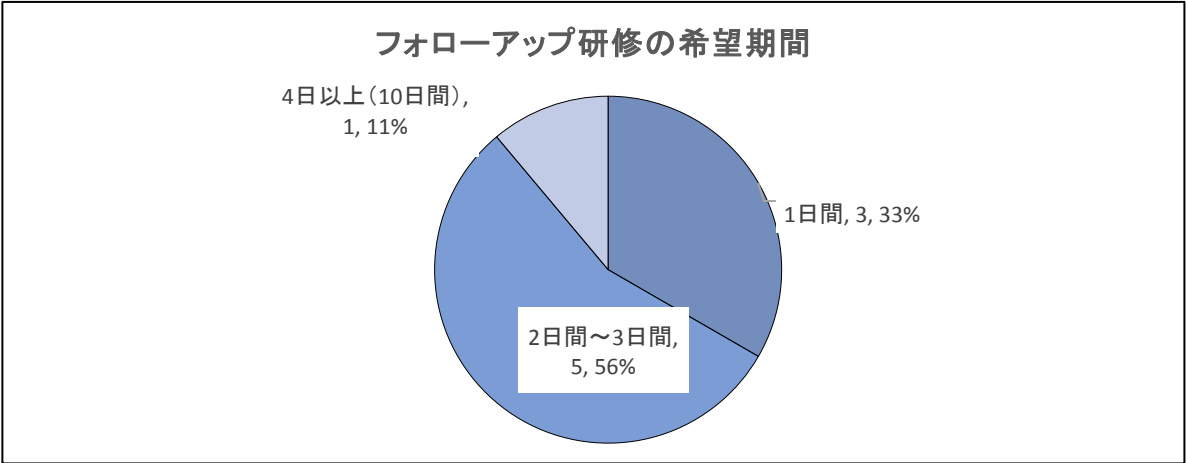
研修後の実感(複数回答可)	回答数	該当受講者
中堅前期保育士としての役割が明確になった	57	85.1%
保育士として自信がついた	8	11.9%
保育職の魅力を再確認している	44	65.7%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	20	29.9%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	8	11.9%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	20	29.9%
子どもたちへの想いがより深くなった	40	59.7%
保護者との関わり方に変化があった	22	32.8%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	24	35.8%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	1	1.5%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	7	10.4%
計	251	



本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	9	13.4%
業務に支障がなければ参加したい	51	76.1%
必要と感じていない	7	10.4%
その他	0	0.0%
未回答	0	0.0%
計	67	100.0%

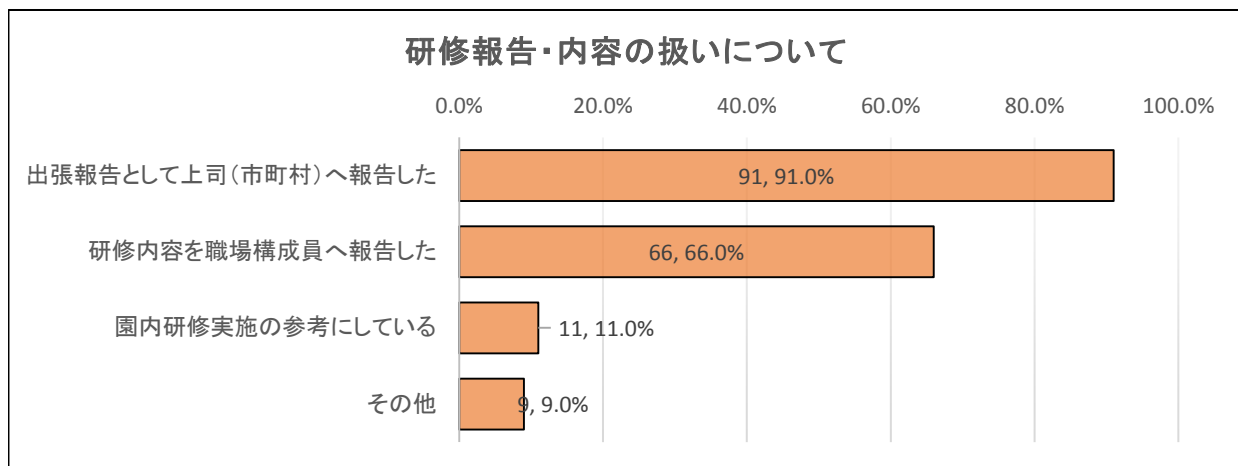


フォローアップの希望期間	回答数	割合
1日間	3	33.3%
2日間～3日間	5	55.6%
4日以上(10日間)	1	11.1%
計	9	100.0%

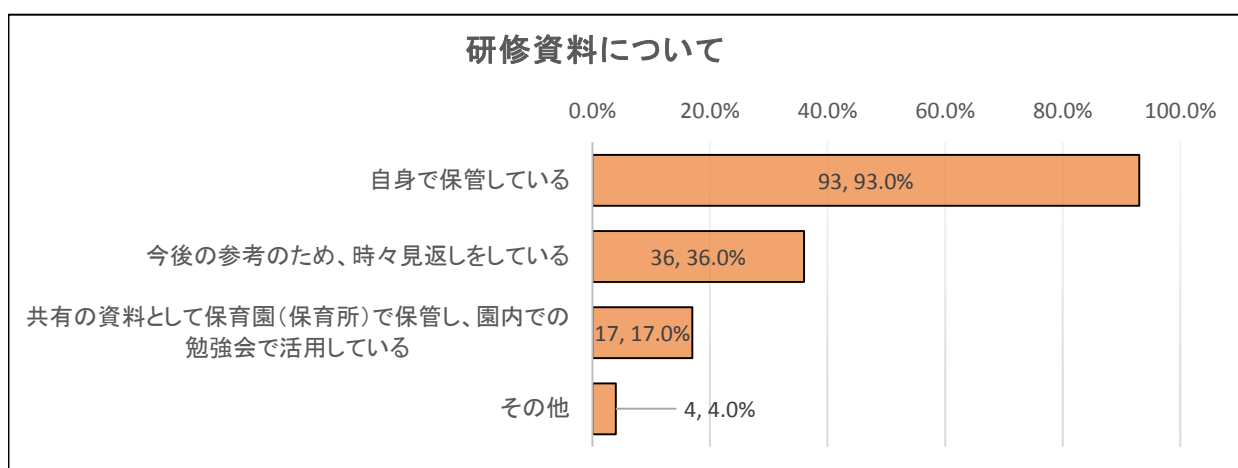


研修事後調査集計結果(中堅後期)(100名/104名)

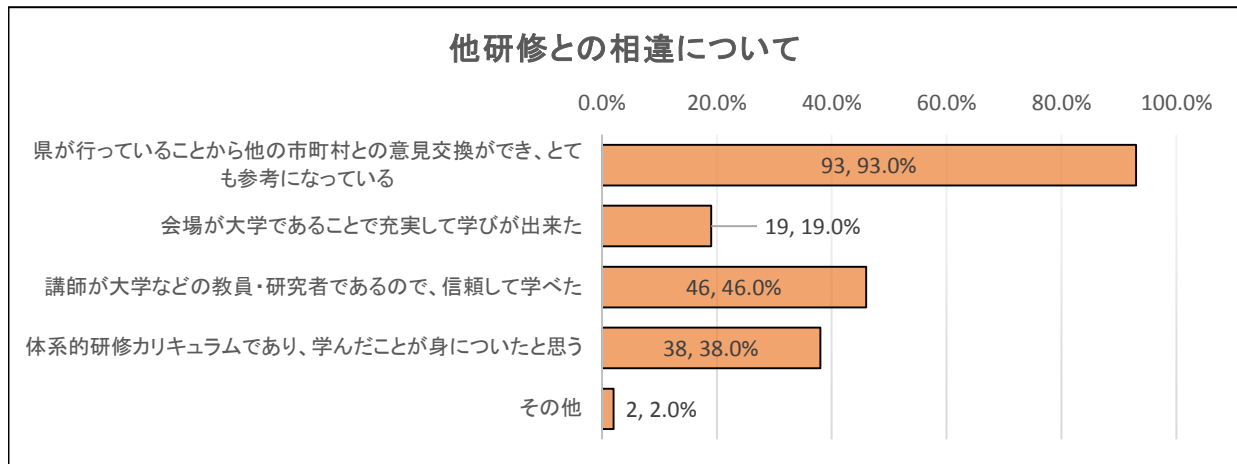
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	91	91.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	66	66.0%
園内研修実施の参考にしている	11	11.0%
その他	9	9.0%
計	177	



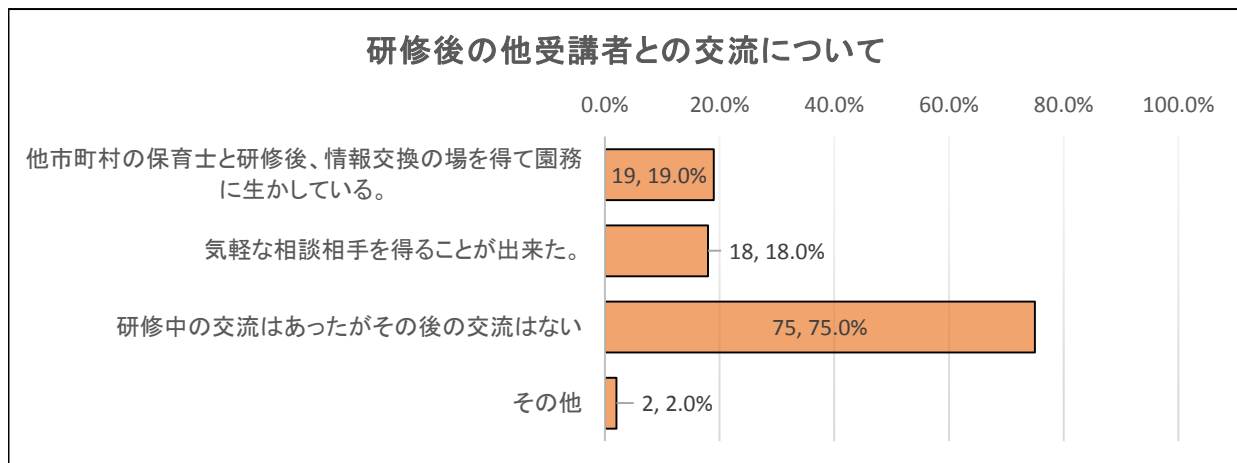
研修資料について(複数回答可)	回答数	該当受講者
自身で保管している	93	93.0%
今後の参考のため、時々見返しをしている	36	36.0%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	17	17.0%
その他	4	4.0%
計	150	



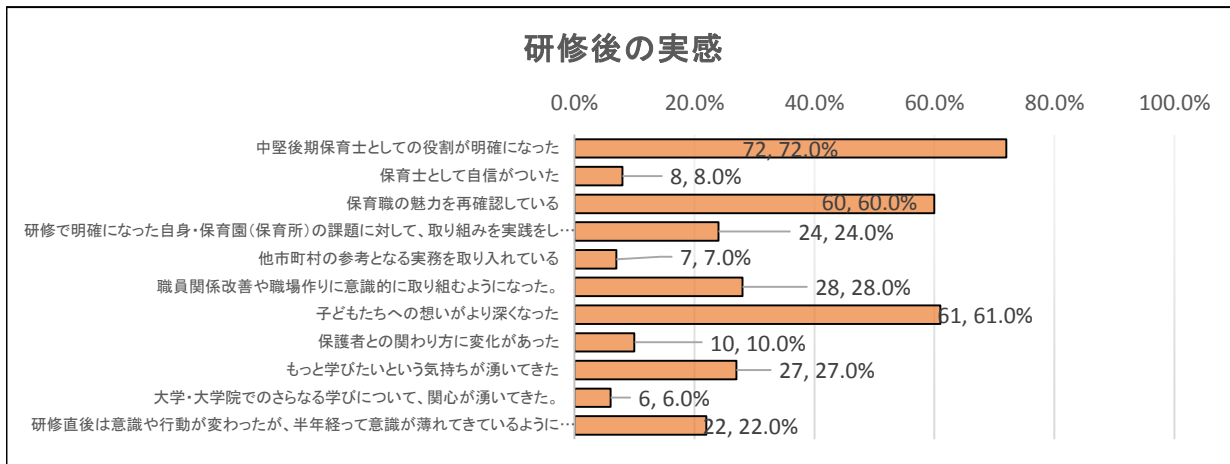
他研修との相違について(複数回答可)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	93	93.0%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	19	19.0%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	46	46.0%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	38	38.0%
その他	2	2.0%
計	198	



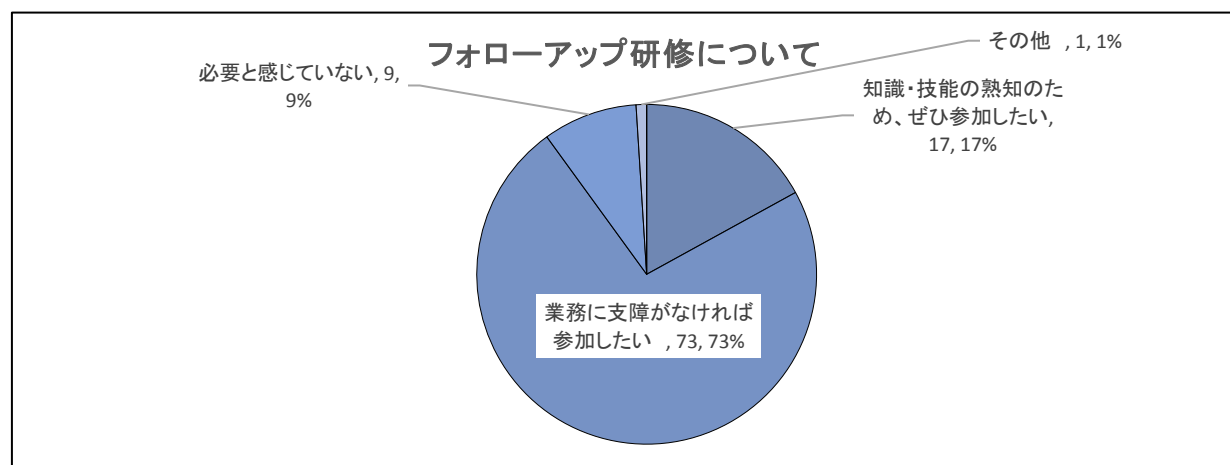
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	19	19.0%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	18	18.0%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	75	75.0%
その他	2	2.0%
計	114	



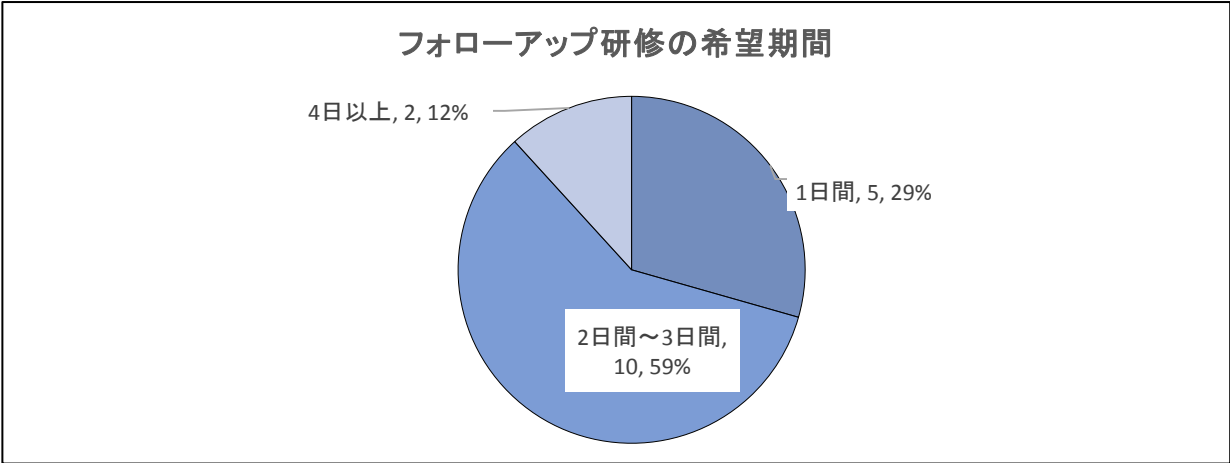
研修後の実感(複数回答可)	回答数	該当受講者
中堅後期保育士としての役割が明確になった	72	72.0%
保育士として自信がついた	8	8.0%
保育職の魅力を再確認している	60	60.0%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	24	24.0%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	7	7.0%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	28	28.0%
子どもたちへの想いがより深くなった	61	61.0%
保護者との関わり方に変化があった	10	10.0%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	27	27.0%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	6	6.0%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	22	22.0%
計	325	



本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	17	17.0%
業務に支障がなければ参加したい	73	73.0%
必要と感じていない	9	9.0%
その他	1	1.0%
未回答	0	0.0%
計	100	100.0%

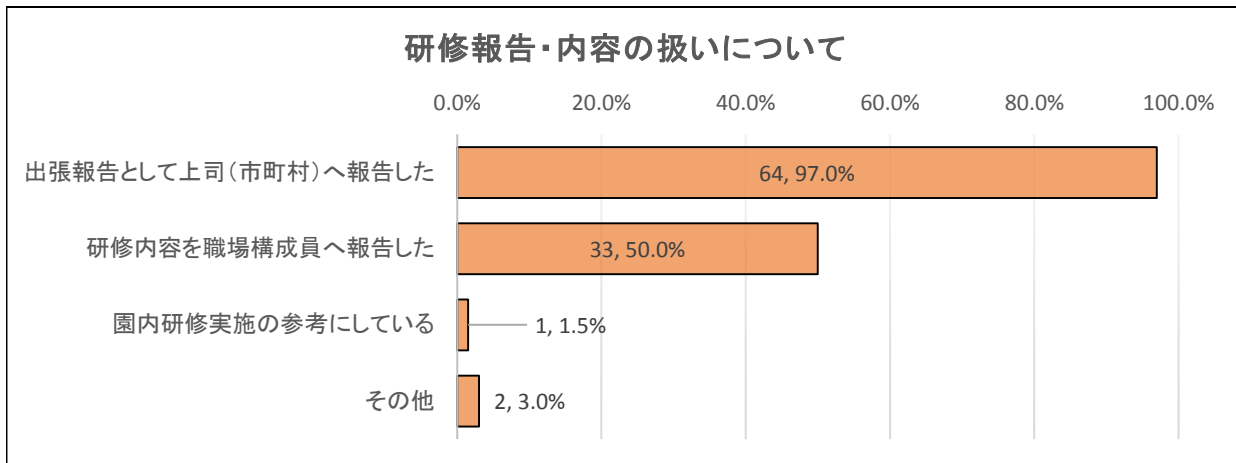


フォローアップの希望期間	回答数	割合
1日間	5	29.4%
2日間～3日間	10	58.8%
4日以上	2	11.8%
計	17	100.0%

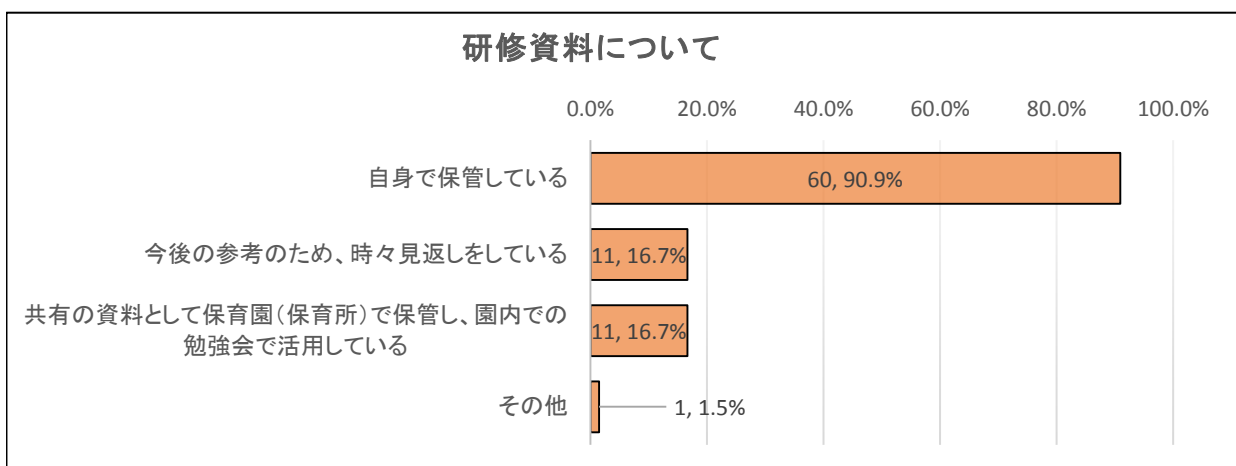


研修事後調査集計結果（育児休業明け）（66名/68名）

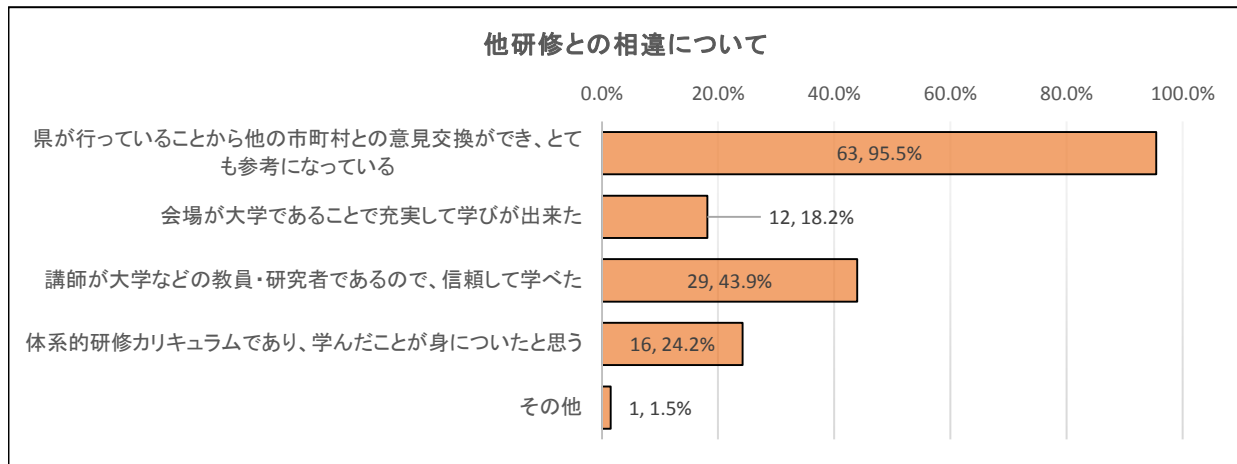
研修報告・内容の扱いについて（複数回答可）	回答数	該当受講者
出張報告として上司（市町村）へ報告した	64	97.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	33	50.0%
園内研修実施の参考にしている	1	1.5%
その他	2	3.0%
計	100	



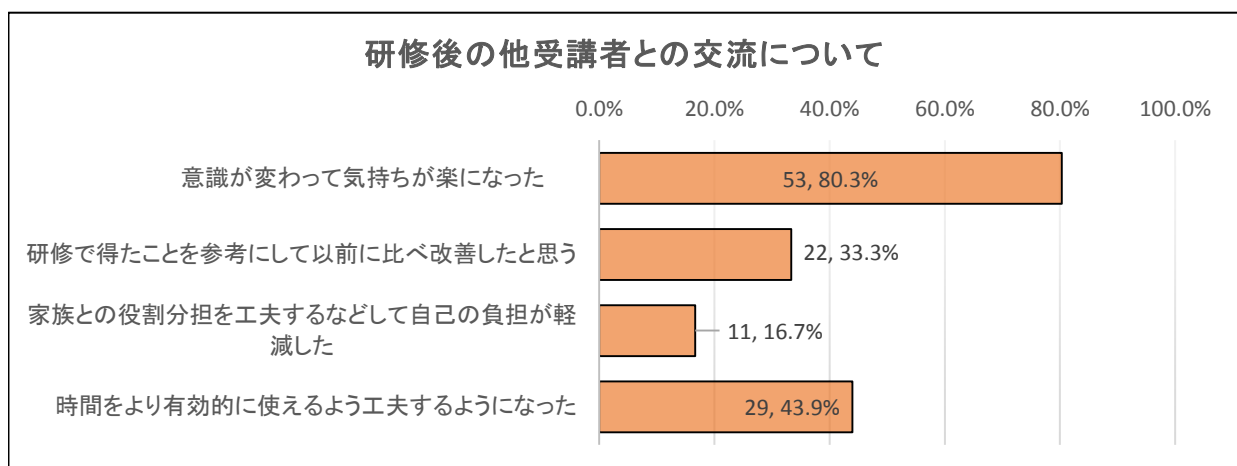
研修資料について（複数回答可）	回答数	該当受講者
自身で保管している	60	90.9%
今後の参考のため、時々見返しをしている	11	16.7%
共有の資料として保育園（保育所）で保管し、園内での勉強会で活用している	11	16.7%
その他	1	1.5%
計	83	



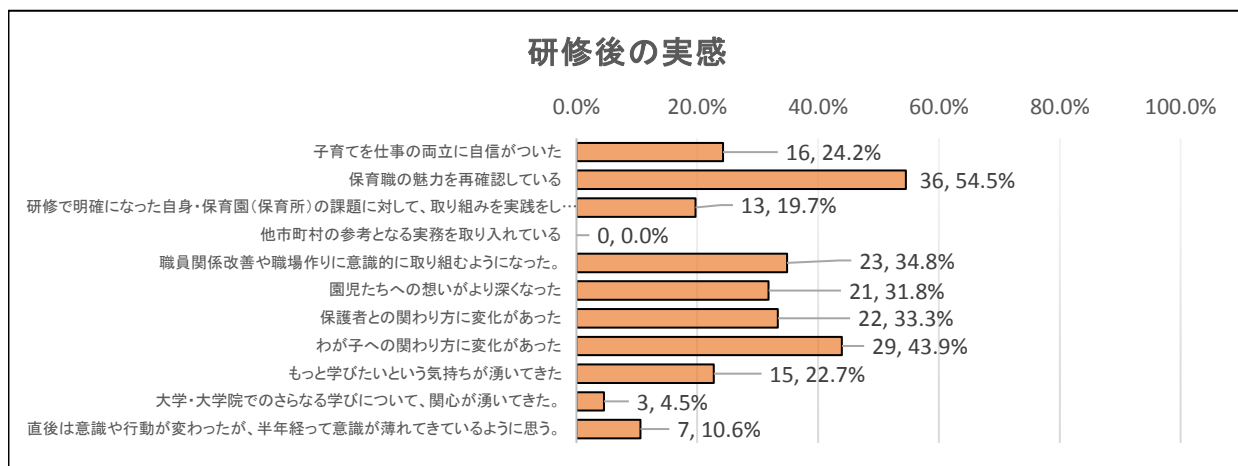
他研修との相違について(複数回答可)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	63	95.5%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	12	18.2%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	29	43.9%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	16	24.2%
その他	1	1.5%
計	121	



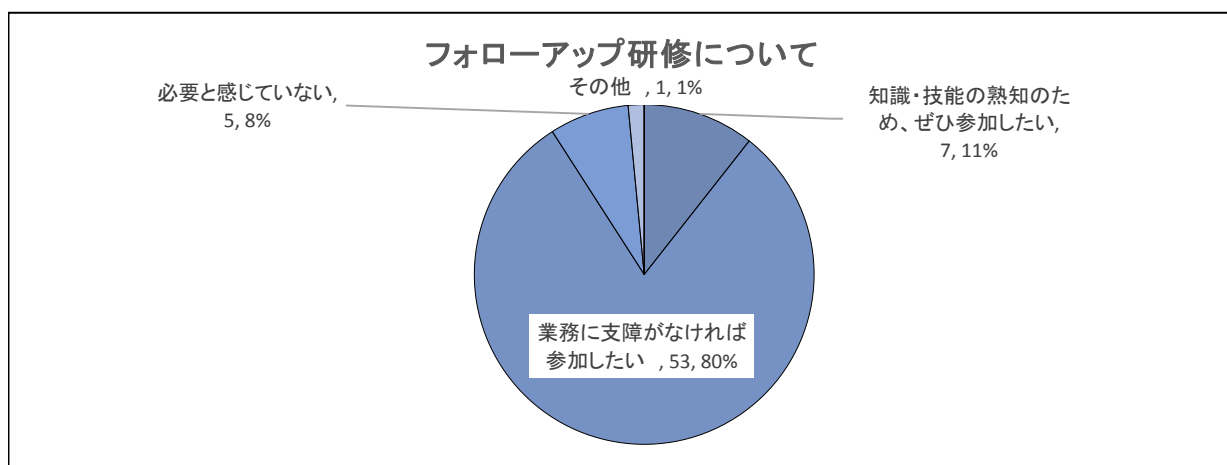
研修後のライフワークバランスについて(育休明け)	回答数	該当受講者
意識が変わって気持ちが楽になった	53	80.3%
研修で得たことを参考にして以前に比べ改善したと思う	22	33.3%
家族との役割分担を工夫するなどして自己の負担が軽減した	11	16.7%
時間をより有効的に使えるよう工夫するようになった	29	43.9%
特に変化はない	3	4.5%
計	118	



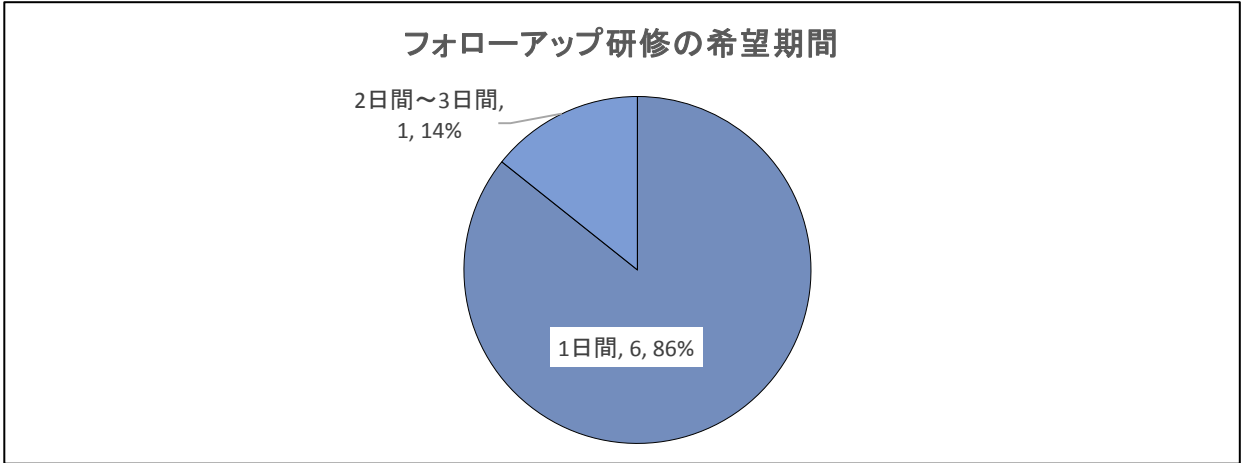
研修後の実感(複数回答可)	回答数	該当受講者
子育てを仕事の両立に自信がついた	16	24.2%
保育職の魅力を再確認している	36	54.5%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践している	13	19.7%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	0	0.0%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	23	34.8%
園児たちへの想いがより深くなった	21	31.8%
保護者との関わり方に変化があった	22	33.3%
わが子への関わり方に変化があった	29	43.9%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	15	22.7%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	3	4.5%
直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	7	10.6%
計	185	



本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	7	7.0%
業務に支障がなければ参加したい	53	53.0%
必要と感じていない	5	5.0%
その他	1	1.0%
未回答	0	0.0%
計	66	66.0%

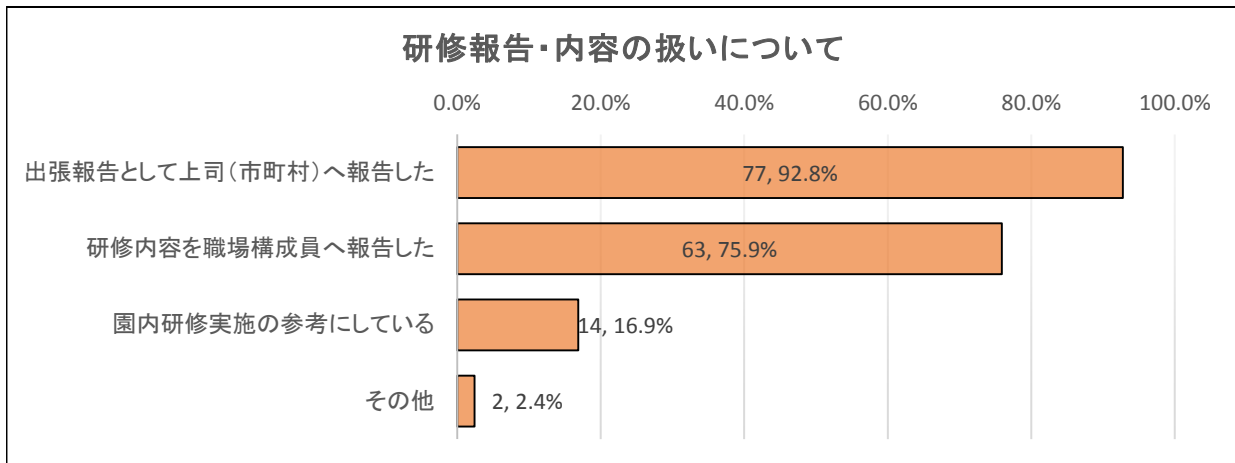


フォローアップの希望期間	回答数	割合
1日間	6	85.7%
2日間～3日間	1	14.3%
4日以上	0	0.0%
計	7	100.0%

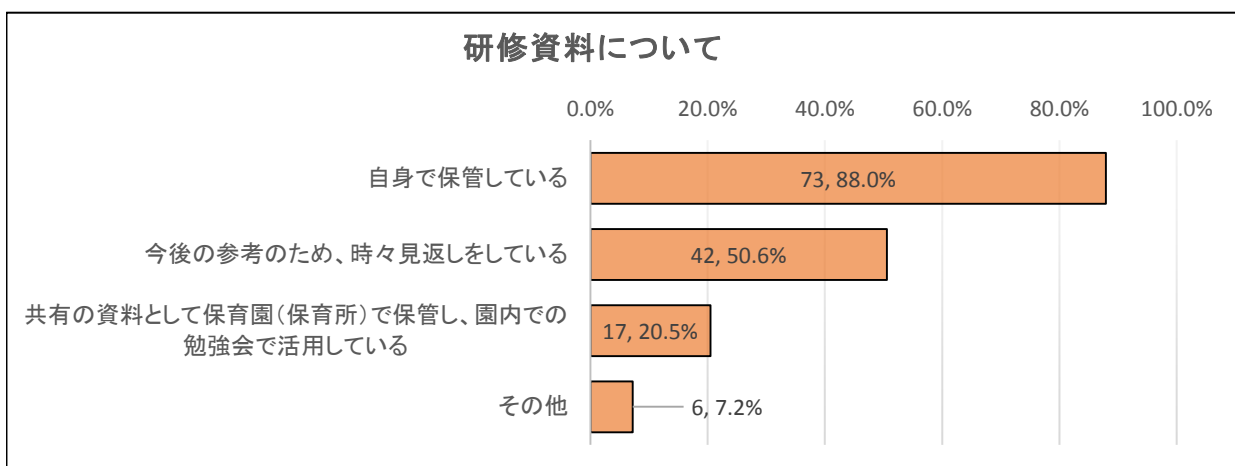


研修事後調査集計結果(障害児)(83名/89名)

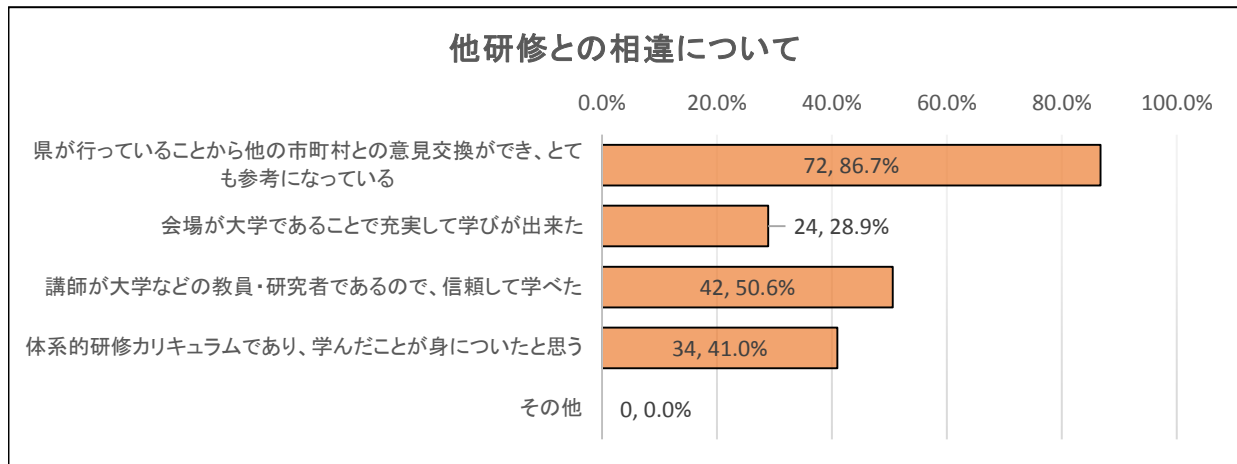
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	77	92.8%
研修内容を職場構成員へ報告した	63	75.9%
園内研修実施の参考にしている	14	16.9%
その他	2	2.4%
計	156	



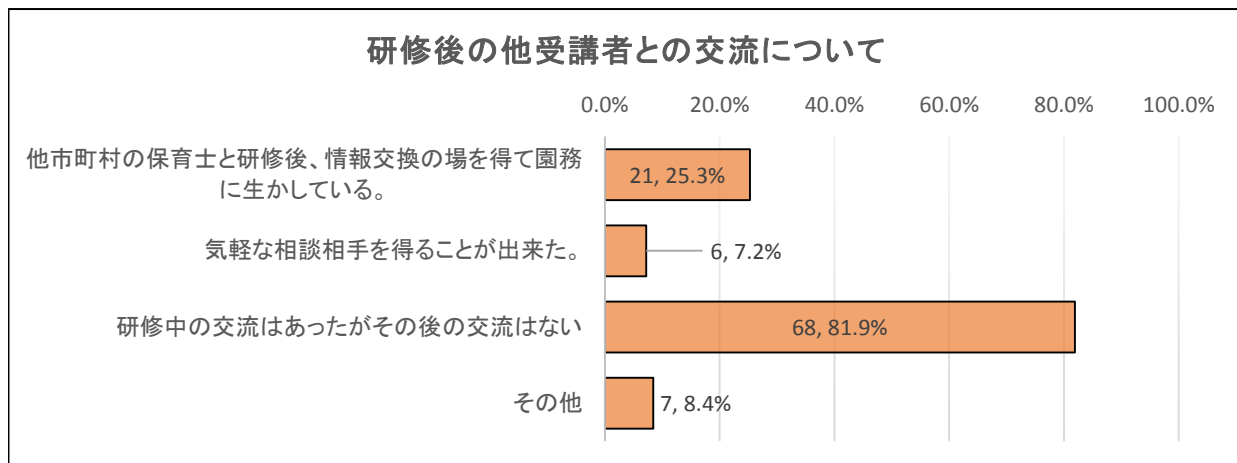
研修資料について(複数回答可)	回答数	該当受講者
自身で保管している	73	88.0%
今後の参考のため、時々見返しをしている	42	50.6%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	17	20.5%
その他	6	7.2%
計	138	



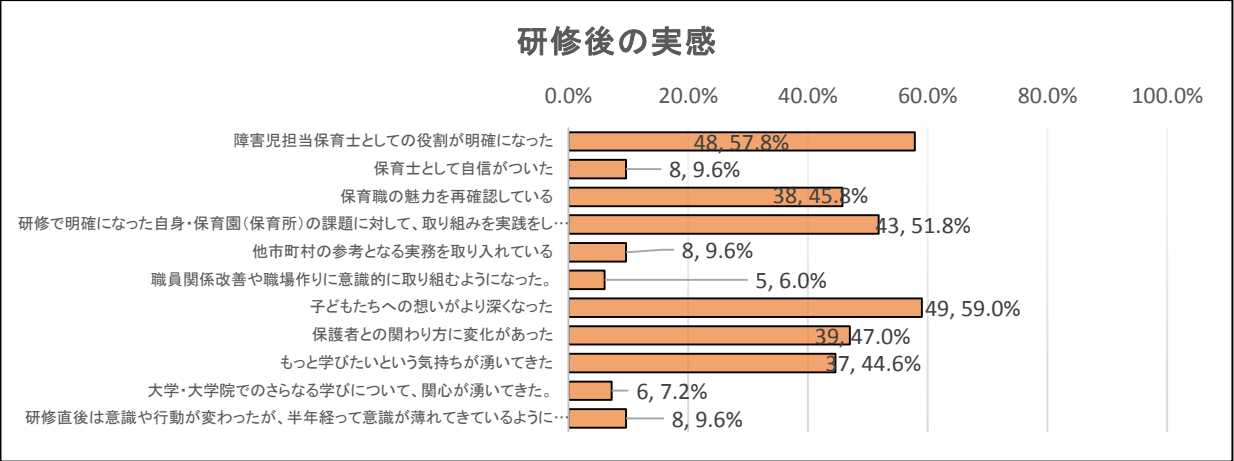
他研修との相違について(複数回答可)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	72	86.7%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	24	28.9%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	42	50.6%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	34	41.0%
その他	0	0.0%
計	172	



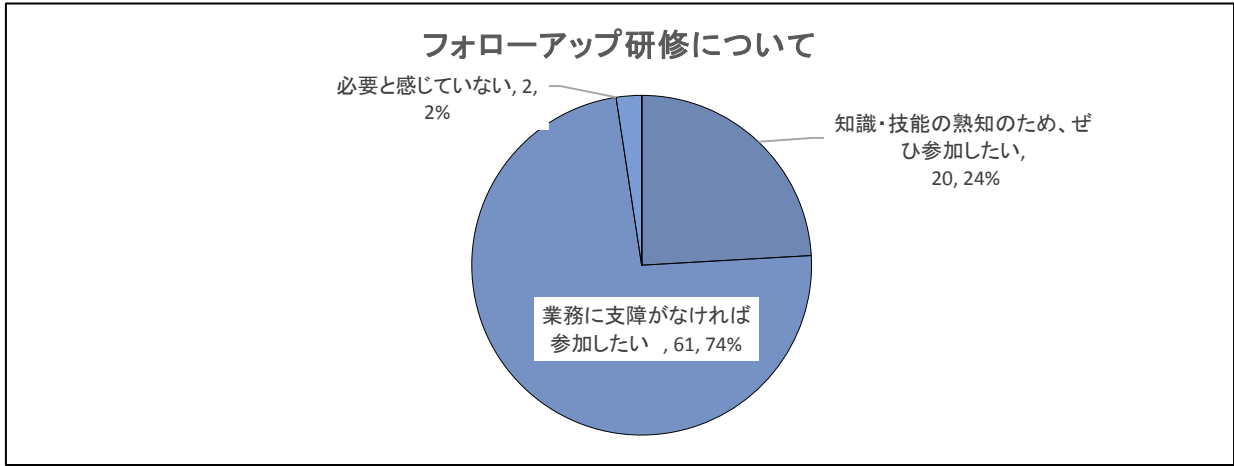
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	21	25.3%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	6	7.2%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	68	81.9%
その他	7	8.4%
計	102	



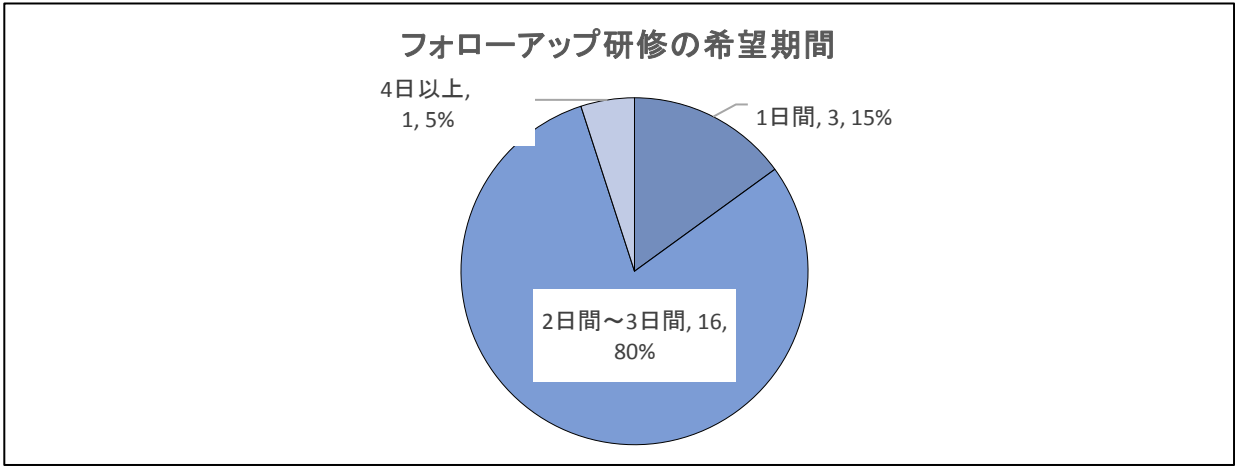
研修後の実感(複数回答可)	回答数	該当受講者
障害児担当保育士としての役割が明確になった	48	57.8%
保育士として自信がついた	8	9.6%
保育職の魅力を再確認している	38	45.8%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	43	51.8%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	8	9.6%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	5	6.0%
子どもたちへの想いがより深くなった	49	59.0%
保護者との関わり方に変化があった	39	47.0%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	37	44.6%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	6	7.2%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	8	9.6%
計	289	



本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	20	24.1%
業務に支障がなければ参加したい	61	73.5%
必要と感じていない	2	2.4%
その他	0	0.0%
未回答	0	0.0%
計	83	100.0%

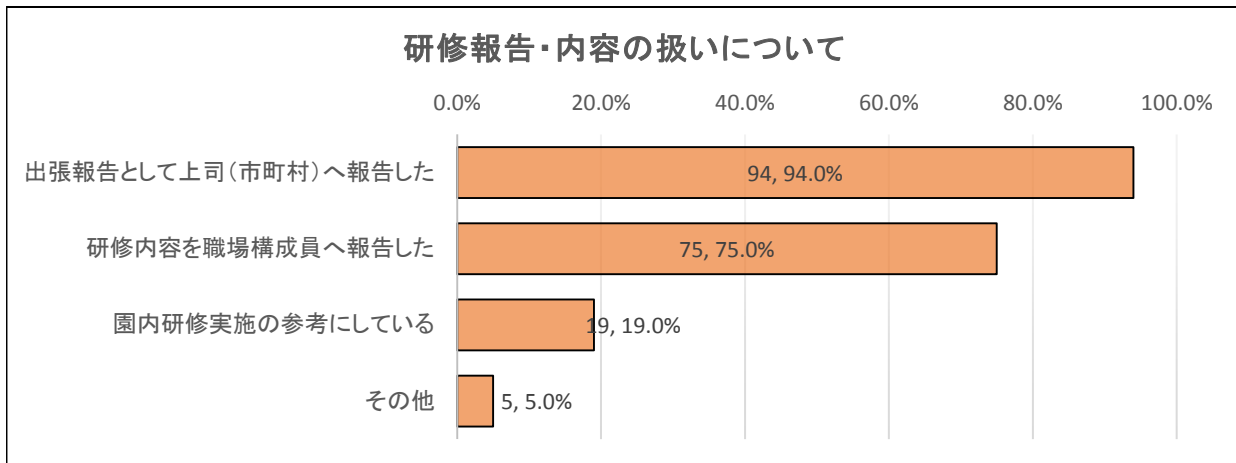


フォローアップの希望期間	回答数	割合
1日間	3	15.0%
2日間～3日間	16	80.0%
4日以上	1	5.0%
計	20	100.0%

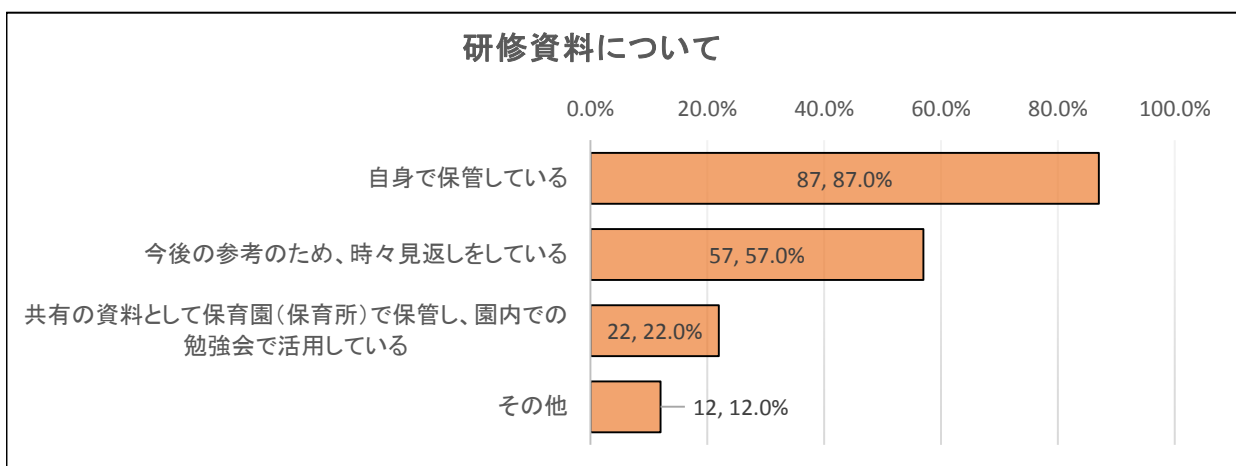


研修事後調査集計結果(乳児)(100名/104名)

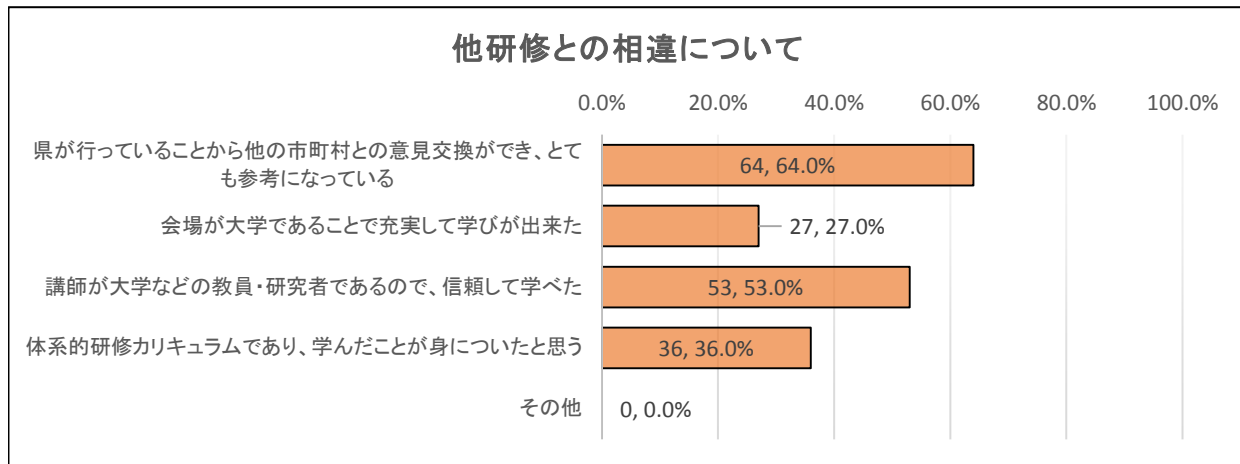
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	94	94.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	75	75.0%
園内研修実施の参考にしている	19	19.0%
その他	5	5.0%
計	193	



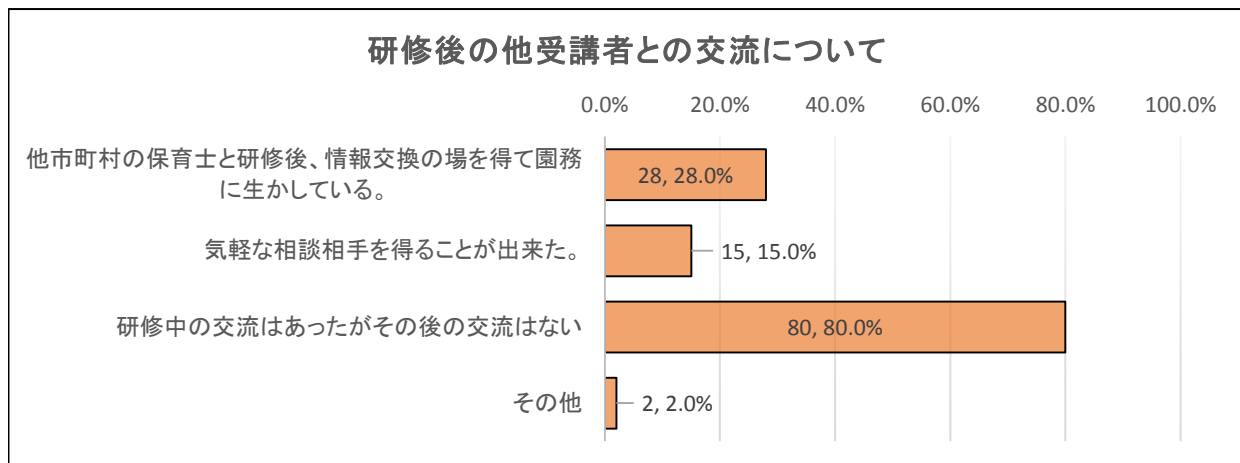
研修資料について(複数回答可)	回答数	該当受講者
自身で保管している	87	87.0%
今後の参考のため、時々見返しをしている	57	57.0%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	22	22.0%
その他	12	12.0%
計	178	



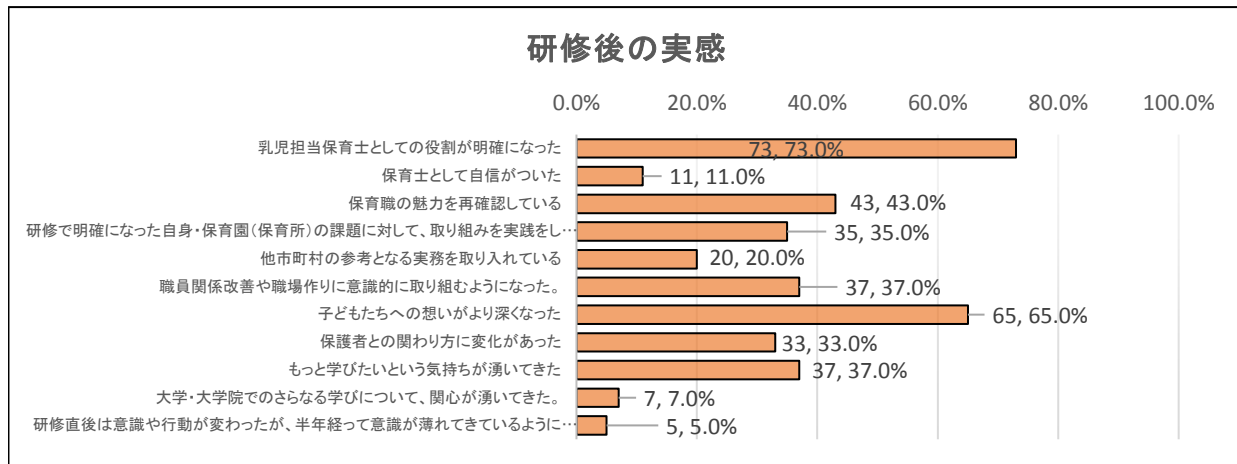
他研修との相違について(複数回答可)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	64	64.0%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	27	27.0%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	53	53.0%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	36	36.0%
その他	0	0.0%
計	180	



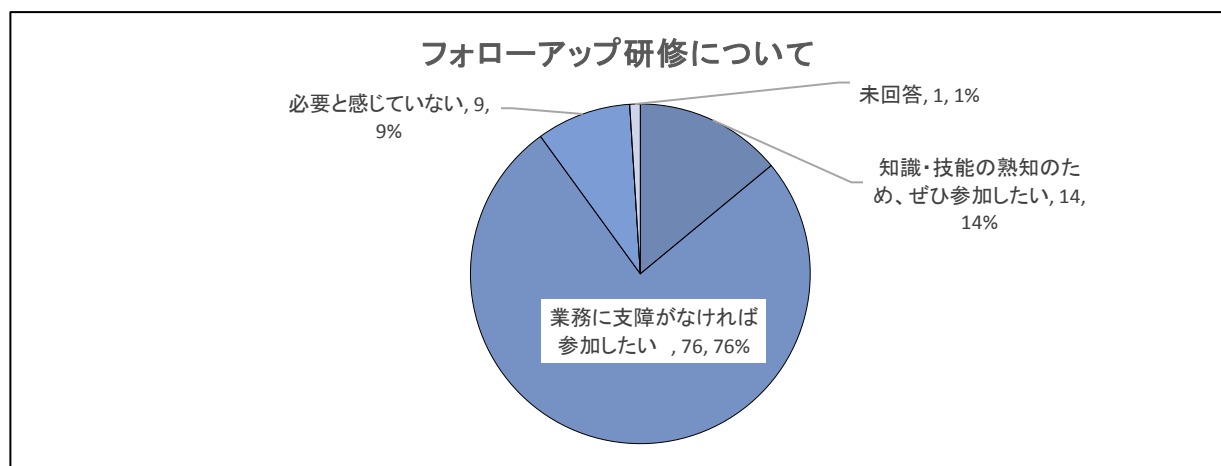
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	28	28.0%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	15	15.0%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	80	80.0%
その他	2	2.0%
計	125	



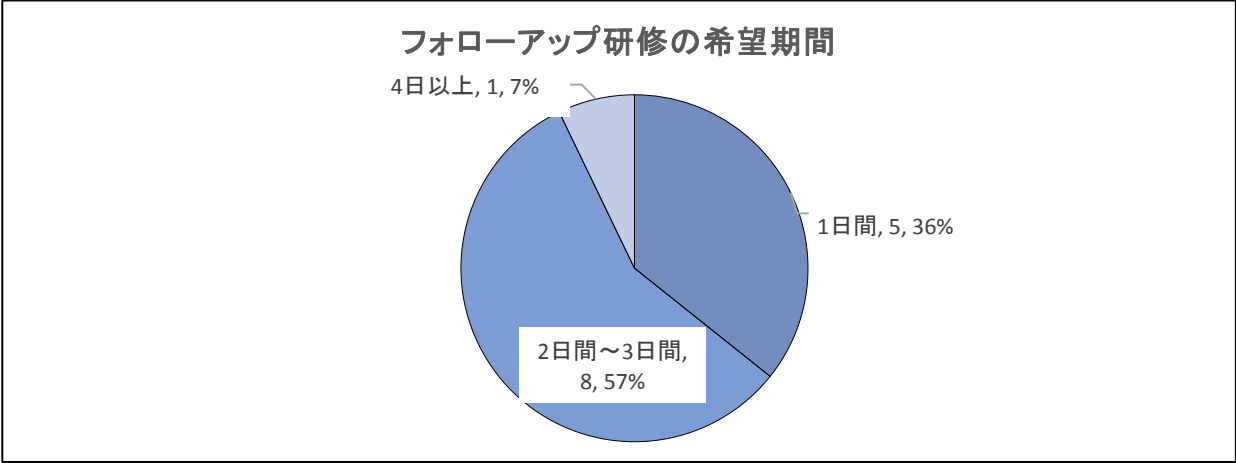
研修後の実感(複数回答可)	回答数	該当受講者
乳児担当保育士としての役割が明確になった	73	73.0%
保育士として自信がついた	11	11.0%
保育職の魅力を再確認している	43	43.0%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	35	35.0%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	20	20.0%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	37	37.0%
子どもたちへの想いがより深くなった	65	65.0%
保護者との関わり方に変化があった	33	33.0%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	37	37.0%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	7	7.0%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	5	5.0%
計	366	



本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	14	14.0%
業務に支障がなければ参加したい	76	76.0%
必要と感じていない	9	9.0%
その他	0	0.0%
未回答	1	1.0%
計	100	100.0%



フォローアップの希望期間	回答数	割合
1日間	5	35.7%
2日間～3日間	8	57.1%
4日以上	1	7.1%
計	14	100.0%



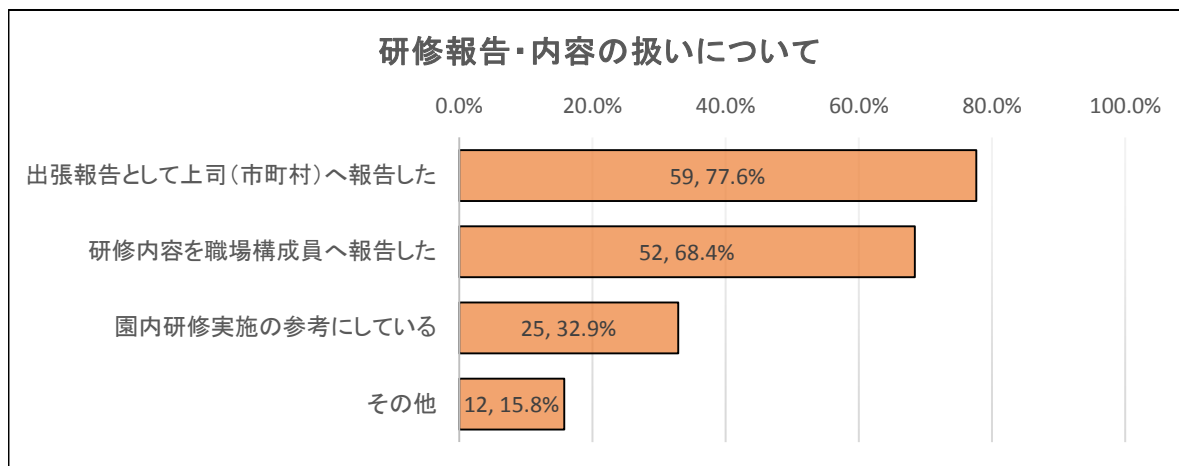
平成26年 愛知県現任保育士研修

研修事後調査集計結果 集計表
項目別

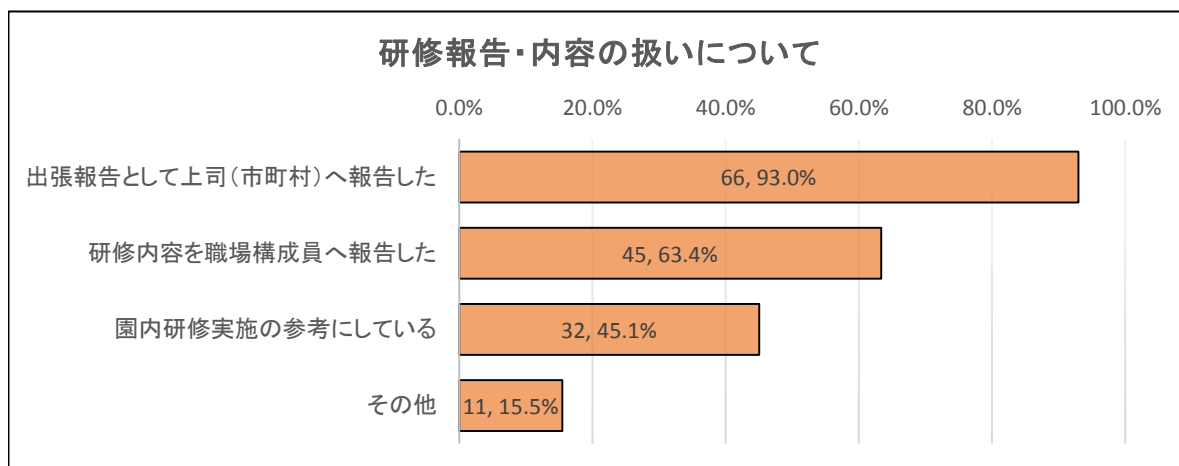
	項目名
資料2-報	研修報告・内容の扱いについて
資料2-資	研修資料について
資料2-違	他研修との相違について
資料2-交	他受講者との交流について
資料2-感	研修後の実感
資料2-フ	フォローアップ研修について
資料2-フ日	フォローアップ研修希望日数

研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)

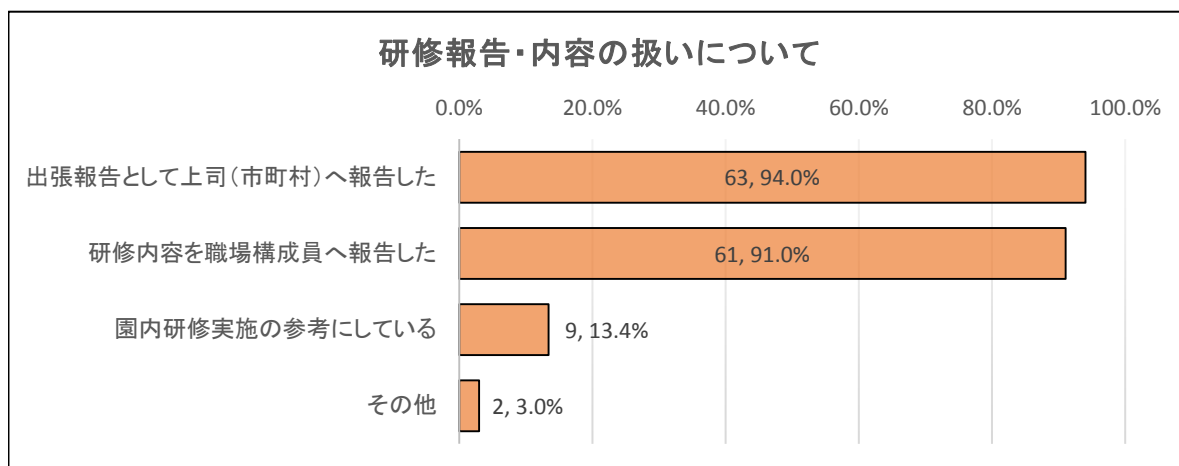
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)(園長)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	59	77.6%
研修内容を職場構成員へ報告した	52	68.4%
園内研修実施の参考にしている	25	32.9%
その他	12	15.8%
計	148	



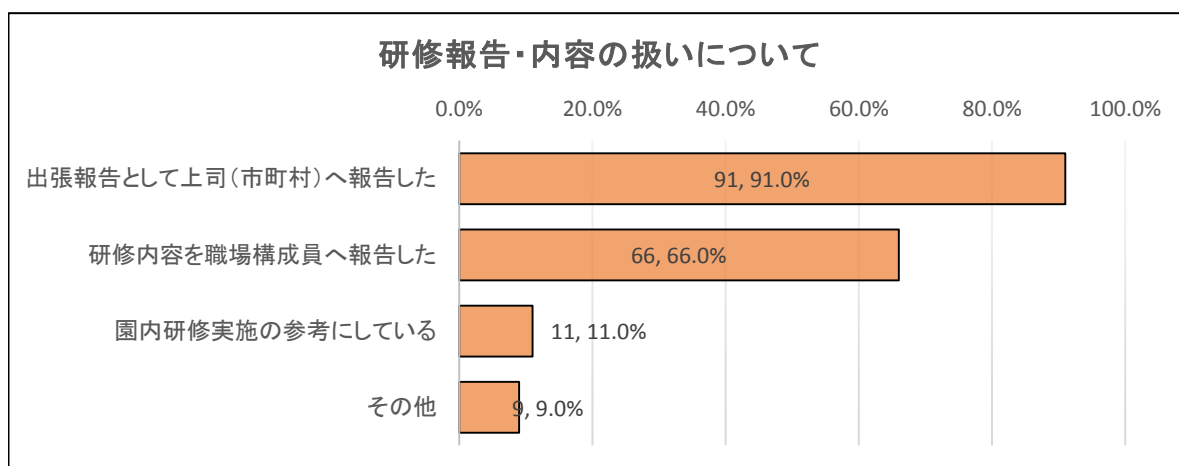
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)(主任)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	66	93.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	45	63.4%
園内研修実施の参考にしている	32	45.1%
その他	11	15.5%
計	154	



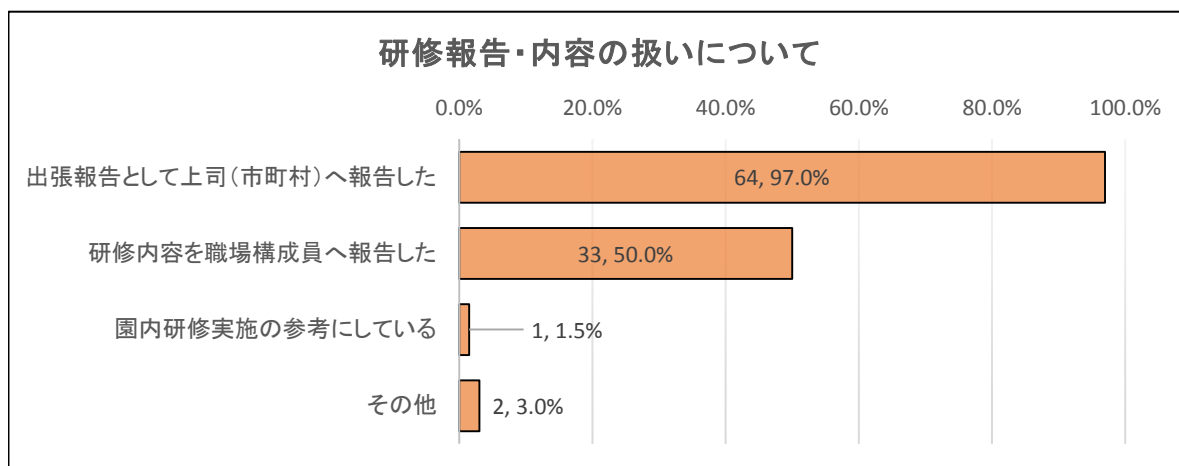
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)(中堅前期)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	63	94.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	61	91.0%
園内研修実施の参考にしている	9	13.4%
その他	2	3.0%
計	135	



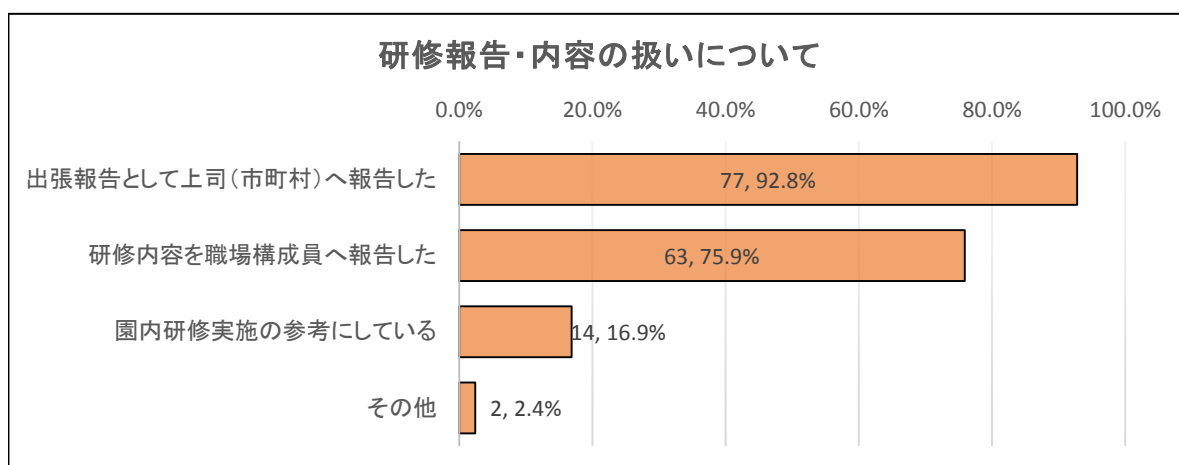
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)(中堅後期)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	91	91.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	66	66.0%
園内研修実施の参考にしている	11	11.0%
その他	9	9.0%
計	177	



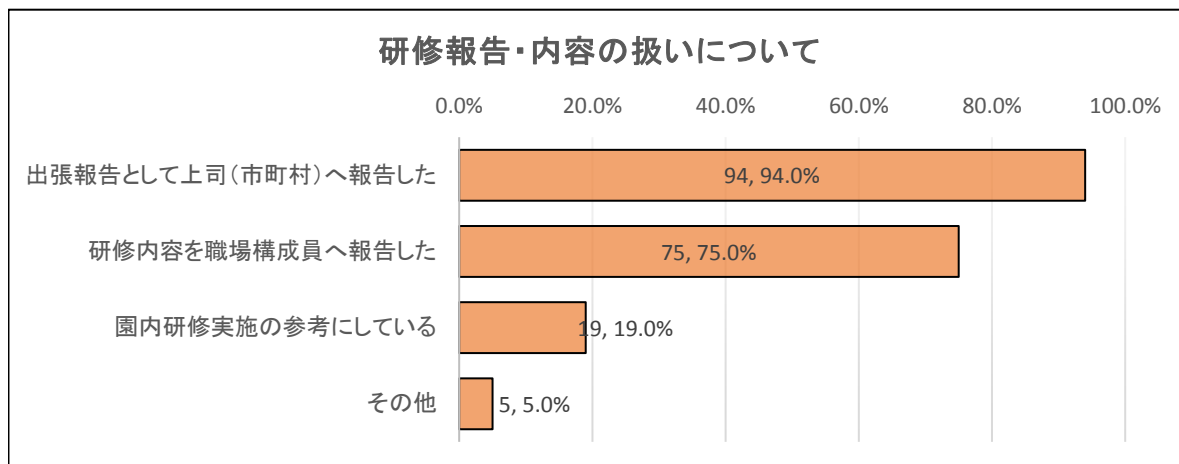
研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)(育休明け)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	64	97.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	33	50.0%
園内研修実施の参考にしている	1	1.5%
その他	2	3.0%
計	100	



研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)(障害児)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	77	92.8%
研修内容を職場構成員へ報告した	63	75.9%
園内研修実施の参考にしている	14	16.9%
その他	2	2.4%
計	156	

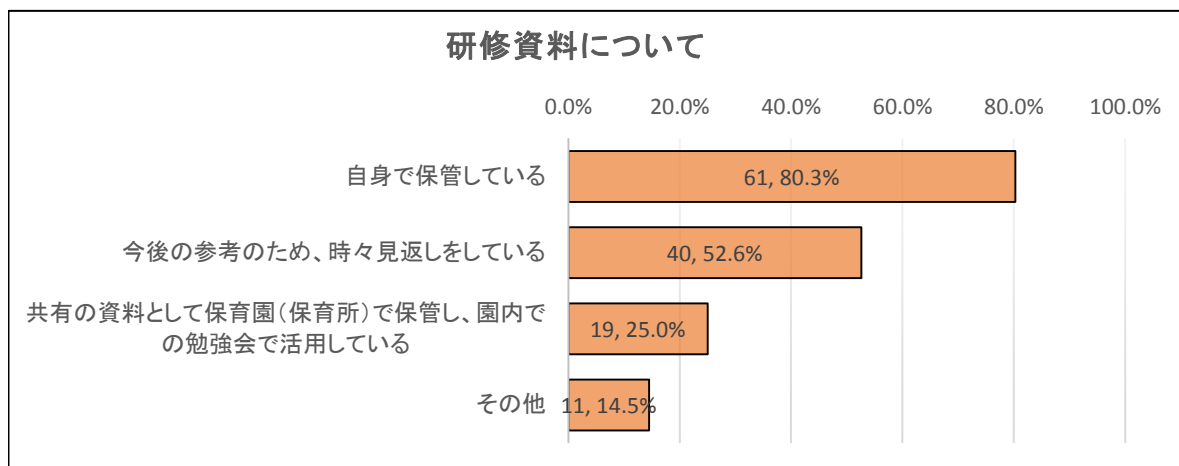


研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)(乳児)	回答数	該当受講者
出張報告として上司(市町村)へ報告した	94	94.0%
研修内容を職場構成員へ報告した	75	75.0%
園内研修実施の参考にしている	19	19.0%
その他	5	5.0%
計	193	

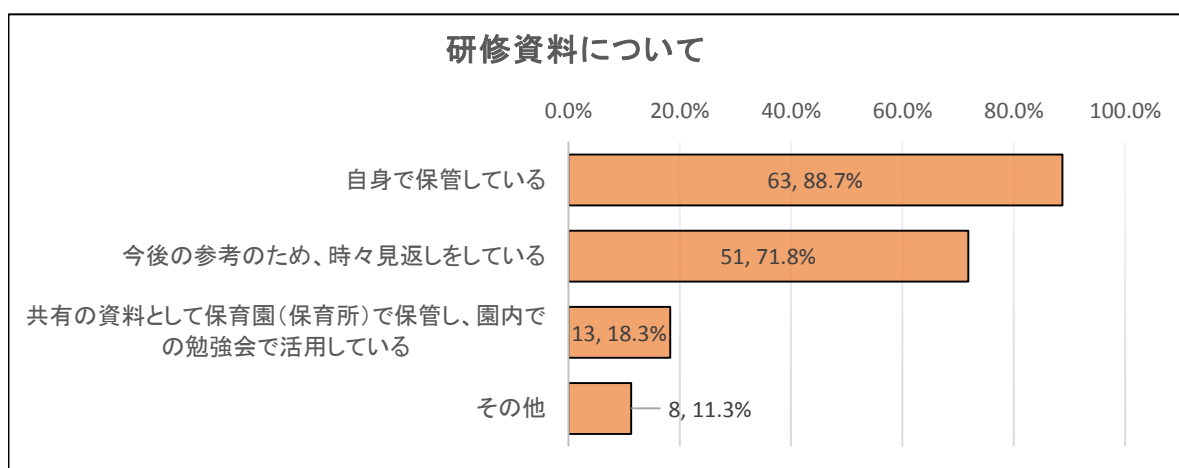


研修資料について(複数回答可)

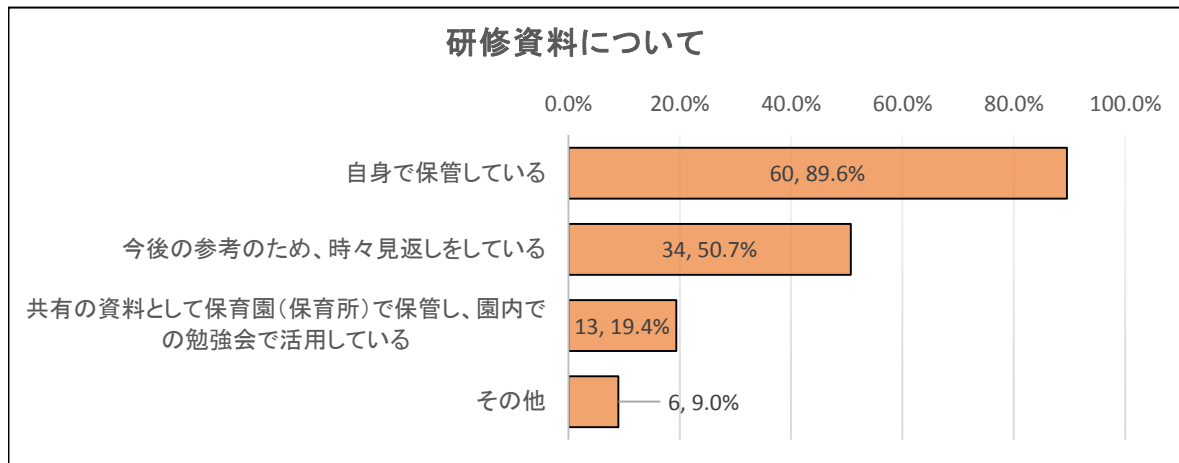
研修資料について(複数回答可)(園長)	回答数	該当受講者
自身で保管している	61	80.3%
今後の参考のため、時々見返しをしている	40	52.6%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	19	25.0%
その他	11	14.5%
計	131	



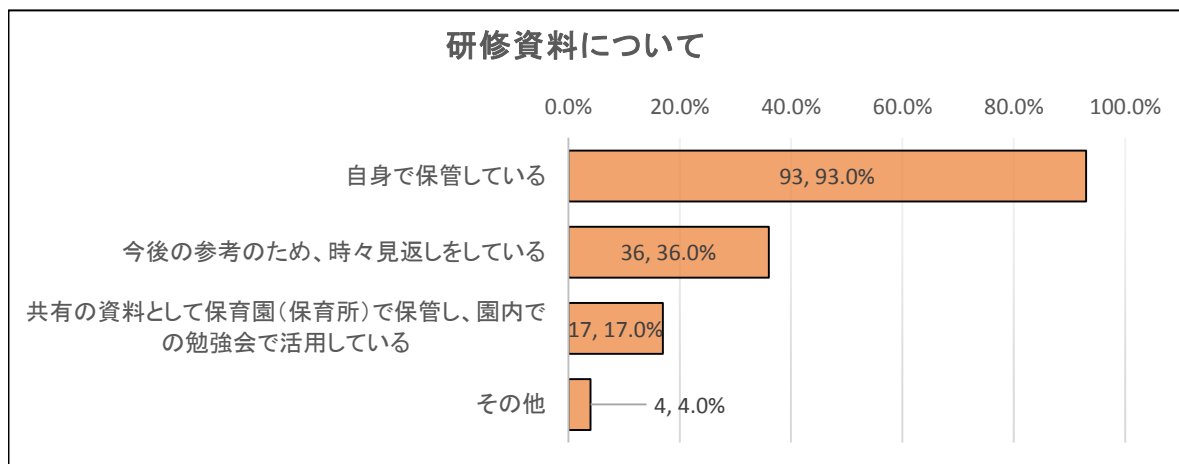
研修資料について(複数回答可)(主任)	回答数	該当受講者
自身で保管している	63	88.7%
今後の参考のため、時々見返しをしている	51	71.8%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	13	18.3%
その他	8	11.3%
計	135	



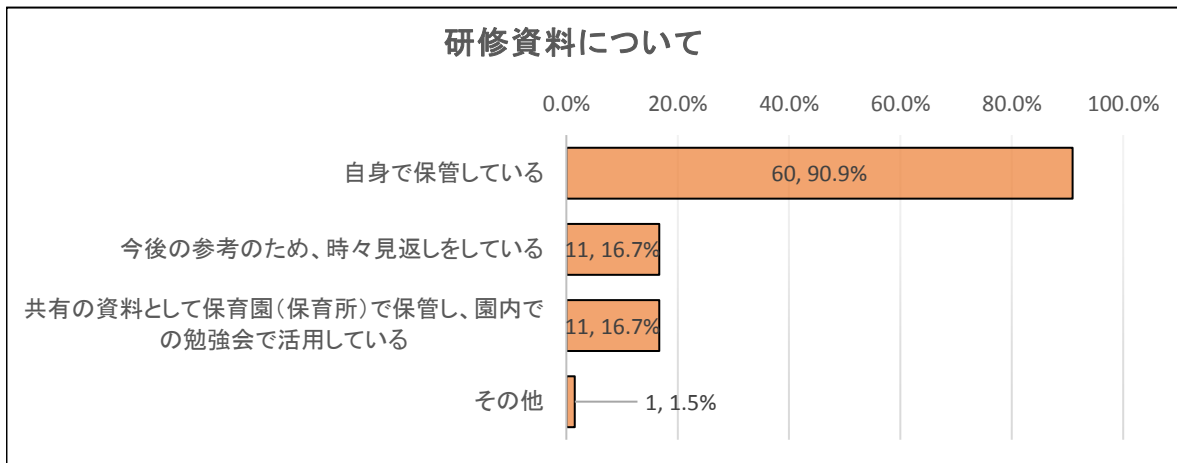
研修資料について(複数回答可)(中堅前期)	回答数	該当受講者
自身で保管している	60	89.6%
今後の参考のため、時々見返しをしている	34	50.7%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	13	19.4%
その他	6	9.0%
計	113	



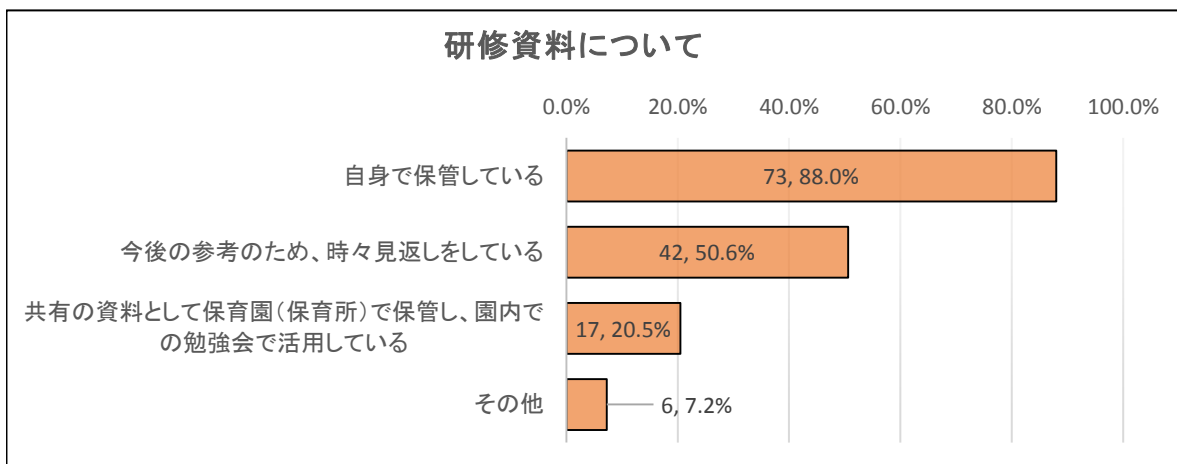
研修資料について(複数回答可)(中堅後期)	回答数	該当受講者
自身で保管している	93	93.0%
今後の参考のため、時々見返しをしている	36	36.0%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	17	17.0%
その他	4	4.0%
計	150	



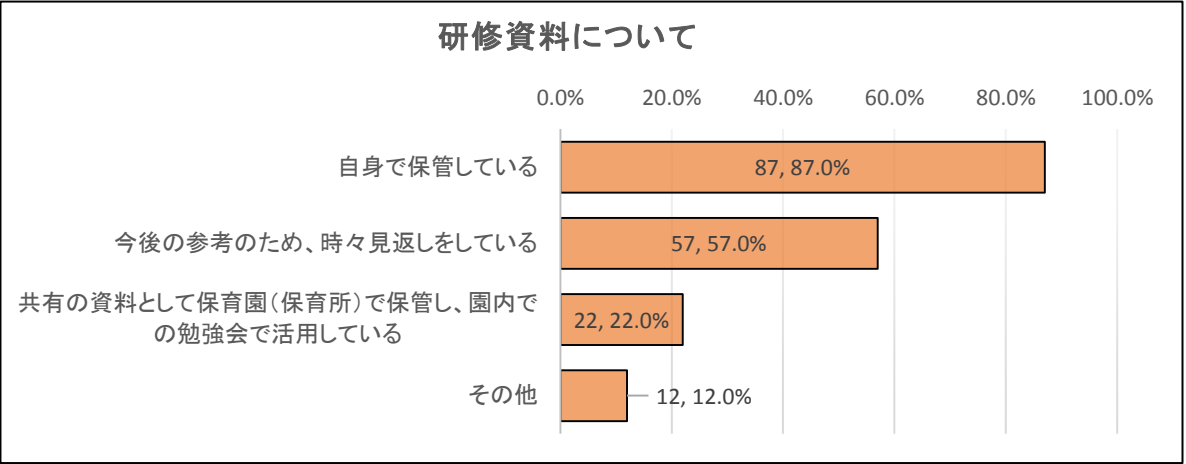
研修資料について(複数回答可)(育休明け)	回答数	該当受講者
自身で保管している	60	90.9%
今後の参考のため、時々見返しをしている	11	16.7%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	11	16.7%
その他	1	1.5%
計	83	



研修資料について(複数回答可)(障害児)	回答数	該当受講者
自身で保管している	73	88.0%
今後の参考のため、時々見返しをしている	42	50.6%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	17	20.5%
その他	6	7.2%
計	138	

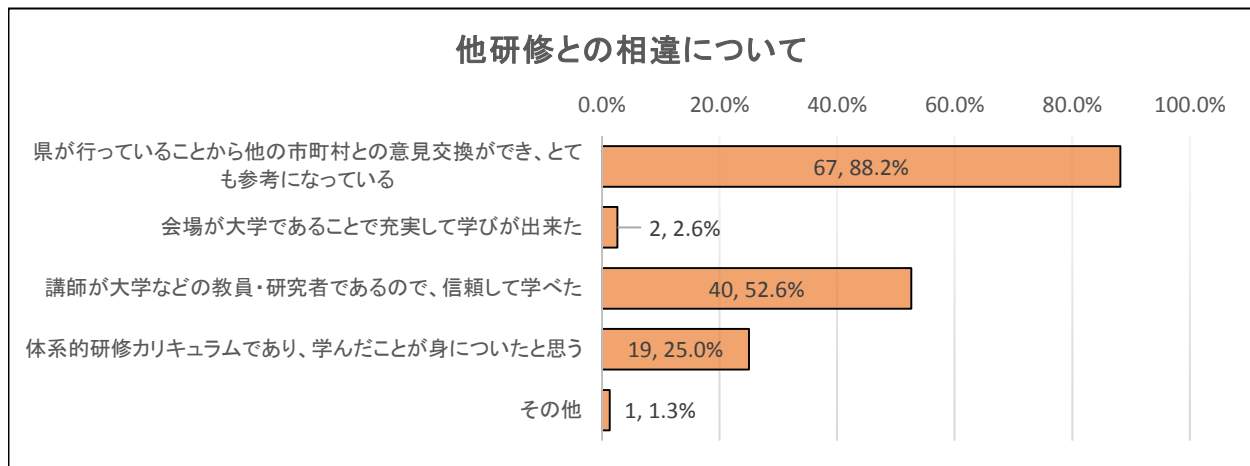


研修資料について(複数回答可)(乳児)	回答数	該当受講者
自身で保管している	87	87.0%
今後の参考のため、時々見返しをしている	57	57.0%
共有の資料として保育園(保育所)で保管し、園内での勉強会で活用している	22	22.0%
その他	12	12.0%
計	178	

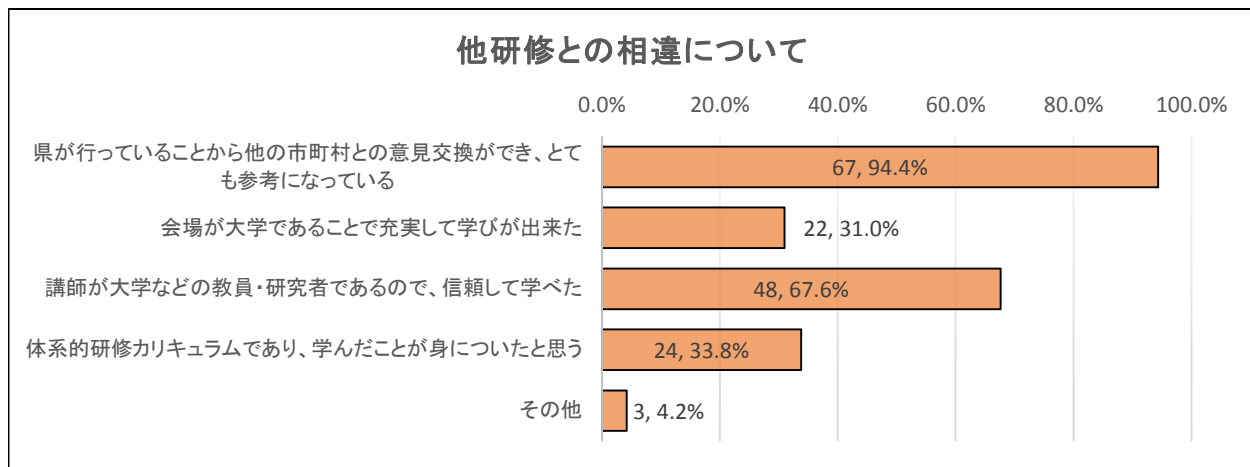


研修報告・内容の扱いについて(複数回答可)

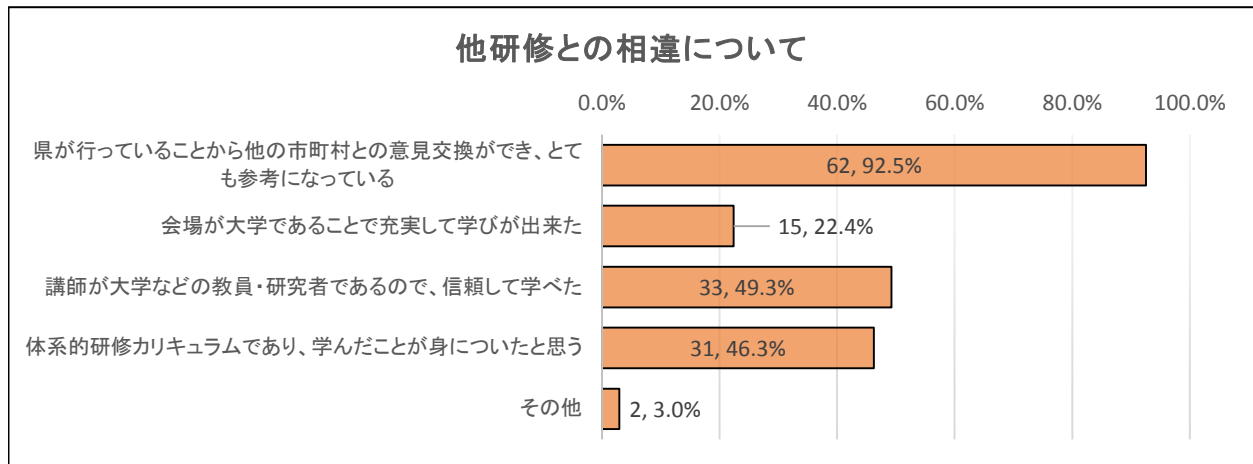
他研修との相違について(複数回答可)(園長)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	67	88.2%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	2	2.6%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	40	52.6%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	19	25.0%
その他	1	1.3%
計	129	



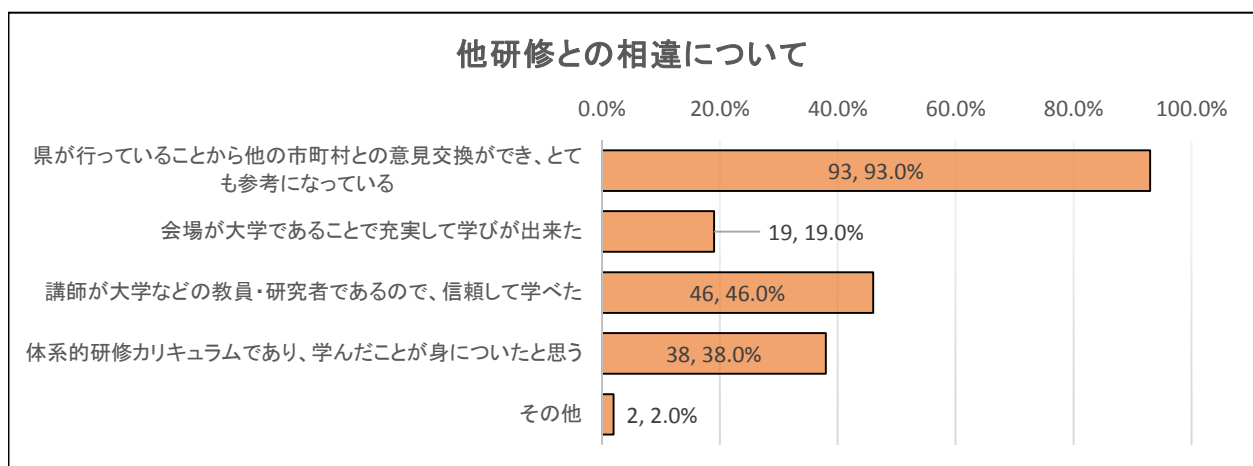
他研修との相違について(複数回答可)(主任)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	67	94.4%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	22	31.0%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	48	67.6%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	24	33.8%
その他	3	4.2%
計	164	



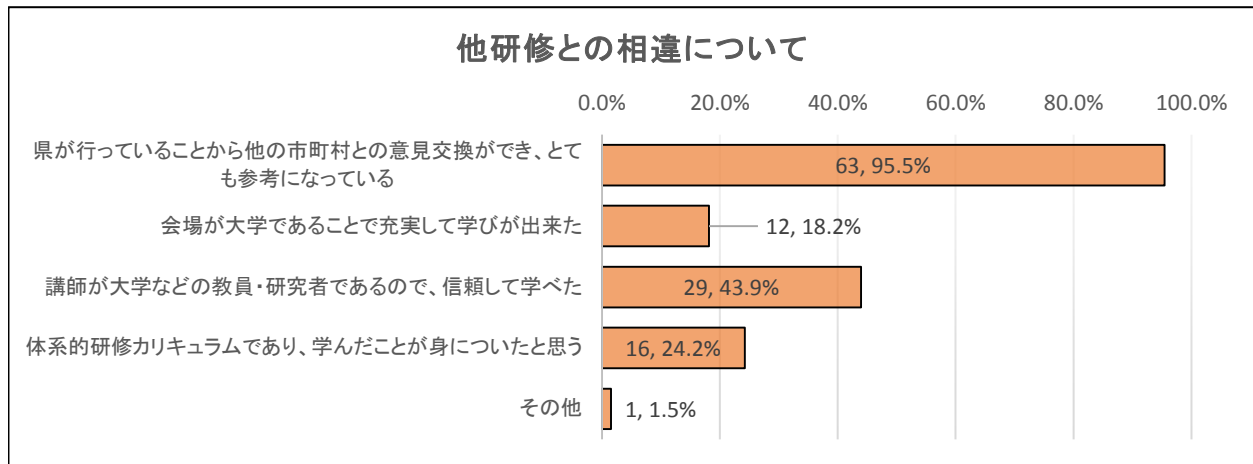
他研修との相違について(複数回答可)(中堅前期)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	62	92.5%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	15	22.4%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	33	49.3%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	31	46.3%
その他	2	3.0%
計	143	



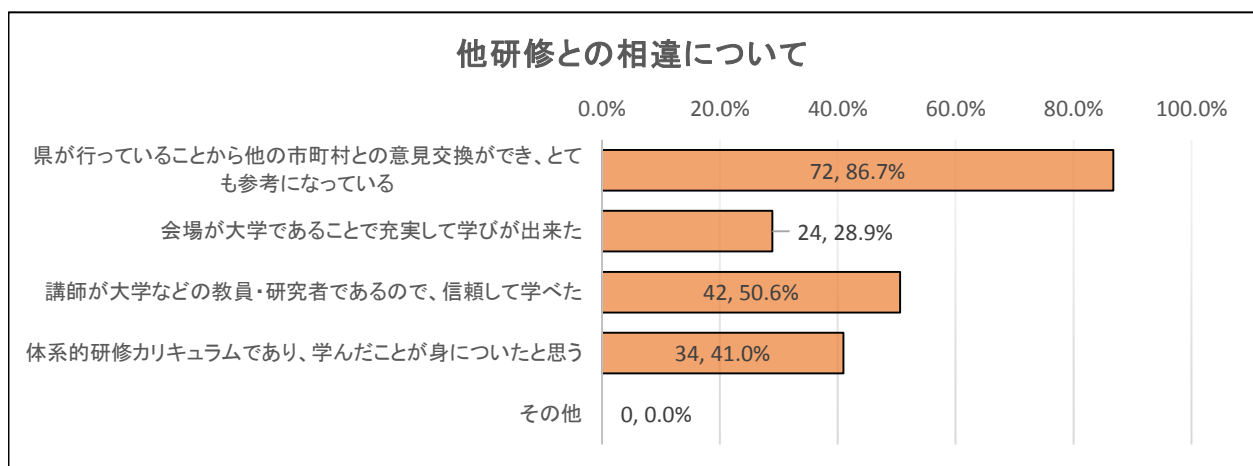
他研修との相違について(複数回答可)(中堅後期)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	93	93.0%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	19	19.0%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	46	46.0%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	38	38.0%
その他	2	2.0%
計	198	



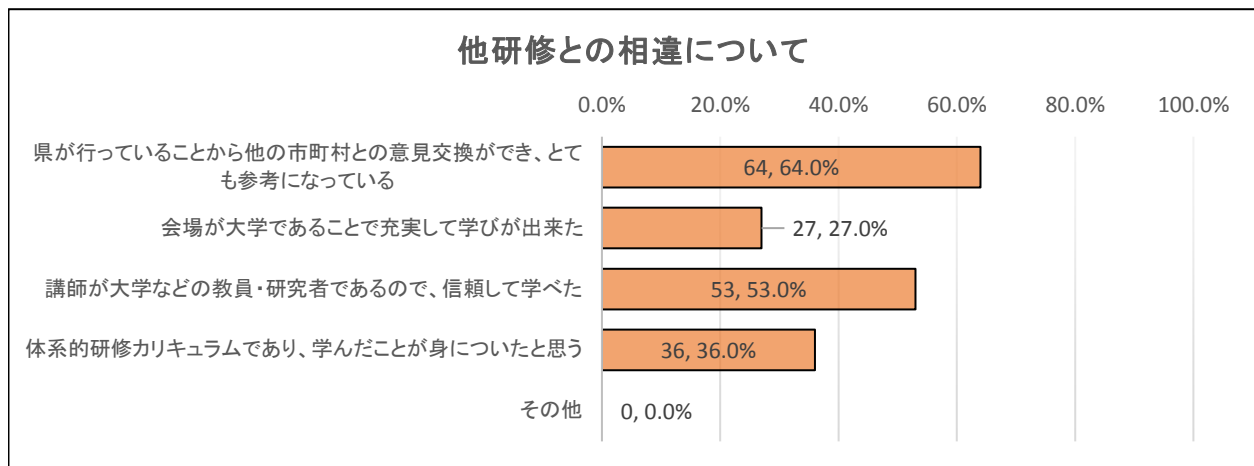
他研修との相違について(複数回答可)(育休明け)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	63	95.5%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	12	18.2%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	29	43.9%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	16	24.2%
その他	1	1.5%
計	121	



他研修との相違について(複数回答可)(障害児)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	72	86.7%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	24	28.9%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	42	50.6%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	34	41.0%
その他	0	0.0%
計	172	

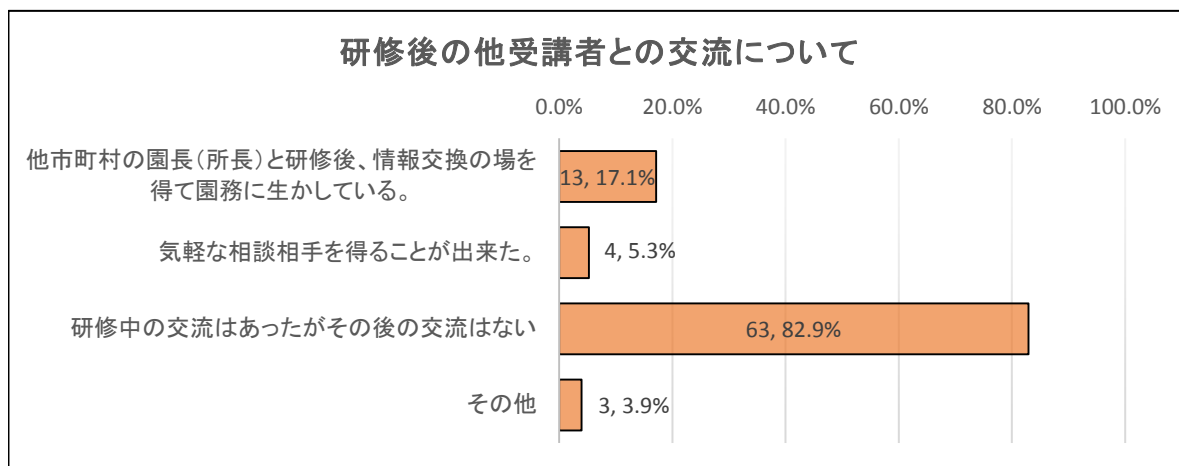


他研修との相違について(複数回答可)(乳児)	回答数	該当受講者
県が行っていることから他の市町村との意見交換ができ、とても参考になっている	64	64.0%
会場が大学であることで充実して学びが出来た	27	27.0%
講師が大学などの教員・研究者であるので、信頼して学べた	53	53.0%
体系的研修カリキュラムであり、学んだことが身についたと思う	36	36.0%
その他	0	0.0%
計	180	

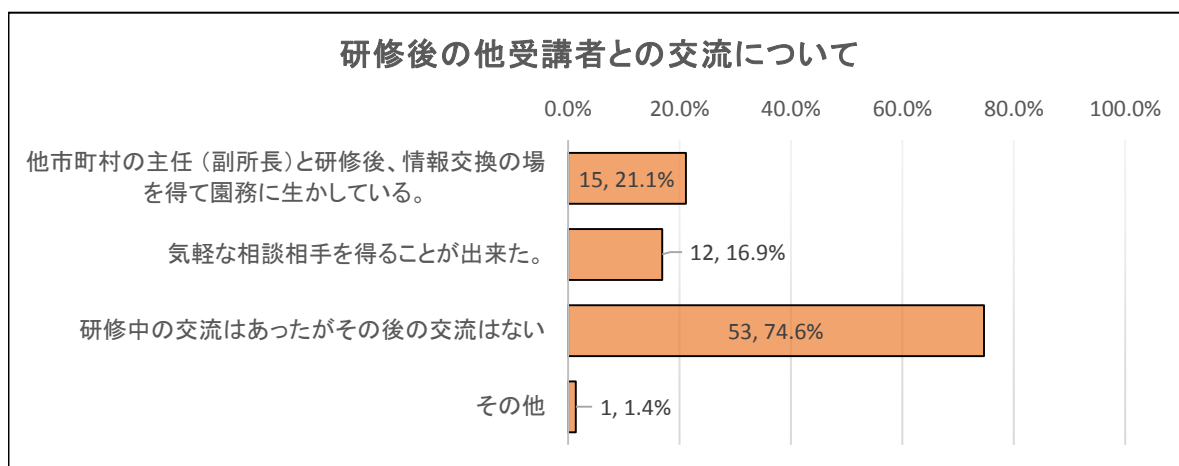


研修後の他受講者との交流について(複数回答可)

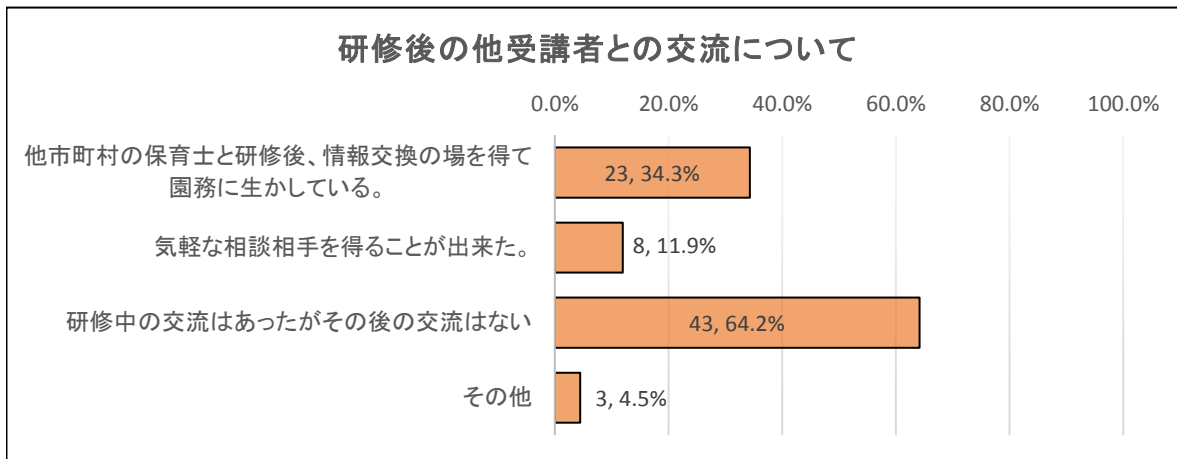
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)(園長)	回答数	該当受講者
他市町村の園長(所長)と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	13	17.1%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	4	5.3%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	63	82.9%
その他	3	3.9%
計	83	



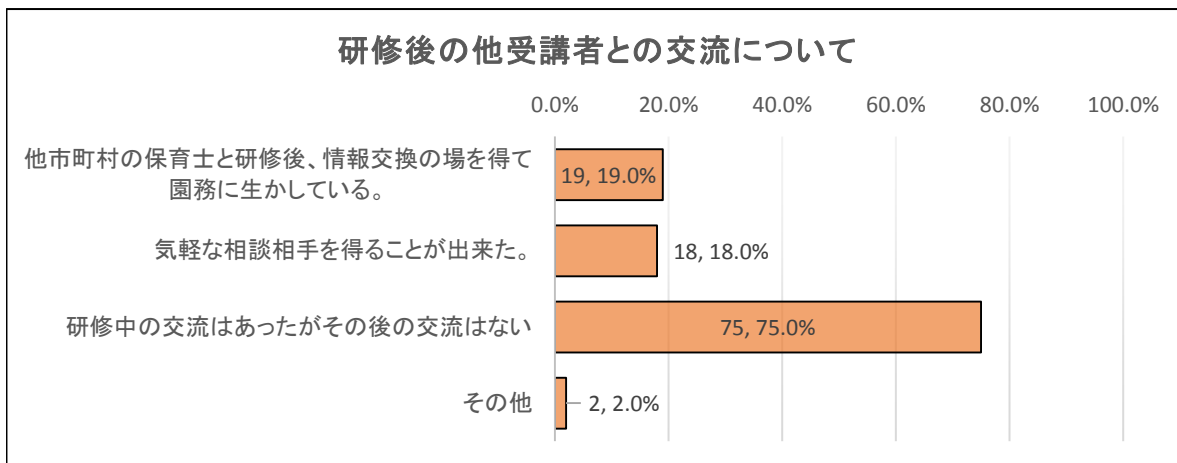
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)(主任)	回答数	該当受講者
他市町村の主任(副所長)と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	15	21.1%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	12	16.9%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	53	74.6%
その他	1	1.4%
計	81	



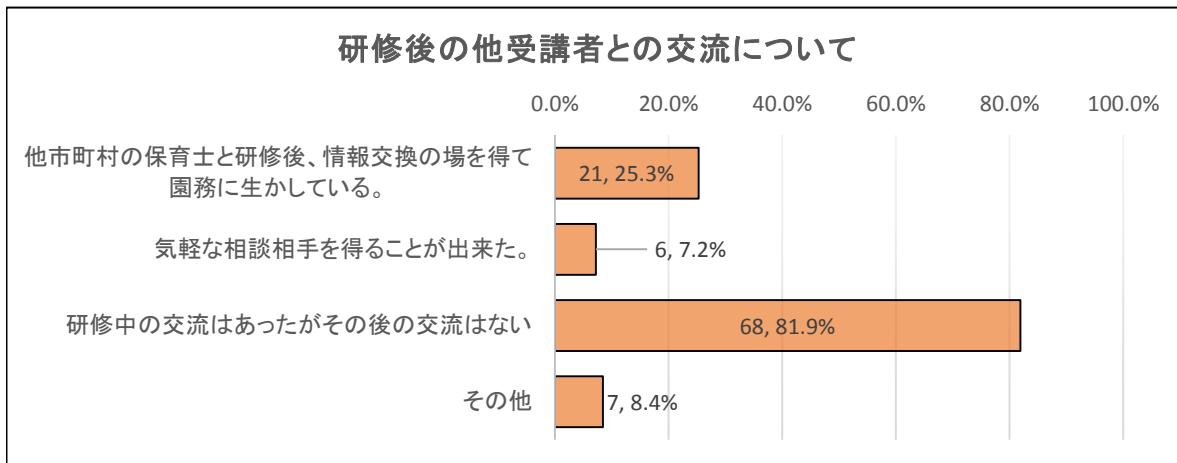
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)(中堅前期)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	23	34.3%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	8	11.9%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	43	64.2%
その他	3	4.5%
計	77	



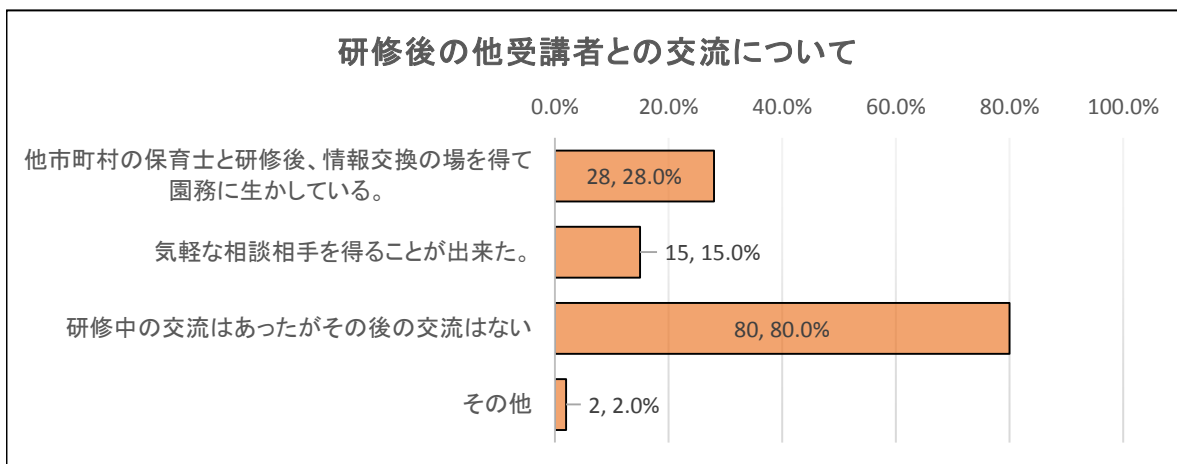
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)(中堅後期)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	19	19.0%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	18	18.0%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	75	75.0%
その他	2	2.0%
計	114	



研修後の他受講者との交流について(複数回答可)(障害児)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	21	25.3%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	6	7.2%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	68	81.9%
その他	7	8.4%
計	102	



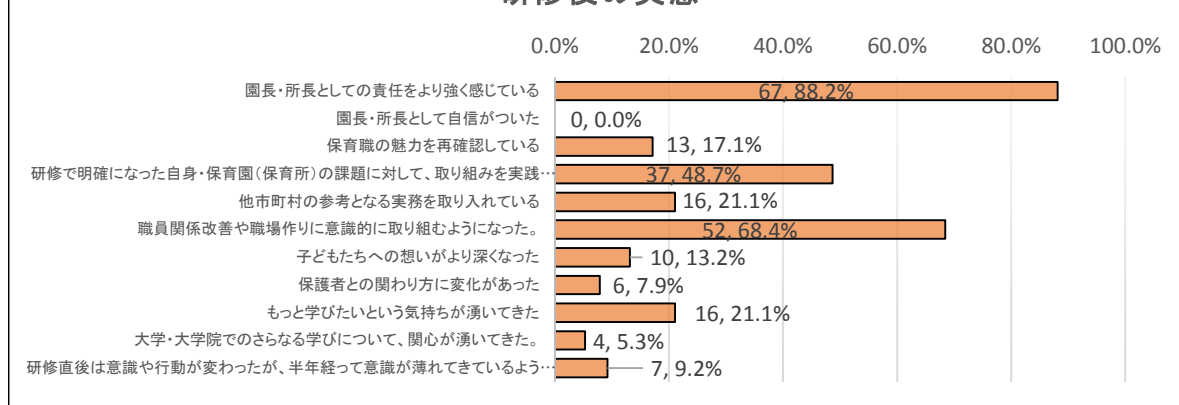
研修後の他受講者との交流について(複数回答可)(乳児)	回答数	該当受講者
他市町村の保育士と研修後、情報交換の場を得て園務に生かしている。	28	28.0%
気軽な相談相手を得ることが出来た。	15	15.0%
研修中の交流はあったがその後の交流はない	80	80.0%
その他	2	2.0%
計	125	



研修後の実感(複数回答可)

研修後の実感(複数回答可)(園長)	回答数	該当受講者
園長・所長としての責任をより強く感じている	67	88.2%
園長・所長として自信がついた	0	0.0%
保育職の魅力を再確認している	13	17.1%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	37	48.7%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	16	21.1%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	52	68.4%
子どもたちへの想いがより深くなった	10	13.2%
保護者との関わり方に変化があった	6	7.9%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	16	21.1%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	4	5.3%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	7	9.2%
計	228	

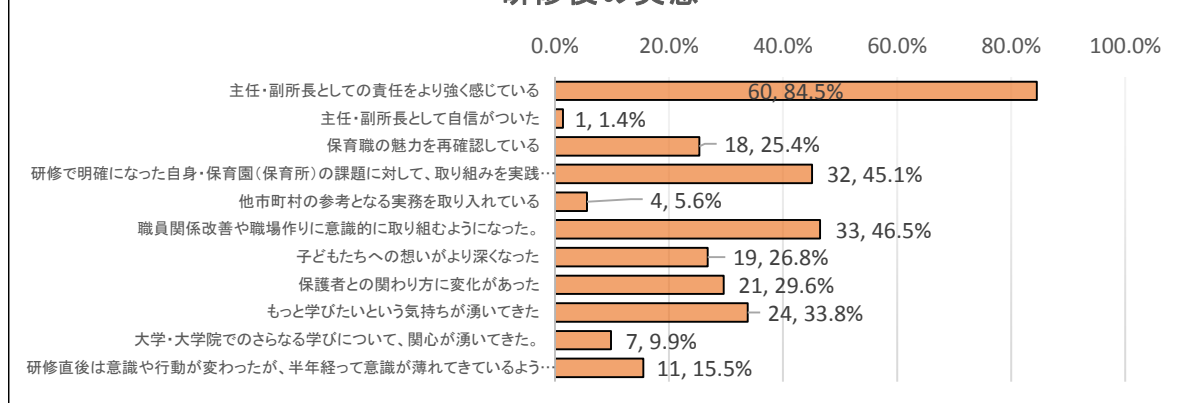
研修後の実感



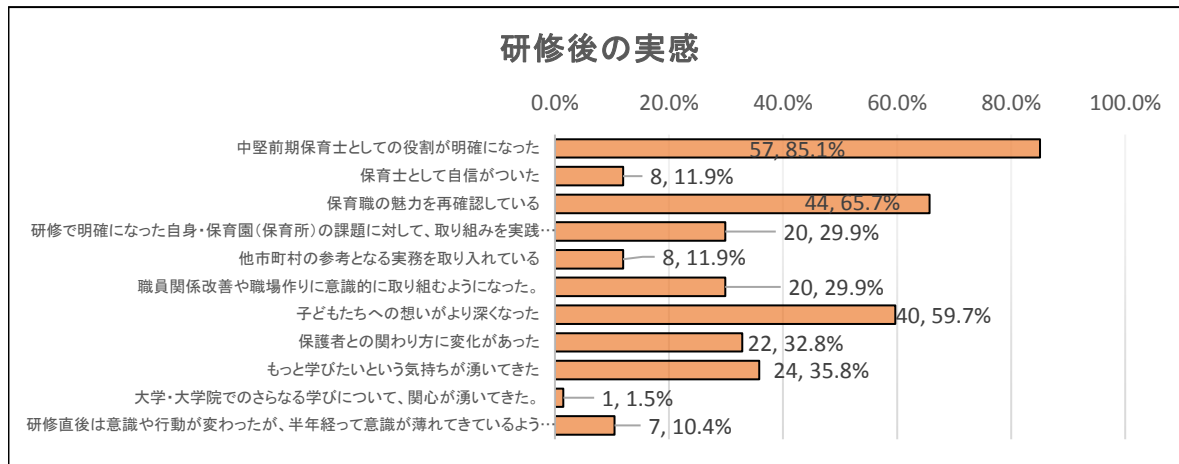
研修後の実感(複数回答可)(主任)

研修後の実感(複数回答可)(主任)	回答数	該当受講者
主任・副所長としての責任をより強く感じている	60	84.5%
主任・副所長として自信がついた	1	1.4%
保育職の魅力を再確認している	18	25.4%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	32	45.1%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	4	5.6%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	33	46.5%
子どもたちへの想いがより深くなった	19	26.8%
保護者との関わり方に変化があった	21	29.6%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	24	33.8%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	7	9.9%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	11	15.5%
計	230	

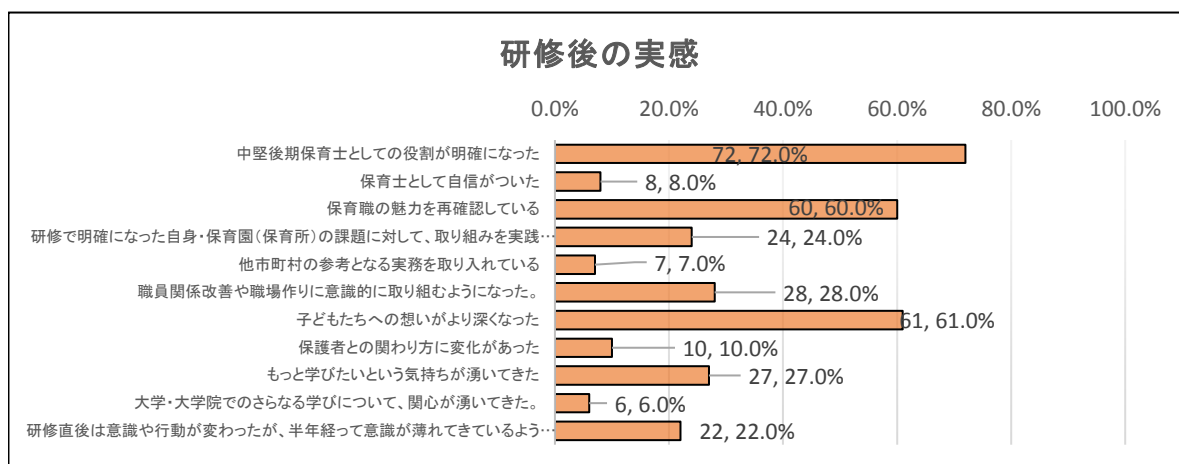
研修後の実感



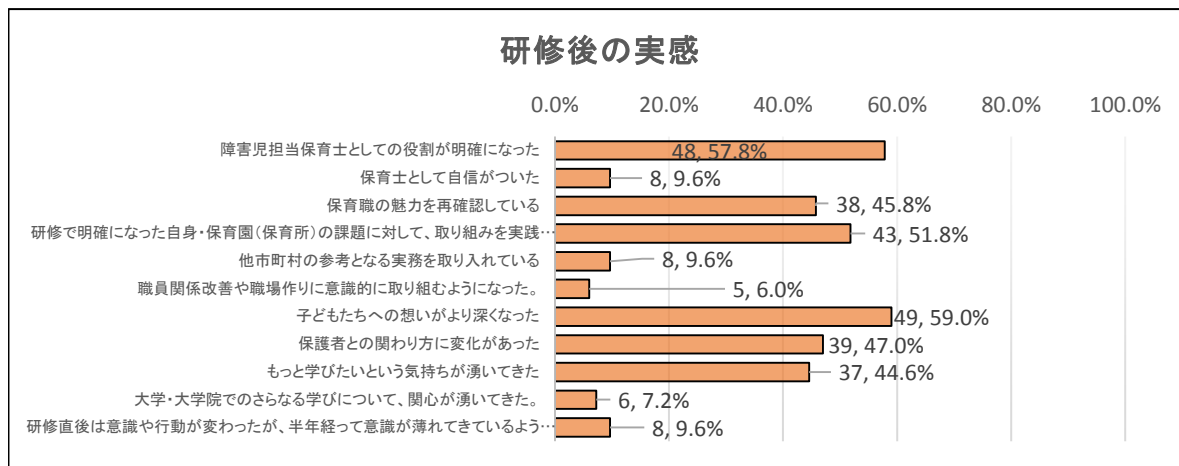
研修後の実感(複数回答可)(中堅前期)	回答数	該当受講者
中堅前期保育士としての役割が明確になった	57	85.1%
保育士として自信がついた	8	11.9%
保育職の魅力を再確認している	44	65.7%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	20	29.9%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	8	11.9%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	20	29.9%
子どもたちへの想いがより深くなった	40	59.7%
保護者との関わり方に変化があった	22	32.8%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	24	35.8%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	1	1.5%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	7	10.4%
計	251	



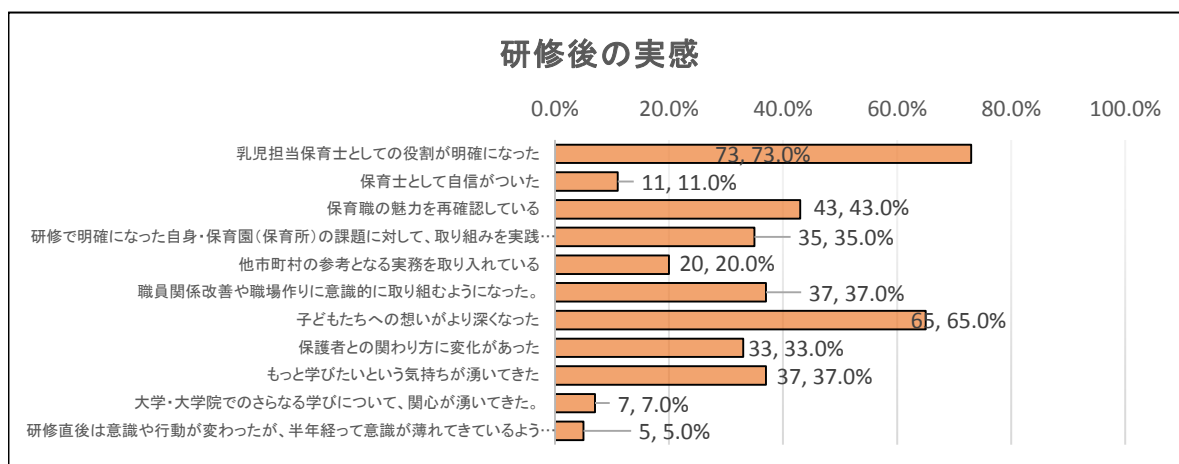
研修後の実感(複数回答可)(中堅後期)	回答数	該当受講者
中堅後期保育士としての役割が明確になった	72	72.0%
保育士として自信がついた	8	8.0%
保育職の魅力を再確認している	60	60.0%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	24	24.0%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	7	7.0%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	28	28.0%
子どもたちへの想いがより深くなった	61	61.0%
保護者との関わり方に変化があった	10	10.0%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	27	27.0%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	6	6.0%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	22	22.0%
計	325	



研修後の実感(複数回答可)(障害児)	回答数	該当受講者
障害児担当保育士としての役割が明確になった	48	57.8%
保育士として自信がついた	8	9.6%
保育職の魅力を再確認している	38	45.8%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	43	51.8%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	8	9.6%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	5	6.0%
子どもたちへの想いがより深くなった	49	59.0%
保護者との関わり方に変化があった	39	47.0%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	37	44.6%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	6	7.2%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	8	9.6%
計	289	

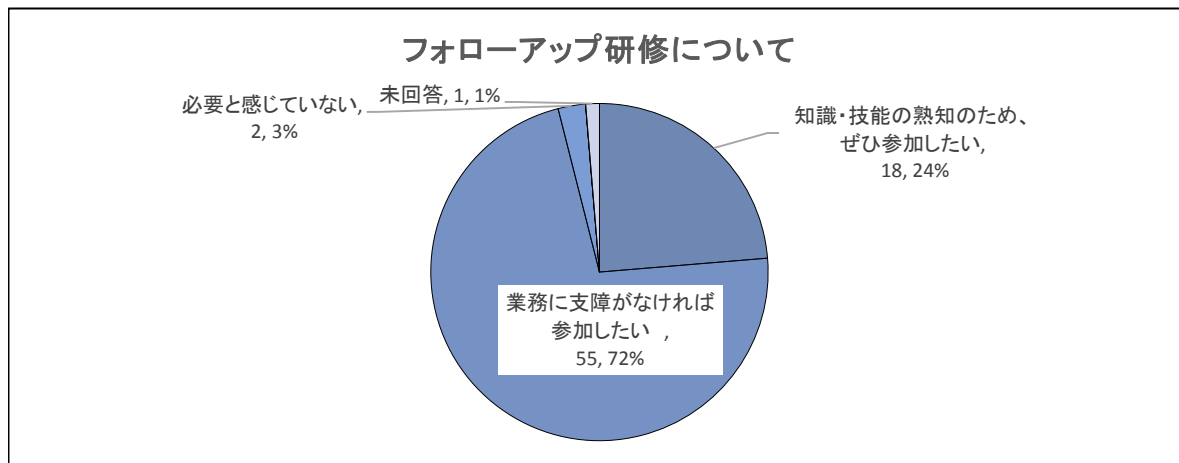


研修後の実感(複数回答可)(乳児)	回答数	該当受講者
乳児担当保育士としての役割が明確になった	73	73.0%
保育士として自信がついた	11	11.0%
保育職の魅力を再確認している	43	43.0%
研修で明確になった自身・保育園(保育所)の課題に対して、取り組みを実践をしている	35	35.0%
他市町村の参考となる実務を取り入れている	20	20.0%
職員関係改善や職場作りに意識的に取り組むようになった。	37	37.0%
子どもたちへの想いがより深くなった	65	65.0%
保護者との関わり方に変化があった	33	33.0%
もっと学びたいという気持ちが湧いてきた	37	37.0%
大学・大学院でのさらなる学びについて、関心が湧いてきた。	7	7.0%
研修直後は意識や行動が変わったが、半年経って意識が薄れてきているように思う。	5	5.0%
計	366	

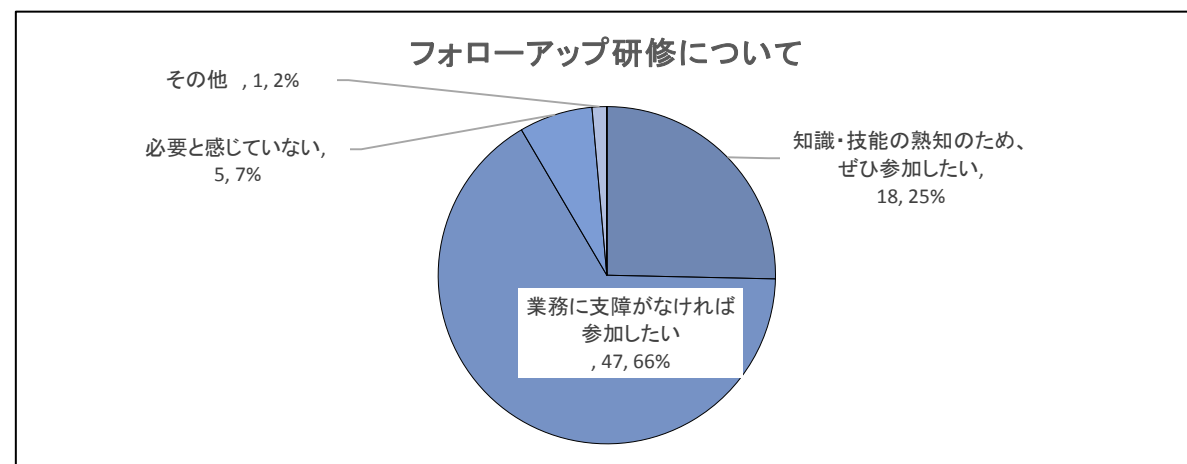


本研修の終了後一定期間において研修を行うフォローアップ研修について

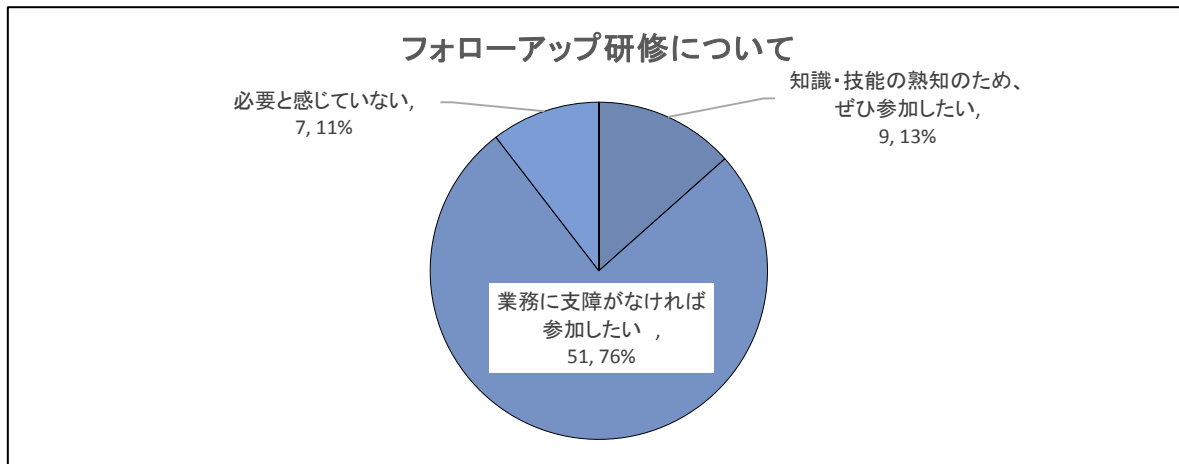
本研修の終了後一定期間において研修を行うフォローアップ研修について(園長)	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	18	23.7%
業務に支障がなければ参加したい	55	72.4%
必要と感じていない	2	2.6%
その他	0	0.0%
未回答	1	1.3%
計	76	100.0%



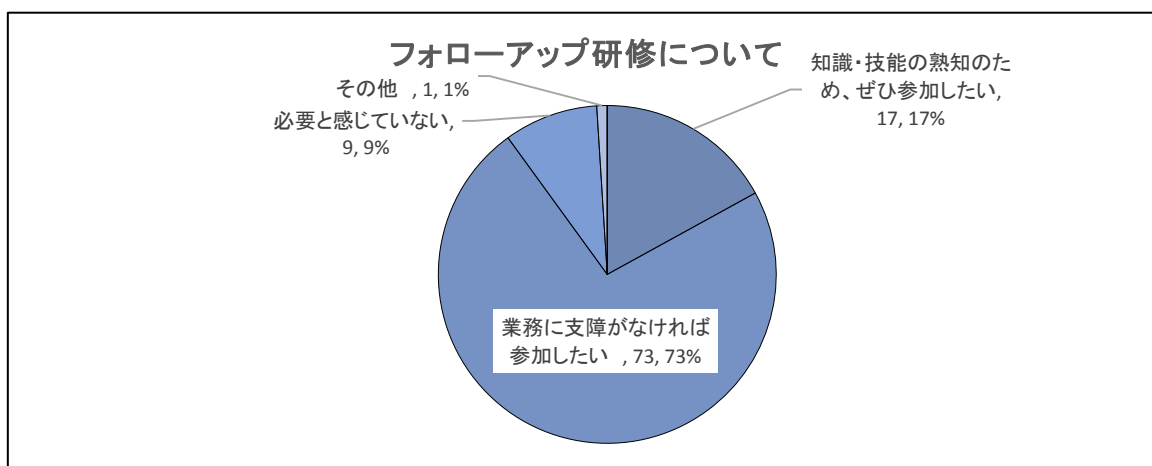
本研修の終了後一定期間において研修を行うフォローアップ研修について(主任)	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	18	25.4%
業務に支障がなければ参加したい	47	66.2%
必要と感じていない	5	7.0%
その他	1	1.4%
未回答	0	0.0%
計	71	100.0%



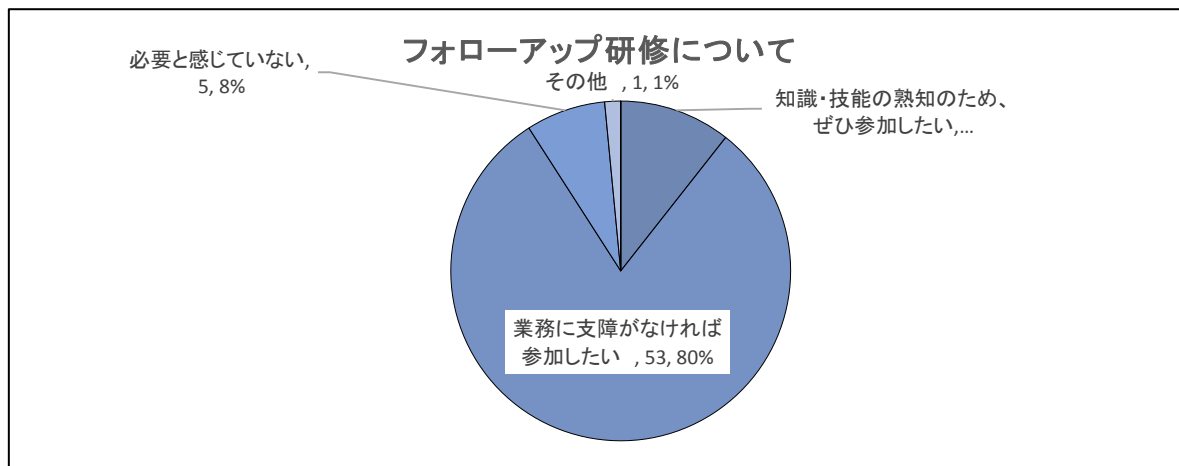
本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について(中堅前期)	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	9	13.4%
業務に支障がなければ参加したい	51	76.1%
必要と感じていない	7	10.4%
その他	0	0.0%
未回答	0	0.0%
計	67	100.0%



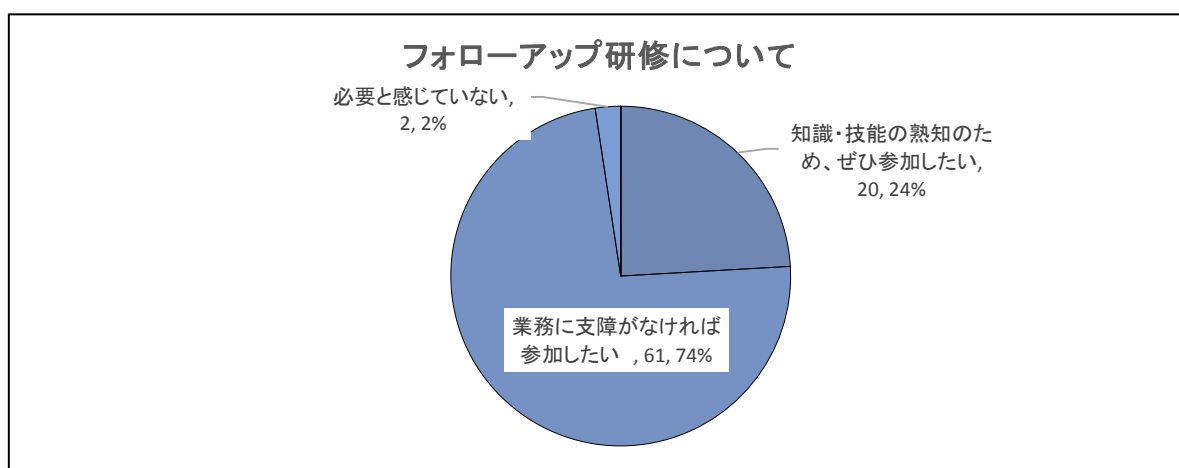
本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について(中堅後期)	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	17	17.0%
業務に支障がなければ参加したい	73	73.0%
必要と感じていない	9	9.0%
その他	1	1.0%
未回答	0	0.0%
計	100	100.0%



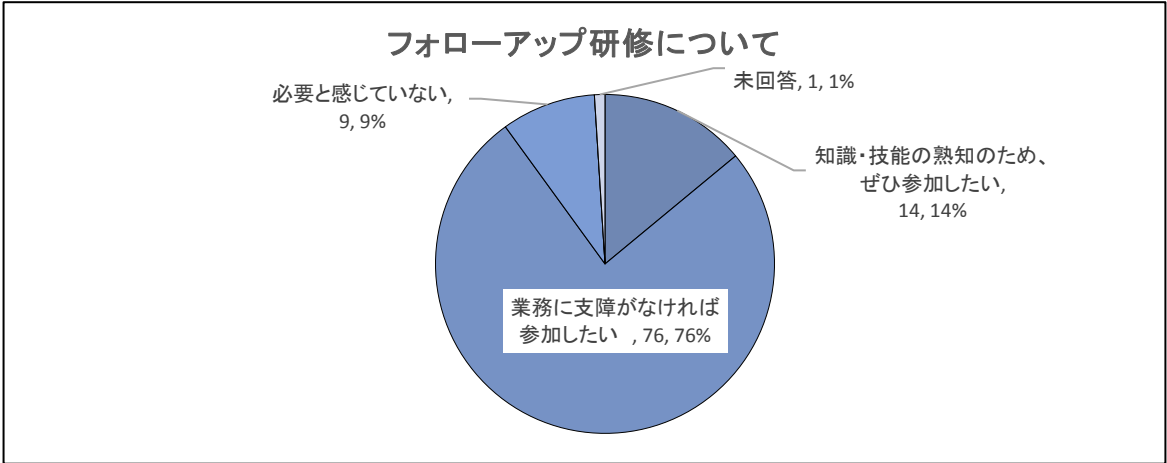
本研修の終了後一定期間において研修を行うフォローアップ研修について(育休明け)	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	7	7.0%
業務に支障がなければ参加したい	53	53.0%
必要と感じていない	5	5.0%
その他	1	1.0%
未回答	0	0.0%
計	66	66.0%



本研修の終了後一定期間において研修を行うフォローアップ研修について(障害児)	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	20	24.1%
業務に支障がなければ参加したい	61	73.5%
必要と感じていない	2	2.4%
その他	0	0.0%
未回答	0	0.0%
計	83	100.0%



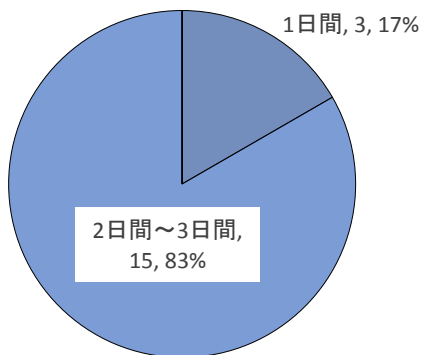
本研修の終了後一定期間をおいて研修を行うフォローアップ研修について（乳児）	回答数	割合
知識・技能の熟知のため、ぜひ参加したい	14	14.0%
業務に支障がなければ参加したい	76	76.0%
必要と感じていない	9	9.0%
その他	0	0.0%
未回答	1	1.0%
計	100	100.0%



フォローアップの希望期間

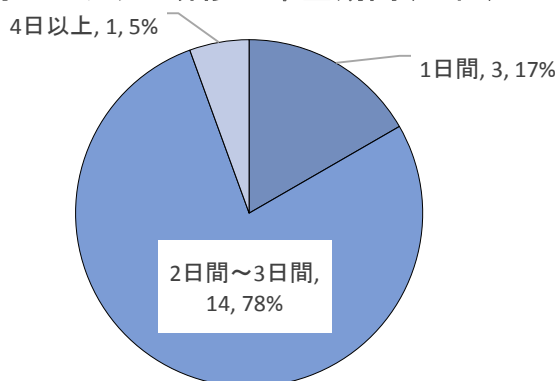
フォローアップの希望期間(園長)	回答数	割合
1日間	3	16.7%
2日間～3日間	15	83.3%
4日以上	0	0.0%
計	18	100.0%

フォローアップ研修の希望期間(園長)

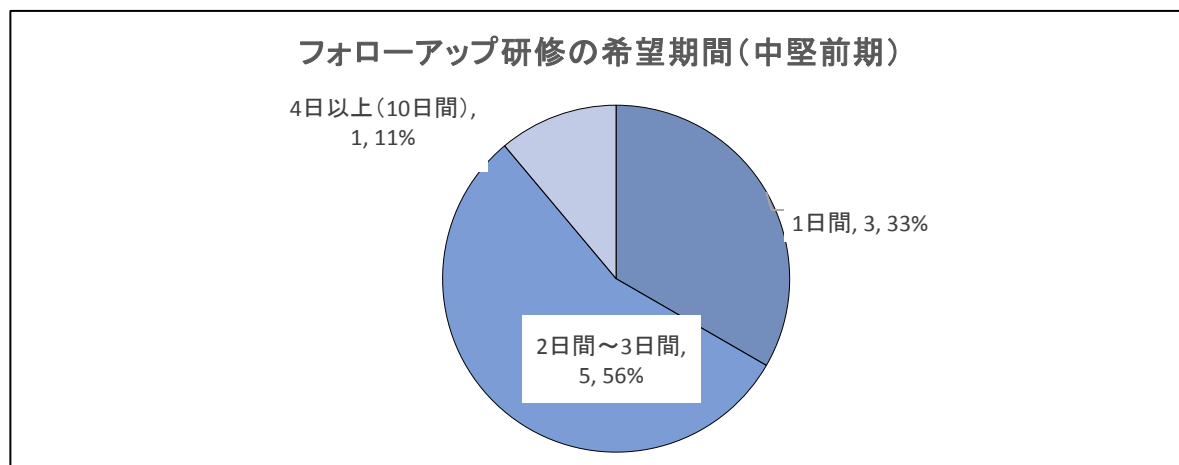


フォローアップの希望期間(主任)	回答数	割合
1日間	3	16.7%
2日間～3日間	14	77.8%
4日以上	1	5.6%
計	18	100.0%

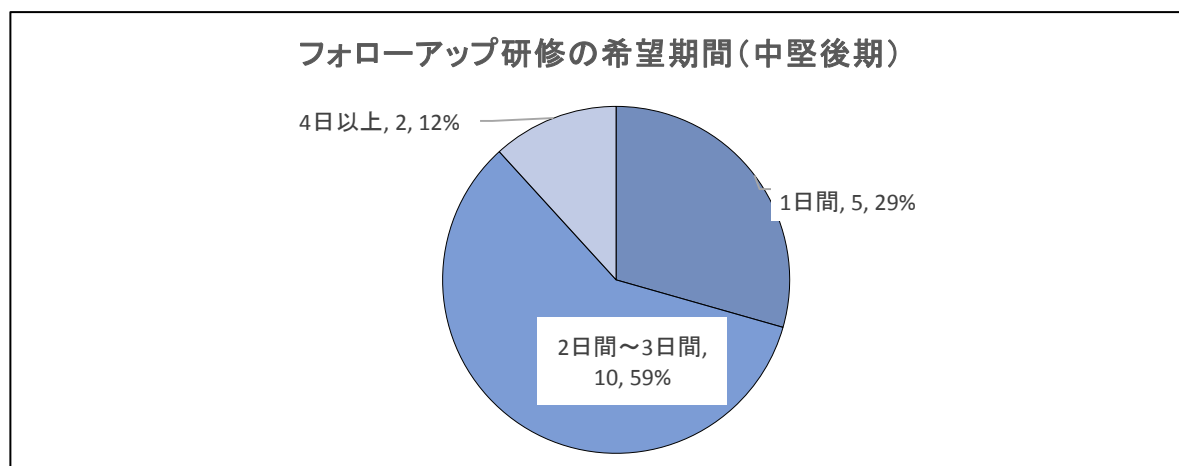
フォローアップ研修の希望期間(主任)



フォローアップの希望期間(中堅前期)	回答数	割合
1日間	3	33.3%
2日間～3日間	5	55.6%
4日以上(10日間)	1	11.1%
計	9	100.0%

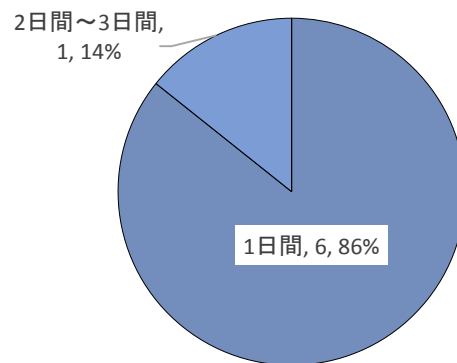


フォローアップの希望期間(中堅後期)	回答数	割合
1日間	5	29.4%
2日間～3日間	10	58.8%
4日以上	2	11.8%
計	17	100.0%



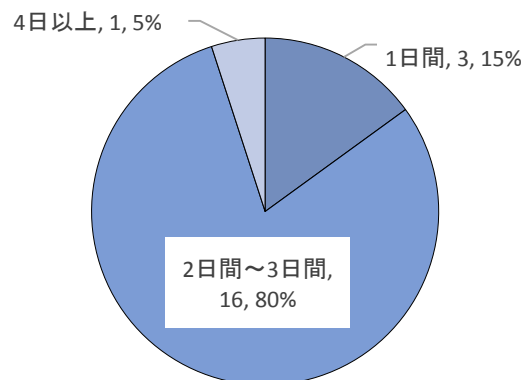
フォローアップの希望期間(育休明け)	回答数	割合
1日間	6	85.7%
2日間～3日間	1	14.3%
4日以上	0	0.0%
計	7	100.0%

フォローアップ研修の希望期間(育休明け)

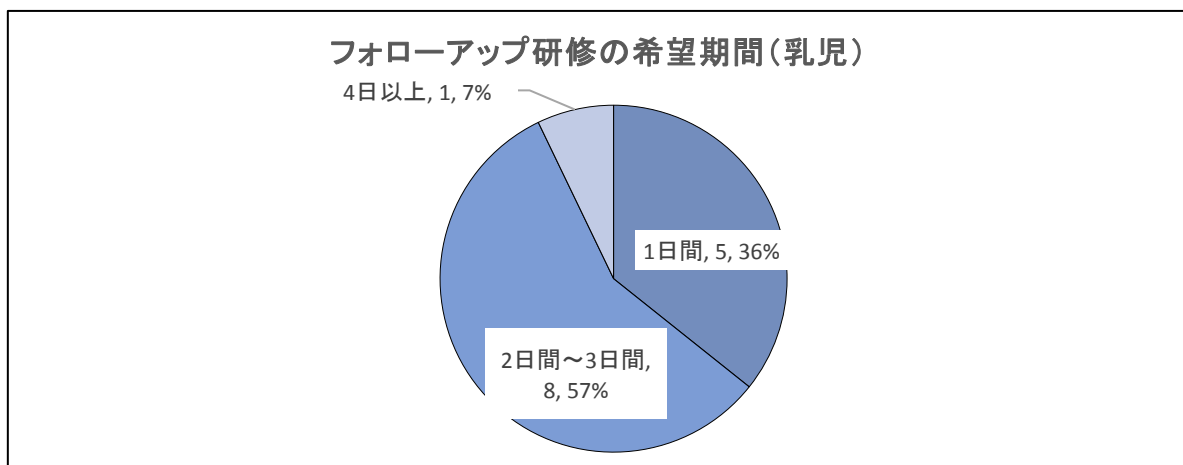


フォローアップの希望期間(障害児)	回答数	割合
1日間	3	15.0%
2日間～3日間	16	80.0%
4日以上	1	5.0%
計	20	100.0%

フォローアップ研修の希望期間(障害児)



フォローアップの希望期間(乳児)	回答数	割合
1日間	5	35.7%
2日間～3日間	8	57.1%
4日以上	1	7.1%
計	14	100.0%



平成26年 愛知県現任保育士保育士研修

保育士研修事後調査集計結果 集計表
保育士研修後の実感についての具体的記述

	保育士研修名	受講者数	回答者数
資料3-園	園長研修	79名	76名
資料3-主	主任保育士研修	76名	71名
資料3-前	中堅前期保育士研修	76名	67名
資料3-後	中堅後期保育士研修	104名	100名
資料3-育	育児休業明け保育士研修	68名	66名
資料3-障	障害児保育専門研修	89名	83名
資料3-乳	乳児保育専門研修	104名	100名

愛知県現任保育士保育士研修運営協議会

研修後の実感具体例(園長)
保育園の運営管理において、特に職場環境、職員のメンタルヘルスの二点について、自分の保育園は何が欠けているのか、問題点から改善策を職員で話し合い実践をしている。 保育士の人材育成は園長の責務であり、良いチームワークで保育を進めていけるよう、職場の秩序を作るためのルールの大切さを実感したので、ルールの大切さを伝えていくと共に自らも実践していくよう心がけている。 園をまとめていくための園長としての、技量、職員をつなぐ人のとしての輪を作る等、様々なところに 気遣いをして組織を成り立たせていくことの難しさを実感しましたが、責任の重さを自覚しました 危機管理、人材育成について、職員でよく話し合い深く考え実践につなげていくように努力しています 決断したらもれなく責任がついてくるという事を胆に銘じ、自分の言葉に責任を持ちぶれないよう、より心掛けるようになった 保育園としての問題点を分析し、具体的な改善目標を立てて行動に移すように努力している winwinの関係を大切にしている。(大変な事こそ自ら率先して行動するようにしている職員と一緒に考えていく姿勢を大切にしている) 保護者の思いや願いは真摯に受け止めるようにしている。思い込みやズレがないか、視点を変えて見ていくようになった。積極的に保護者に声を掛け、親しみやすい関係を作るように心掛けている 園長として保育はもちろんのこと職員との人間関係については、より気を遣わなければと思った ひとりひとりの強みを生かし、職員同士が認め合い、支え合い、育ち合うことができる土壌を作っていくことが責務であり、園長として真摯な態度で業務に取り組んでいかなければならないと感じた 職員への対応、地震に対する対応 より風通しの良い職場作りのために(今まで以上に)挨拶・声かけ・見守りを行なう。リーダー会などの進行を見守り、適時、激励や賞賛、アドバイスをし行なう 4月より園長になり今回講義を聞き自分の態度や言葉の責任の重さを感じました 職場作りでは勤務時間も違う中で声を掛け合い連絡等をしていき良い関係が続くようにしていきたい 他園の先生方と危機管理についていろいろ意見交換をし考えさせられることも多く、園独自で見直していかななくてはと強く思ったが日々の生活の中で特に大きな問題がないと現状に満足してしまっている自分がいる気がして意識が薄れてきているのではと思 園長になっても役職名ばかりで仕事の内容の把握が不十分だったため研修を受けることで具体的にになるとともに自分の配属された園・子・親・職員等に一層の愛着、思いが持てたことと責任を感じた 朝の打ち合わせの時に保育理念を声に出して皆で言い再確認している 『リスクマネジメント・安全管理』の講義で学んだ事を園の職員に話し、安全について話し合う良い機会となった。子ども達の安心、安全を保障することの重要性を再確認することができた 自園の職員の力量を見抜き、どうアドバイスしていくことが効果的であるか、主任と共に考えどのように職員の資質をあげていくと良いかを話し合う良い機会となった。若い保育士が仕事のやりがいを感じてもらえるか、やる気を持ってもらうために主任として、園長としてどうしていくかを話し合いました 園長に対する課題の大きさを再認識し、身が引き締まる思いがした 年齢別の安全チェックリストを作成し、毎月会議で反省や改善を話し合い安全な保育を心がけている 仕事に対する責務を感じ、職員や園児が毎日楽しく過ごせる環境を整える努力を心がけている リスクマネジメントについての講義内容で、より責任の重さを感じている。 まだ自分自身に自信がないため、今後も学んでいながら、人材育成をしていきたい。 何かを決めるときに園長の判断力、決断力が必要になることを意識して、最善の対応ができるようにしていきたいという気持ちをより強くした。また、職員が意欲的に仕事に取り組めるようにということを一層意識するようになった。 園長としての経験、専門的な知識、確かな情報等が必要であり、常に中立の立場に立ち客観的な見方をする事を意識する事と、人の言葉に惑わされず、自分の言葉に責任を持たなければならぬと改めて実感しました。 職員の数が少なく、シフトの関係で会議の時間が上手く取れない点があったが、会議の内容を事前にクラスごとで話し合ってから会議に出たり、会議の時間を工夫することで、少しずつ改善されてきました。 園長の果たすべき役割、園長に望まれる力、保育の質の向上の鍵を握るのは園長であること、部下育成は園長の責務であること、人材育成の必要性、人材育成に必要なことなど多くのことを学びました。学んだことで責任の重さを強く感じると共に、やりがいも更に持てました。 園長として事務的な仕事に追われていた中で、園長の果たすべき役割は人材育成が大きく、それが保育の向上につながることを 話していただき、気持ちを切り替えることができた。 広い視野を持った適切な運営管理(保育所の自己評価・利用者の満足度を満たす努力・安全管理に努める) 危険安全管理・職場全体のレベルアップ(救命救急及び津波避難の講習会開催・市主催の研修及び自主研修への参加) 職員にとって働きやすい職場環境作り(コミュニケーションを多くとり、関係を良くする行動指針を示し的確に褒めることを実践する・福利厚生事業の斡旋) 研修を通して、園長としての責務の内容や望まれる能力について具体的に学び自分自身を振り返って反省することもあった。園長としての決断と責任について研修後より強く感じるようになった。職員に対して仕事の内容やその仕事の意味を具体的に伝えるよう心がけるようになった。 危機管理・人材育成などなど、いつでもどこでも言われている「園長のリーダーシップが重要」である。 課題ー園長としてのリーダーシップに欠ける。取り組みー職員会議の持ち方や取り組み方の工夫をし、保育士が学びあえる場にしようと思っている。また、ポストイットを使って子どものようすを職員全体で把握したり、職員会議に使うようにしている。 人事評価・業績評価などの面接や若い保育士への声掛けを意識したり、園内研修への取り組みの工夫をする。 今、園長としてどのような行動や言葉が必要か、考える機会が増えた。 園長としてまだまだ学ぶことが多く、いろいろな知識を得ていきたいと思っています。 多岐にわたっているので、内容が浅くなってしまうように感じます。制度など、運営にかかわる事項をもっと集中的に行っていきたい。 災害避難訓練への取り組み方を見直し、想定内容を増やして訓練を行う。職場の役割分担や、体制について見直しをする。 人材育成や職員関係の改善において、連携の取り方を見直したり、職員の思いを聞きながら、職員関係の改善に努めている。職員間の良好な関係が、仕事への意欲、保育の質の向上につながるの、保育士の思いに耳を傾けながら、保育実践に活かす指導をしていきたい

危機管理対応・部下への明確な指示。園長の判断力・言動の責任の重さ。子どもが持つ「遊びの力」(能力)をいかに育て伸ばすのかは保育士の気づき、子どもを見る視点によるかわり方(環境設定)次第で左右されるので保育士を育てるのも具体的に、また、その人の個性、特性に応じてかわるようになっている。
園長になったばかりで毎日が勉強です。他市町村の園長先生方の悩み、取り組みを聞かせていただく場に参加でき、実際に話を聞くことができ本当に良かったと思っています。日々の行事等で研修時の思いが薄れがちではあるがこのアンケートに答えている今、また復命書を読み返します。
4月より園長として勤務しているが、改めて園長としての重責を感じた研修だった。
臨時職員の人数が多いので、職員共通理解をすることの大切さを実感した。また、子どもたちを安全にお預かりするための機器管理マニュアルを確認し合ったりして職員間での共通理解を深めることをしっかりとやっていかなければならないと思った。
来年からの新制度などもっと詳しく勉強したいと思った。
幼保小連携のための計画作成。新人保育士の対応
「判断したことはもれなく責任がついてくる」当たり前のことですが改めて袖を正すという思いで聞きました。職場の人間関係はむづかしいが、その立場立場になって考えていけると相手の思い気持ちがわかってくると思うのでコミュニケーションを多く取り入れ認め合うことを意識的に取り組むようにしています。
所長になって2年目、これでいいのか・・・と考えることが多くあった。今回の研修に参加し、他の市町村の先生方の話を聞くことができ、参考になったとともに、自分自身が「向上しなくては」という思いが強く湧いてきた。
小さい園であるため、所長の仕事と共に保育園所、日々の雑用に流されてしまっているところを感じ、反省した。
子ども子育て支援制度へ移行してる中で、社会情勢(国の動向や政治)をしっかり把握するの重要性や保育の質の改善と第三者評価活動について、課題がたくさんあることを認識し責任を強く感じた。
園長としての方針をしっかり持つ事・危機管理意識をしっかりとつこと・職場環境や職員のメンタルヘルスについて見直したり改善の必要性を意識するようになった。
保育所に求められる内容が多様化していることを研修を受けることで痛感した。
研修により自分の職務の確認ができた。
考えることの基の研修で学ぶ事ができた。
何をすべきか、自信と職員の課題が明確となった
事故対応についてポイントを絞って考えることができた。
保育実践以外の学びを深めたいと思った。
保育の質を向上させるためには人材育成は大切であり、その効果は子どもの姿で表れる。そのためには私自信また、職員となるよう、保護者、子どもたちに対する、関わり方、想いを今一度、考え振り返る場を持つようにしている。職員との信頼関係を深めるためにも仕事以外のことでも活をするよう心掛けています。
行政との連携をしっかりとれるように、また職場内の職員会議等充実させ、報告・連絡・相談のしやすい環境になるよう努めている。新制度について理解し、職員にも周知を図る。
保育士としての経験が浅く、「園長」という職は適任でないと日々思う中、研修で他園の園長の話聞き、所長としての責任の重さを実感し、もっともっと学ぶ努力をしていかななくてはと考えています。
保育全般について、主任と話す機会を多くもつようにした。他市の毎月1回の自己評価に刺激を受けて、チェックリストを活用して問題点、気づいた点などを記入してもらい、職員と個別に話し合った。今後の保育に活かしていくようにする。職員の輪を大切に、日々言葉をかけるように努めている。
課題について他の市町村と意見交換することは、とても有意義だった。職員の育成に関しても問題点が共通しており、今の現状を知り、参考になる事もあった。
今年度はじめて園長となり、不安もいっぱいだったが、この研修の中で同じ園長という達がの人の思い、悩みを聞いて私も同じだ、がんばっていかなくては…という気持ちになれた。また研修の内容が具体的で、それを基に今やれることから進めています。
所内に生活安全委員会を設置し、産業医の先生の協力も得ながら職員の健康管理に努めている。
園長としての責任をより強く感じている。発言したことや伝えたことに対してはグリコのおまけで責任を持つことです。それに対してよく考え、どの様にするのかしっかりと自分の中で明確にし発言することの重要性を再確認しました。意識が薄れてきている部分もあるので、保育指針を読み返すようにしていきたいと思います。ありがとうございました。
行政や今後を担う人材育成など園長として果たすべき役割の大きさ、重さを強く感じる機会となった。自分自身や園に欠けているところやもっと意識をもって取り組んでいかなければならないことを具体的にあげ実践していくことを心がけている。

研修後の実感具体例(主任)
今回の研修では、主に経験年数の浅い保育者や実習生への指導やかかわりについて参考になった。若い保育士さん達に保育の楽しさややりがいを感じてもらえるようにしたいと思うので、助言をする際には、良いところを認めつつ一人一人の個性を生かせるようにかかわってほしいと思う。
責任の重さを痛感した
今までこうしてきたから、という考え方を見直す良い機会となった
職員間でどんな小さな事でも伝え合い場を共有できるように心掛けている。エピソード記述を書くようになった
日頃、市内の園の副園長と話している課題などが、他の市町村も共通している事がわかり、もっと視野を広げなくてはならないと感じた
職員とも保護者ともいろいろな課題があり、それが子どもへ影響すると感じているが、人間関係が上手くいくことでフォローできる部分が多いことを改めて実感した
園内研修について学び、その必要性を強く感じた。現在は実技的なものがほとんどなので、新たに保育内容について若い保育士の悩みを聞きながら、保育のねらいの重要性について話し合った。運動会や発表会への取り組みについても、個々のねらいをもって取り組めるように話し合った
保護者支援、職員の意識向上のための援助や乳児、障がい児保育の基本を見直せる事ができた
勉強したことを思いながら毎日子どもたちの顔を見てから大学へ通った。命を預かる責任の重さと成長を微力ながら支えられる保育の仕事の魅力を学んでからこともたちに関わるととても感じる事ができた。保護者支援を学んだがとてもむづかしいと感じるので引き続き勉強できる場があると良いと思った
保護者や子どもたちだけでなく職員間がうまくいっていなければ良い保育は出来ないと思います。その為にも職員一人ひとりが自分の思いを表に出し話し合うことで解決することも少なくない。その為にも短い時間の中でいかに中身のある話し合いが出来るか、時間の調整をしたり、一人ひとりの思いを個別に聞くように自分自身心がけるようになった。また、若い保育士や新人保育士への対応に対し責任の重さをより感じている。
保育園の中での主任の責務が、とても具体的に自分の中で再確認でき、理解したと同時に、園における主任の役割がとても重要で、自分の動き一つで園全体が変化することを感じ、責任は重大だと改めて思った。また、ディスカッションでの他市の主任の方の心構えや言葉などが、今現在、主任の仕事をしていくときの参考に大変なっている。保育について、またそれに付随する様々な事(保護者支援・園内研修・保育士指導など)について、研修を受けたり、自分の動きや考え方を反省したり、学んだりすることがとても楽しく、保育にやりがいを感じている。
保育士に対して自分のすべきことが見つかり、疑問に思うことは一つ一つ保育士と考えるようになった。保育士の気持ちに寄り添うことを大切にしている。
子どもをみる目について、丁寧に心の内側を見ることを大切にしている。保育士とも子どもを理解する園内研修に取り組んだ。
保護者の気持ちをまずは聞くようにし、うなづくこと、保護者が聞いてもらいたい気持ちが満足できているか自分の態度はどうか見直した。
自分から積極的に研修に参加をしたり、文献を読むなど知識を増やしたりしたいと思った。
主任としての知識の薄学さを痛感し、研修で得た知識や学んだことをより深めるため、研修資料を見直したり、文献学習をしている。
保護者と接する時には、研修で学んだことを活かし、態度や話し方に気をつけている。
指定管理園であるため他園とのつながりも少なく同じ立場の方と情報交換をし共有、学び、現状をふまえニーズにあったことを習得し自己課題を見出す機会となった。
保育実践記録を園内研修に取り入れ、資質向上を図っている。職員間の連携や、保育士一人ひとりの思いに寄り添うことを、より意識するようになった
園内研修の進め方や障害児保育、乳児保育、また保育課程について学んだことを毎日の保育の中で職員にアドバイスしたり一緒に考えたりしていかなければならないと責任を感じました。また、ただ伝えるだけでなく職員がやりがいを持って保育に取り組むためにどう接すればいいのか、どう伝えたらいいのかを日々考えながら保育士と話したり職員会を設けたりしています。まず、自分を高め、知識を増やさないといけないことは確かなので、今後も気を引き締めて保育について考えていきたいと思っています。今回の研修では基本的なことが多かったのですが、各市町村の主任保育士と主任の立場としての情報交換ができたかと思っています。
事務処理に追われ、保育士指導がおろそかになってしまっていた。園業務が円滑に進むことはもちろん、保育士育ての責任もあることを実感できた。
主任としての自覚はでき意識を持って日々過ごしているが、忙しすぎて取り組めていないこともあるので、再度研修内容を振り返りたい
変化につながったりするので保育士指導に関しての責任感が大きい。実習生や経験の浅い保育士の思いを理解して分かりやすい伝え方、助言の仕方を心掛けている。
園での自分の役割について、パイプ役であることを意識して行動している
育った時代背景に合わせた対応ということで、保育士指導、保護者支援での対応の仕方について、意識して関わっている。園の子どもの発達をきちんと踏まえていないと、保育士へのアドバイス、保護者対応ができないので、きちんとした目で子どもの発達を捉えていくために、今までよりも知識を深めていかなければならないと感じた。
他市、他園の現状や意見を聞くことにより、同じ問題を抱えていたり、対応など参考にしたいと思う部分もあったが、なかなか取り入れられないまま日々の保育に追われてしまっている。
幅広い内容の授業であり、基礎理論から細かく学び直しができた。その中で保育士を指導、保育をマネジメントしていく立場として、自分の知識やスキルの不足している部分を確認したのと同時に、その責任の重さも実感した。
私の園の乳児担当の保育士は、若手であり、臨時保育士と複数で担当している。保育に自信がなかったり保育士間の連携もあまりされていないように感じている。今回の研修で学んだ「乳児保育」の中での発達と子どもの状況に応じた望ましい環境構成のあり方、保育士間の連携、若手保育士の指導など事例検討や実践を通して学ぶことができたので、私の園で実践したり具体的に伝えることができた。

子どもの見方や視点のポイントなどを学ぶことができました。職員会や園内研修のこと、職員関係など主任としての役割や責任、配慮を学ぶことができ、とても役立っています。今後も資料を活用していきたいと思います。
日々、保育にあたる先生方が自信を持って仕事をしてもらえるには、保育の取り組む姿勢などのちょっとした変化に気づいて声をかけてあげることが大きく影響すると感じた。
子どもにとって大人の関わりの資質を上げることが、子どもの幸せにもつながると思うと、私たちの立場にかかっていることに、よりやりがいや責任を感じた。
今の保護者の傾向(自分をまずは認めてほしい、頑張っていることを褒めてほしい)を知ることで、まずは保護者の求める気持ちの寄り添いに参考になった。
初めて主任になり、上司をサポートし若い保育士を指導する立場になり、とても戸惑いがありました。また日々の仕事に追い立てられ、自分を見つめなおすこともできなかったのが、今回の研修に参加したことで自分の置かれている立ち位置が、いかに大事なポジションであるかがより明確になりました。その分仕事のやりがいも見えてきたような気がします。園全体がうまく起動するように子ども達の可愛い笑顔が見られる事が嬉しいです。
職員関係改善や職場作りでは主任として、若い保育士が多いので一人一人の性格をよく知り、一緒にクラスに入り寄り添い、答えを出すのではなくヒントを与えながら自ら考えられるようにしている。
今まで、漠然としていたことが明確になったように思う。そして、今、私たちが何をしなければ ならないのか、そのために何ができるか、出来ることから実践していきたいと思う。いろんな人に出会えて、いろんな情報を得ることができて感謝します。有意義な研修でした。
研修や他市の意見を聞くことで、共感することや改善したいことなど、いろいろな物の考えの幅が広がったように思う
主任は園内におけるすべての人間関係や業務の要であることを再認識し、責任の重さを感じた。現在の実習生や新人保育士の立場や状況を把握し、より良い職員集団になるよう、職場作りに努めている。
副主任という立場で参加させて頂いた。今まで、立場的にどこまで踏み込むべきか等悩み、消極的であったが、この研修後少し自信がつき、又責任を強く感じ、この研修で学んだことを生かし、より良い職場作りに(私自身が出来ることで)貢献できれば・・・と思い、積極的に取り組んでいる。いろんな意味で前向きに、建設的に考えられるようになったと思う。
指導の難しさが自身の課題でもあり、研修の中でも話題となった。現任研修の中で、市町は違っても同じような悩みがあることを感じたため、どこでも同じように難しい問題となっていると理解した。自園の保育指導において、どのように伝えたと伝わるかを相手に合わせて考え、指導していくようにしているが、あれこれ試しているところである。園全体を考えていく責任は大きいと感じる。
現場、園長の補佐としての立ち位置がより明確になった。
言葉、書面共に短く具体的に伝える。
保育の情報、保育士の思いをより得るため日誌にコメントをつけて情報として会話に取り入れている。
子どもたちへの育ちの保障をより強く感じ保護者を含め一人一人の姿について担任と話す機会が増えた。
今年度から主任になり自分の業務をこなすのに精一杯だったがもっと周りや、保育士、子供たちをよく見ていこうと思うようになった。また保護者との懇談では学んだことを生かして対応している。
自身の学びをより深めたいと感じました。知っている事、わかっている事を改めて学び他の保育士へ上手に伝えることの大切さを日々実感しております。
自分課題を学ぶことができ、整理や解決ができた。職場での共有や他保育士への働きかけ・投げかけ、自分の向上のため実践している。環境設定について、工夫や改善を働きかけ、実践している。自分自身が魅力ある人間・保育士を目指すために、改めなくてはいけないこと、このままでよいことの整理ができ、気持ちを新たにすることができた。
他市町村の主任とグループ討議ができ実際に取り組んでいること改善したことを話したことで、より主任としての役割を意識できた。講義の内容も主任という立場にだったので実際の現場につながり、次の日に生かした。
職員に対して意識的に認め声掛けをするようにしたり、まずは職員の話を聞くように意識して関わる自分自身が今まで以上に保育の話をする時間を意識して作るようになった。また、保護者に対してできるだけ気持ちを受容したり、共感的に関わるようにしている。研修で得た課題を実践しようと努めているが実行に移せないでいることもあるのでひとつずつ実行していきたい。
保育者同士の意見交換の場を設けたり、園内研修を経験年数ごとに行ったりして保育について花指圧馬を意図的に持つようにしている。保育者の育成が自分の仕事の大部分を占めていることを自覚し、一人一人にあった指導方法を考えることを意識している。今ある現状を当たり前と思わずにいろいろな文献を読んだり、講演会に参加することで視野を広げていきたいと思った。
学んだことを自分個人に留めるのではなく職場構成員と共有し、職務に活かしていくことの大切さを再認識し、同時に伝講することのむつかしさを実感した。
一週間の中で乳児から5歳児までの保育の見直しができたこと、障害児を理解することのむつかしさ保護者との関わり、職場での若い保育士の思いを受け止めていくことの大切さ等を学び、自分の保育はこれでよかったのか関わりはこれでよかったのか立ち止まった考えることができました。今の自分の立場を考え若手にチャンスを与え成長していけるような日々が送れるよう心がけるようになりました。
自分の役割を再確認し、自分でもできることを見つけてどんどん取り組んでいこうという気持ちはあります。
主任としての役割を再確認することで責任のある仕事であることを感じた。また、まだまだ未熟なところばかりで演習の中では多くのヒントや学びがあり実践に生かすことのできるものもあった。保育や保護者支援等主任としての視野を広げていきたいと思う。
一週間研修で保育園を離れていたことで「子どもたちはどうしているのかな」ととても気になり、「早く保育園の子どもたちと関わりたい」という気持ちになりました。今回の研修の学びを保育園の子どもたちに活かしたいという思いと保育職の魅力を離れていたことで再確認しました。
園内研修について学んだことは、主任として職員の意識向上、資質向上の点で役立っています
保護者支援のクレーム対応における自己を守る理解と障がい児保育に保護者支援、対応の仕方の2点は自分自身で関連した本を読んだりしましたが、できることならもっと深く学びたいと思いました。
研修直後に上記の事を行いました、やはり薄れることは事実でした。このアンケートをいただいたことで再度、資料等を見直すきっかけになり、よかったと思います。
子どもたちへの見方が色々な方向から見ようという思いで見えるように意識している。
研修を受けて責任の重さを感じ、自分にやっていたいけるのか考えさせられた。
職員会議の時だけでなく、行事や子どものことについてだけでなく、他のことも、保育時間後などにも、話し合うようにしてきました。他市町村の方々とのグループ討議や意見交換をしていく中でそれぞれの立場で精一杯努めている方の様子を知ることが出来刺激を受け、より良い保育現場にしていく力になる事が必要だと再確認できた。実際、業務の中で自分の意識や行動を見直すことを忘れてしまっている、その時々振り返っていくように心掛けていきたい。

制度は変わっても、子どもの育つプロセスは変わらない。社会をになう子どもに育つよう、日々の学びを重ねてゆきたい。
新任保育士の指導にあたり、経験だけでなく理論的に説明ができるようにしたい。
主任としての役割が職員育成保育園運営、保護者対応の中で重要であることを改めて実感した。育成面・保護者対応については、主任としての立場だけでなく、人として相手を受けとめ関わることを心がけ、学んだカウンセリング的なことを今後も活かしていきたい。保育については、日々の振り返りの必要性を再度伝え、記録やカンファレンスを行うようにした。自分自身を記録を読み取る力をつけ、その中で子どもの育ちや保育の楽しさを伝え合っていきたい。
普段おこなっている保育環境整備も保護者支援になっていることを意識化することで、職員の充実感や達成感を認め、保護者にもアピールする機会にしていけることができた。

研修後の実感具体例(中堅前期)
今まで自分自身が職場内で「中堅」という立場であるという意識が薄かったため、今回研修に参加したことで、自分の立場が少し意識できたと思う。
5日間クラスの子どもたちと離れて学ぶ中で、クラスのことを思って研修に参加し、戻ってからは個々の姿に目が向けられるようになった。
中堅前期の保育士として職場内での自分がどのようにしていけば良いか理解することができ、特に園の中でも積極的に行事や活動にも声を出していなくてはならないと感じた。また保護者の対応などについて、すべてがうまくいくわけではなく対応次第でどんどんわるくなってしまうこともあるので、普段から話をしたりしていると慣れが出てきてしまうこともあるので、言葉遣いや態度など見直していきたい。
子どもへの思いがよりつよくなった。各年齢の発達、遊び、関わり方を改めて学ぶことで、自身の保育を見直すと共に、より充実した園生活が成り立つための工夫を意識するようになりました。常に、この意識を高めていこうと思います。
自分自身が中堅の保育士という立場にいることを再確認し、少しずつ自分から意見を言ったり行動したりしていく必要を感じた。乳児期のことについて学び、その時期にどのように子ども達と関わっていくべきかを基本的なところを押さえながら学び、子ども達の「いや」という思いに耳を傾け、自分の出来る限りで受け止めていこうという意識につながった。保護者との関わりについて、少し受け身の部分もあったが、子ども達のよりよい成長のために、保育園での困っている部分も交えながら保護者の悩みに共感するようになった。
中堅前期の役割が明確になり、意識して行動することが増えた。しかし、行事に追われてしまうと、意識が薄れてしまうこともあった。研修を通して、子どもたちのためにもっと勉強を重ねて保育力を高めたいと思った。
保護者の声に耳を傾けるようになった。保護者の信頼を得るため保育力を高めたいと思っている。
様々な市町村の保育士さんと話すことで、同じ悩みを持っていたり解決策が見つかったりと、とてもいい機会になった。
保育士としての基本的な知識を再確認するとともに初心を思い返したり日々の自分の保育を振り返ることができるような内容の研修がいくつかあり身の引き締まる思いがした。今後の意欲へつながった。
経験年数の近い保育士同士で悩みを相談し合ったりしたことで今の自分でもできる解決策を知ることができたり、中堅の保育士としての意識も出来たと思う。
中堅保育士という言葉はよく聞いていたが実際にその立場になると何をしたいのか不明瞭だった。今回学ぶ中で中堅としてのあり方を学ぶことができた。保護者の関わりでは今までよりもさらに「自分の発言に責任を持つようになった。半年が経ち意識が薄れてきたというよりも日常の業務で手一杯になってしまい中堅としての役割まで行えていないのが現状である。
流動的になってしまっていた保育を自分自身のことを見つめ直すことで、改めて「もっと生き生きとした保育をしたい」と思い別の方法も考えてみようとする姿勢が出てきたように感じています。
子どもたちの表面的な姿だけを見るのではなく、一人一人の姿からどういう育ちや成長が感じられるのか今のクラスの子どもたちに必要なことは何かを具体的に考えられるようになった。
中堅保育士としての自分の役割を明確に知り、同じ立場の保育士との意見交換や交流が持てたことで、今の自分に必要な専門性や職場の中でのコミュニケーション能力、保育士の魅力を改めて感じられ、前向きに保育に取り組もうという気持ちに繋がった。子ども理解、職場作りなどの様々な学びが得られ、職場での実践に活かしている。
子どもたちへの想い、何を大切に子どもとかわかっていきたいかが明確になりました。自分の保育にキャッチコピーを付けるという演習によって子どもとの触れ合いを大切にしたいという思いを、よりはっきりと自分で意識するようになりました
中堅としての立場であったり、悩みなどをみんなで共感できた
中堅保育士としての役割について意識し、後輩の相談に乗ったり、指導をするようになりました。中堅前期として、ベテランの先輩と後輩との橋渡しや、会議での意見、発言など、意識的に取り組むようになりました
中堅保育士という事が漠然としたことに感じていたが、後輩の指導方法や、話し合いでの意見をまとめたりすることなどを具体的に学べ、少しずつではあるが意識をして実践できる部分では実践をしている。
中堅保育士としてどういう立場で仕事をすると良いかがよくわかりモチベーションの向上へ繋がった。
同じ位の保育年数である保育士と同じような悩みを共有し、自分だけではないという安心感を持つことができたことで自信になった。
少しの間クラスから離れて研修に参加し、自分のクラスの子のことを振り返って考えたり、子どもの発達について学んだことで、子どもたちへの思いがより強くなった。
よりよい保育ができるよう、発達について再確認したり気になる子への援助方法をより詳しく学びたいと感じている。
後輩保育士が準備などに積極的に取り組めるように、率先して保育行事や研修に参加をする。
先輩、後輩隔たりなく積極的に話をして意見を交換できるようにしている。
子どもたちの発達に合う遊びや声掛けにより積極性が増したり、保育士の関わりで友達との関わりも深まる事を改めて感じた。
子どもたちに対して他園の保育士の関わり方の違いを知れたり、製作方法や新しい技術を知ることができた。
受講内容が具体的に、分かりやすく、保育現場に活かされる内容が多かった
他市町村の保育所での取り組み、内容を参考に自分の保育を振り返る事ができた。新人保育士への具体的な助言や指導に努められるようになった。上司や先輩保育士とのつながりが深められたと思う。
五日間しっかり勉強させていただき、子どもの発達段階や中堅保育士としての役割について再確認したり、考えることができた。また、他市の中堅保育士の先生方とのグループ討議や意見交換現役学生とのふれあいや指導の中でも得るものが多く、とても充実した研修になりました。
自分の経験から、おおまかに“こうあるべき”“こうすべき”と思い業務してきたが、中堅前期の立場から具体的にすべきことを明確に示してもらったことで、自分の立場・役割を自覚する事ができた。
中堅前期保育士としての立ち位置がよくわかった。自分の意見をしっかり持つことが大切だと改めて感じた。
中堅前期保育士として、上司との連携を図ったり、新人の様子にも気を配ったりすることの必要性や大切さを改めて感じる事ができ、研修後は自分なりに気を付けるようにしている。一週間程、保育から離れじっくりと学ぶ機会もなかったもので、研修で子どもの発達や保護者対応など再度確認したり、他園の先生方からの話を聞き、自分の中での意識に変化があった。
自分の保育、保育士としての自分を振り返り、反省したりいろいろと考えることができた。
模擬会議を行ったことで、中堅としての立場がどうあるべきかを学び、今の自分に必要なことを自分の保育、保育士としての自分を振り返り、反省したりいろいろと考えることができた。
学生さんと接することで、保育食職にあこがれていた頃の気持ちを思い出すことが出来た。
指導計画は「保育をデザインするもの」ということを自分自身で意識して楽しい保育を想像しながら計画を立てられるように努力している。

いろいろな保護者がいて自分だけではなく先生方も同じように悩んでいたりわからないと感じたりされているということをこの研修で感じてから自分自身少しゆとりをもって接することができるようになった。
今後中堅保育士になっていく身として今までとは責任感の感じ方も違ってくることを学んだ。これからも学ぶ姿勢を大切にしていきたい。
自分自身の取り組み方等を振り返り反省し、研修で学んだことを思い返しながら子供達と関わるようになった。
自分の今までの思いや知識だけでとられず、研修で学んだいろいろな事例や意見を思い出し参考とするようになった。
研修を受け自分自身の保育の見直しができ、自分の良いところ、改善すべきところがわかり日々の保育の中でも時々研修内容を思い出すことがある。
研修に参加し自分の今までの保育を見直す良い機会となった。子どもの行動やその真意を深く考えたり意識を変えることでいろいろな面が見えるようになったと感じている。保護者との関わりでも今まで連絡事項や園であったことなどを伝えることが多かったが、気持ちに寄り添ったりどんな思いでいるのか考えたいという意識が持てたように感じる。研修後は学んだことについての意識が高まったが、日々の保育に追われるうちにその気持ち、意識が薄れていることを実感しているので定期的に学ぶことが出来ると良いと感じる。
保護者との関わり方については、他の市町村の先生方の意見を聞いて良いと思ったことがあるので取り入れている。
中堅保育士としての園内での役割を研修で実感したので、園に戻ってきてからも意識して職員に声をかけ、コミュニケーションをとるようにしている。うまくいかない時もあるが、これからも中堅としての自分の立場を考えて園の力になっていけたらと思う。
中堅保育士としてどうあるべきかと悩むことがあり、自分の立場を意識し始めた頃の研修であったので、意見交換をはじめ自分の役割など考えるきっかけになり大変勉強になった。他市町村の経験年数が近い方々と交流できたことは、自分の保育感にはない考えが知れ、良い刺激になった。充実した5日間になり本当に良かった。
他市町村の保育士との交流から、様々な保育の仕方や考え方を学び、保育士としての自身が以前よりも持てるようになった。また自分の園内での役割についてもはっきりではないが見つけることができ進んで行動に移している。
自分の立場を認識し役割が明確になったが努力や考えが不十分であると感じ意識を改めないといけないと思っている。
今までの自分の保育を見直す良い機会となった。保育していく中で日々勉強だなと感じ、子供たちの育ちで何が大切かを考え、保育していきたいと改めて思った。また、中堅保育士として後輩保育士に保育の魅力を伝えたりアドバイスをして行けるといいと思っている。
中堅保育士としての自分の職場における位置づけ、役割を知る場となった。また自分自身を振り返る機会も頂いたことで課題、反省も明確となり意識することが多くなった。
研修前は自分の立場というものを実感していませんでしたが研修を受け自分の立ち位置、役割が明確となりました。研修後はそれを実感し、意識して動いていましたが、半年経ち意識が薄れ、積極的に動いていないと自身を反省するので再確認して頑張りたいと思います。
今後も自分だけでなく先生たちで情報交換を行っていき、よりよい保育をしていきたい。研修で学んだことを日々の保育の中で生かしていきたいとおもった。
保育士自身も楽しく保育ができるように心がけるようになった。
中堅保育士としての意識を今以上に持ち、課題や準備に取り組むようになった。
先輩と後輩の橋渡しの役割を積極的にするようにしている。
研修に参加し、それまではなんとなく感じていた、今の自分の職場の役割が良く分かり、学んだことを日々の実務に取り入れたり、他の保育士に伝えたりしているつもりである。また、8年保育者として子どもと関わる経験をした今、再度大学で学んだような事を学ぶ機会をいただき、より子どものことが分かってきたと思う。
時期的に行事が多く、日々の保育に追われ、忘れがちになってしまいがちであったが、アンケートがあり振りかえるキッカケになったので、意識をつなげていきたい。
分かりやすいお話でもっと聞きたいという気持ちになった。実際に保育の現場で実践できたものばかりだった。
自分がどのような役割であるか分かり、中堅であるということを意識して保育できるようになった。
研修を受けたことで、保育士自身が”わくわくするような保育”ができているだろうか？そのような計画を立てていきたいと意識して日々過ごすようになったと感じる。
5日間、職場から離れて学んだことで、自分の保育観を再度考えることができ、他の保育士を交えて意識することなく、自分の信念をしっかりともち、保育をしようと思う気持ちが強くなった。また、学生時代の気持ちを思い出し、新鮮な気持ちで初心に戻り、保育への熱意やりがいを強く感じている。
5日間の研修を通して、自分に足りない能力が具体的に見えたと思います。
中堅保育者として新人・先輩の様子を見て、声をかけるように意識している。子どもたちのことを一番わかっているのは、担任だということから、子どもたちが保育者なら分かってくれるという信頼感、安心感が持てるよう関わろうと掛けている。(以前より)
中堅保育士の立場としての役割を考えなおすことができ、少しずつ実践してみました。自分の身近な職場の人間関係は一時的に良くなった気がしますがなかなか長続きせず、元に戻ってしまいました。しかし、このアンケート用紙をみて、また意識することができそうです。

研修後の実感具体例(中堅後期)
後輩に対して、自ら声をかけ、コミュニケーションを計るようにし悩みや相談ごとが聞きやすい関係を目指した。
子どもの最善の利益という言葉に基づいて考えていこうと意識している。
一人一人の子どものよき見ようになり、少しずつの成長を子どもと喜び合えるようになった。
臨時保育士としての勤務が長く、正規として2年目ということで、自分の中で「中堅保育士」ということに迷いがあったが、園での自分の立場に自覚をもったり、役割を意識したりするようになった。
丁寧な関わりが必要な気になる子ども達が多くいるので、そのような子ども達が抱えている困難さをより考えて保育をすることを心掛けるようになった。
一週間かけて研修したことで、中堅保育士として自分の立場を徐々に感じる事ができた。また、講義の内容に、中堅保育士として求められることは何かを考えるものがあったことも大きいように感じる。
研修後は研修の頭になっていたが、保育園に戻ると保育のことで頭がいっぱいになり、日々の保育に追われになってしまい、研修で学んだことは頭の片隅に追いやられている気がするよう。
保育士として子どものことを考えるだけでなく、中堅保育士として園の中での立場や役割を考えて、少しずつでもできることを見つけて行動しようとするようになった。又、保育課題の立て方や保護者対応などは実践し、少しでもよりよい保育に繋がるよう心がけている。
現場で保育をしていると課題に対して考えが煮詰まってきたり、つまづきを感じたりするようになってきていた。今回の研修で新たな見解が生まれ、自分の気持ちの切り替えになった。保育の課題解決、組織力について現場で力が発揮できるくらい学びたいと思った。
中堅保育士が、若手保育士のモデルとなるように日々保育すること、上司からの指示を的確に受け止め保育や若手保育士の育成につなげることで、保育業務や職場の人間関係が円滑になるようにしていきたい。
保育職の魅力を再確認することで、自分のモチベーションが高まり、初心に戻ることで若手保育士の悩みや相談に同じ目線に立ち、共感やアドバイスしていきたい。
保育に関する本を読んだり、心身をリフレッシュしたりする為の情報を積極的に取り入れていきたい。
保育士の魅力を伝える内容が有り改めて保育士を目指していた頃の思いを振り返ることができまた今の自分は何をしなくてはいけないのか考えさせられた。
実践していることの裏付けができたり今まで曖昧だったことが明確になった。
自分の中で気になっている内容は度々読み返しているがそうでないものに対してはなかなか触れることなくすぎている。
民間保育所なので良い保育を行うために理想と現実のギャップがありすぎる。(金銭面、設備面等)。
中堅保育士としての責任を再確認し、また魅力も改めて感じられたが、半年経ち日々の保育に追われてしまったり、後輩の成長が感じられなかったりして意欲を欠いてしまうことがある。
子どもの為に”という思いが強くなりました。生活の中で子どもたちの笑顔や「楽しい」という言葉が聞け、喜びを改めて感じています。
一人一人と、より丁寧に関わっていこうという意識が強くなりました。内面に寄り添い、温かく安心できる保育士でありたいと思います。
中堅保育士という意識はあったが、具体的にどう行動するとよいのかという戸惑いがあったが、研修を受けたことでより分かりやすくなった。また、研修期間子どもから離れていることで、子どもに対しての想いを再確認できた。学んだことを実践したいもっと学びたいという気持ちはあるが、日々の保育に追われることで意識が薄れていたと感じる。
中堅保育士としてどうあるべきか(園全体を見る、後輩への指導や見本となること)がはっきりした。保育士職の魅力を再確認すると共に、大変だったことなど、他の保育士と話し合う場が持て、自分だけではないんだと感じることが出来た。
今までの経験を重ねたうえでの講義であったため、より実感でき中堅保育士としての知識を得て、役割も明確になった。
中堅後期保育士ということで、保育が理論的に整理できているだけでなく後輩へアドバイスをしていく立場ということを再確認できた。気になる子への関わり方が参考になった
子ども一人ひとりと深く関わり、良いところを見つけたり伸ばしていけるようにしたりしている。遊びの中で、色々な経験をし、楽しんだり学んだりできるよう考えている。
保育士の魅力についてじっくりと考える時間をもらえたことで、日々の業務をこなすだけでなく、楽しさを改めて感じられる事が出来た。
園においての自らの立場や役割を学ぶことで、具体的にどういう働きをするべきかを考えることができた。また、後輩指導においてのポイントや、自らにも目を向けることを保育職の魅力やメンタルヘルスから学ぶことができた。
中堅として求められているもの、保育士としての役割など、どの講義にも含まれており、自身の振り返りと学びにつながったため。
一組織である保育園がより良いものになっていくために職員間の協力、連携を心がけている。改めて子どもの個々の気持ちを考え、何とかしてあげなくては、という思いが強くなった。
年長児を担当しているが、行事等で追われて子どもの気持ちに寄り添うことに迷ってしまうことがあった。この研修後には、自分の保育に自信がついてきた。
保育職の魅力について研修を通して再確認し、落ち込んだり悩んだりすることは誰もが感じていたことで、子どもの成長を近くで感じられるこの保育という仕事を誇りに思いました。仕事を続けてきたからこそ感じられる喜びなどたくさんあるので、これからその喜びを忘れず頑張りたいと思います。
自分自身の保育の見直しや取り組む姿勢、子どもに対する接し方、職場関係者、保護者、地域の人たちなどの関係の持ち方を考えていく。保育園の中で、自分はどうあるべきかを考え、全員が気持ちよく生活できるよう、気を配っていく。そして、職員みんなが自分の力を発揮できるような存在になりたいと思う。
子どもへの関わりを客観的に考え直す機会になり、自分の保育を見直すことができた。
研修から半年ほど経過し日々の保育や忙しさに追われ11の様になっている事に気づき反省している。資料や自分の感想を必要な時だけでなく定期的に読み返し今後も役立てていきたい
休みの日も子どものことを考えているが、それも楽しい。
自分がおかれている立場について、考えさせられた。保育士という魅力ある職業に就けたことをとてもうれしく思う反面、周りの人たちとの関わりが濃くなり、責任を持つということもより自分自身にかかってきているということの重圧感に負けてしまいそうになったが、研修によって自信がついた部分が増えた。

中堅保育士として、自分のクラスや自分のことだけでなく、園全体に目を配ること、見通しを持つこと、また、後輩保育士を気にか
け、園全体が働きやすい環境、雰囲気を作っていくことも大切な役割と感じた。
中堅保育士として日常の保育の業務だけでなく保護者対応、後輩育成など中核をになっていることを今回の研修を通して自分の
中でしっかりと認識をすることができた。自分が過去、先輩などから教わったことを後輩へと伝えていきたい
中堅保育士として日常の保育の業務だけでなく保護者対応、後輩育成など中核をになっていることを今回の研修を通して自分の
中でしっかりと認識をすることができた。自分が過去、先輩などから教わったことを後輩へと伝えていきたい。
今、目の前にいる子どもたちが何を感じているのかなと実践を通してよく考えるようになった。
研修会後、資料を見返したり、保育の中でどのように活かしていこうかと考えたりした。半年経過する中で行事等で余裕が無く、研
修で学んだ内容を振り返ったり意識を持続したりすることができなかつた。このアンケートに答えることでもう一度振り返り、意識を高
めて取り組んでいきたいと思った。
中堅後期保育士の立場についてすべきことについての話が多く出てきて役割が明確になった。
保育色の魅力について改めて話し合ったり発表したりすることにより実感することができた。
中堅保育士としての意識が強くなった。他市町村の先生方と話をし再確認できた。
研修で自分の保育を見直し直後は気をつけていたが忙しさなど自分自身に余裕がなく意識することを忘れてしまうこともある。
保育士の魅力について改めて感じまた、これから保育職に就く学生に想いを伝えることができてよかったと思います。市町村同士の
意見交換(保育について、書類についてなど)ができたことも良かったです。大学というキャンパスでまた教授の方からわかりやすく
教えていただいたこともとても勉強になりました。
保育士として働き始めてから改めてまとまった期間で座学を学ぶ機会がなかったので自分の保育を見直したり気持ちを新たにする
良いきっかけとなった。
自分の置かれている立場を再確認した。
園長、主任に次いでどの立場として、上の意見を下へ、下の意見を上へ伝える大切さを感じる。また、後輩へ伝える言動について、以
前より柔軟になった気がしている。
学生に魅力を伝えることで、自分自身の保育の振り返りになった。子どもたち一人一人の良さをあらためて見つめ直すことができ
た。
研修に参加したことで、中堅保育士であるという意識をしっかりと持ち、後輩の見本となれるような姿勢で取り組むべきだと改めて
感じた。また、自分の保育を見直す良い機会となったので、自分の保育を見直すとともに、子どもの姿も見直し、その子どもに合った
保育を心がけている。
新しい言葉を知ることができ、園内の話し合いで伝達し、共通理解となった。
もう一度研修資料を読み返し、中堅保育士としての保育実践や後輩指導に活かしていきたい。
保育士という仕事の魅力を再認識したことでこの仕事の重大性を感じ、子どもへの対応にもより配慮するようにした。大学で一定の
時間学ぶ姿勢ができ、研修参加を積極的にしている。
中堅後期ということで園内でどのように行動し後輩の保育士の見本となりアドバイスしていったらよいのか勉強になりました。
日々の保育の中で環境面、子どもの発達、関わり方など悩んでいた点や問題点などを学んだ知識を活かし改善できるようにしてい
る。
自分の役割を考える良い機会となった。
学生さんに魅力を伝えたことで自分自身も再確認でき、魅力を感じている。
障害児保育について話し合ったり考えたりしている。
職員間の連携を以前より図るようになった(相談など)
ひとりひとりとゆっくり関わったり、立場になって考えるよう心がけている。
他の市町村の保育士と情報交換の中で保育職の魅力を再確認できた。
他市町村の保育士との交流は大変新鮮で参考となる。すぐに取り入れてはいないが今後試してみたいと思っている。
中堅保育士として周囲の状況を把握することの大切さが分かり気になったことで見えてくるものがあるが、どう対応してい
けばいいのか悩むこともある。
学生に魅力を伝える授業や他の市町村の先生と話をすることができ魅力を再確認している
中堅保育士として知っておくべきことや役割などの学び直しや再確認できた。知識意以外にも後輩保育士を育成する立場にある
事や園全体のことを考えていく必要性を強く感じたので、研修前よりは意識できているように思う。
学生に対して、保育職の魅力を発表する機会があり、改めて保育職について考え直せた。自分の立場や役割を具体的に学び、多
くの同じ立場の方の意見を聞き、今後もこの仕事を子どものために若い保育士さんと一緒にやっていきたい感じている。
保育所の役割は、子どもの最善の利益を保障すること、ということを知り、保育をする上での自分の基準が明確になりました。また、
メンタルヘルスについても学び、保育士は楽しいだけでなく精神的に負担のある仕事であることが分かったので、職場内で声を掛
け合うように意識するようになりました。他市の保育士の方と情報交換する機会は今までほとんどなかったので、色々な考え方ややり
方が勉強になりました。
月案の書き方などは、実践的な研修もあり、再度確認することができた。また、子どもへの働きかけ・環境の大切さについて何度も話
があり、もう一度自分の保育について見直すことができた。
学んだことを仕事で生かすことが出来、保育士職の魅力を感じながら、楽しく仕事をさせて頂いている。仕事で、問題に直面した時
は、「この事を学びたい！」という思いが、以前よりも増したと思う。
プロジェクターを使って、保育職の魅力をグループごとに発表したことが1番印象に残っている。同じような経験年数の先生が多く、
今どういことを考え、悩んでいるかが共有できた。
書類が多かったり、立場的に大変だったりして辛い、苦しいと思うことが多い毎日だったが、保育職の良い所も沢山ある事に改めて
気づき、大変な時も沢山あるが、頑張ろうという気持ちになった。
中堅という立場を考え、自分の事だけでなく、周りの保育士や園の様子なども考えていかなくてはならないと改めて感じた。後輩保
育士に声をかけたりアドバイスができるように心がけている。
子どもの思いを聞いたり、成長をしていくための援助ができるように職員間で話し合ったりし、子どもを第1に考え、より良い保育がで
きるようにしている。
保育の仕事が自分が選んだきっかけを振り返り、保育職の魅力を改めて認識することができたため。
研修の後は、同僚との話の中にも、研修での学びを話題にしていたが、日々の忙しさのうちにだんだん少なくなっていくように思
う。

研修後の実感具体例(育休明け)
育児休暇後に職場復帰をすることに対して不安や戸惑いがあったが同じ立場の方と話をし、同じように両立に悩んでいること困っていることを知り、頑張ろうと思うことができた。
職場内において自分のことばかりを話して理解してもらおうとするのではなく同僚の立場の環境や状況を受け入れることによって自分のことも理解してもらえる職場の関係作りとなっている。
保護者の方とも話がしやすくなり、自分自身働きながら子育てをしている同じ立場として理解し合い共感することが出来る様になった。
残って作業できない部分やまかせてしまった時には感謝の気持ちを十分伝えるようにし、自分のできることを見つけけるようにしている。
保護者の思いをよく聞き共感したり自分もそうだとことを伝えたりしている。
仕事をしていることで、わが子とかかわる時間がなかなか取れず後ろめたい気持ちがあったが、同じような状況にいる方々の話を聞きとても参考になり、短い時間でも子どものことだけを見る時間を持つことの大切さを感じました。
中堅保育士として、後輩や臨時職員に対して見本を示したり、フォローをしたりするよう心がけるようになった。
限られた時間の中でも、丁寧に関わるようになった。
自分と同じ環境の方がたくさんいて勇気づけられました。みんなががんばっているから頑張ろうと思いました。
我が子に対しても自分ができないのではなく出来ることをしっかりやってあげようと思い少しゆとりを持って接することができるようになりました。
あれもこれもと出来ていないところに目が行き落ち込むことが多かったが研修を通して出来るところに目を向けたり出来てないところに目をつむってでも笑顔で子どもと接することを大切にできるようになった。
ワークライフバランスは上手くとれていないと思うものの、保育職の魅力を感じながら、日々この仕事を楽しみたいと思うようになった。職場では、できるだけ自分の意見や思い出せるよう努め、また周りの職員と助け合えるような雰囲気を大切にしたいと思っている。そして、自分の家庭のことも大切にできるよう切り替えの気持ちを持つよう努めている。
様々な価値観の異なる職場の人間関係において、時間や労力を惜しみ、当たり障りのない対応になっている。協力的な家族に対し、感謝の気持ちが薄れてきている。
研修では家庭と仕事の両立について、具体的に考える場となった。効率よく仕事をするよう心掛け、職場と家庭でのメリハリを意識できるようになった。
同じ立場の先生方と意見交換ができたことで、自分の職場での立場を再確認することができた。また、クラスの子どもの様子を話していくことで、保育の魅力を感じることができた。
子育てを経験してこそその見方で子どもの姿を捉えることができた。
仕事と子育ての両立の大変さや体調を以前より気にかけて共感できるようになった。
研修直後はその日の仕事の目途を立て、他の保育士に早めに帰宅する姿を見せようと努めたが、行事の準備等に追われ、なかなか実行に移すことができずにいた。
研修を受けて保育職は子供たちの成長が間近で見られて魅力的な仕事だと実感しました。又、自分の子供たちへの関わり方が完璧に出来なくてもいいかと思えるようになりました。しかし、時間が経つにつれ研修で学んだことを忘れている所もあります。
育休が明け、実際に仕事が始まると保育職の魅力ややりがい改めて感じる事ができた。研修に参加したことで、同じ子育て中の方との意見交換ができ、仕事と子育ての両立や子どもへの関わりについて考える機会となった。
講師の先生の講話や他市の職員と話をする中で「保育士ってやっぱり楽しいな」「やりがいがあるな」と再度気づく機会になった。
保育士同士が自分の思いを伝え合える関係づくりを意識して私から声を掛けたり掛けやすいよう笑顔で勤務するよう心掛ける意識付けができた。
一人一人の子どもの成長や家庭状況を把握して子どもが楽しく生活できる環境、保護者が安心して預けられる環境を大切に保育をしていくよう努めている。
子育ても仕事もバランス良く両立したいという気持ちが高まりました。不安な気持ちが少し解消され、自分に対して肯定的な気持ちが少し持てるようになりました
仕事に対しても、子どもに対しても、気持ちが前向きになった。
クラスの先生方と協力していくという意識が更に湧いてきた。報告連絡相談を細かく行っている。
専門的意識が高まり、学ぶ事によって自身の保育に対する裏づけとなり、しっかりと目標を持って子どもへも向き合えるようになった。自信へもつながるので、学びたいと思った。
子育てと仕事の両立の上でおきる葛藤を、同じ思いや立場の方々と話したことで、仕事への責任と魅力を再確認しやる気につながっている。職場でのじぶん(中堅)としての役割にも気をつけるよう心掛けるようになった。
たくさんの子どもに囲まれ泣いたり笑ったり、成長していく姿が見られやりがいを感じている。
わが子と照らし合わせながら、保育士として安心できる存在でありたいと思う。
働くお母さんの立場や気持ちに寄り添い受け入れられるようになった。
子どもが大好きでこの職業に就きましたが、人間関係で色々な悩みもしたけど、子ども達に囲まれていると可愛くて、愛おしくて、この仕事をずっと続けたいと自分の気持ちを再確認することが出来ました。自分に子どもが授かり、仕事と子育ての両立に不安や迷いはありますが、研修で知り合った人達の意見を参考に、頑張りたいなあという気持ちが強くなりました。
子育てと仕事の両立は難しいが他のみなさんも工夫したり、周りの人に協力してもらいながら、頑張っていることを知ることができました。
保育の中で、計画した遊びや、活動などを提供した時に、自分が想像した以上の素敵な子どもたちの姿が見られたときや、日々の生活の中で子どもたちの成長を間近で感じる事ができた時など、保育士の仕事をしていてよかったと思い、園児たちへの想いもより深くなります。
自分も子どもたちと一緒に成長していける、学べる職業だと改めて実感した
時間配分を気を付けるようになった
学ぶことの大切さを感じた

仕事と家庭の両立のむづかしさを感じていたが時間の使い方や気持ちの切り替えの仕方などのお話があり、とても参考になり実践できるよう努めている。しかし半年経ち意識が薄れているところもあり仕事がなかなかきりが付けられず効率よく仕事ができないことも多い。
他市の職場の環境や書類等の書き方など、違いがあることに、興味深く聞いていたが、取り入れるまでには至っていない。親になったの目線が変わり、話す内容も伝え方も変わった。研修に参加して、他の方も同じ話をしていたので、自信を持つことができた。研修後は、意識して早く業務を終わらせようと頑張っていたが、時間が経つにつれ、日々の業務でいっぱいになって実行できていない。
保育園に子供を預ける母親の気持ちになって保育をしたり、より子供を大切に思えるようになった。
中堅保育士としての立場を考え、後輩を育てていくためにコミュニケーションを密に取り、言いにくいことも言っていかなければならないと感じた。
自分自身、気持ちの持ち方が変わり、前向きになった
同じ立場で働く保育士と話をすることができたことで大変なのは自分だけではないこと、頑張ろうと思うと同時にできないことはできないと割り切り周りの協力のもとできる範囲で行っていけば良いと思えた。
保護者の方の子供絵の思いを理解し寄り添った関わりや対応が出来るようになり連携が取れるようになった。
わが子との関わる時間がなく悩んでいたが皆一緒に知ったことや短い時間でどのように関わっているのかを知り参考に出来る部分を取り入れている。
保育の原点は何も変わらないという話を聞き子供の成長のことを考え保育することを心がけるようにしたことでより子供の成長に気づき嬉しく思うことが増えた。
研修後は少し意識も変わったが実際に両立していくとやはりむづかしいと思えることがあると感じることもある。
育児休暇後に職場復帰をするにに対して不安や戸惑いがあったが同じ立場の方と話をし、同じように両立に悩んでいること困っていることを知り、頑張ろうと思うことができた
職場内において自分のことばかりを話して理解してもらおうとするのではなく同僚の立場の環境や状況を受け入れることによって自分のことも理解してもらえ職場の関係作りとなっている
保護者の方とも話がしやすくなり、自分自身働きながら子育てをしている同じ立場として理解し合い共感することが出来る様になった
残って作業できない部分やまかせてしまった時には感謝の気持ちを十分伝えるようにし、自分のできることを見つけするようにしている
保護者の思いをよく聞き共感したり自分もそうだということを伝えたりしている
仕事をしていることで、わが子とかかわる時間がなかなか取れず後ろめたい気持ちがあったが、同じような状況にいる方々の話を聞きとても参考になり、短い時間でも子どものことだけを見る時間を持つことの大切さを感じました。
中堅保育士として、後輩や臨時職員に対して見本を示したり、フォローをしたりするよう心がけるようになった
限られた時間の中でも、丁寧に関わるようになった
自分と同じ環境の方がたくさんいて勇気づけられました。みんなががんばっているから頑張ろうと思いました。
我が子に対しても自分ができないことではなく出来ることをしっかりやってあげようと思い少しゆとりを持って接することができるようになりました
あれもこれもと出来ていないところに目が行き落ち込むことが多かったが研修を通して出来るところに目を向けたり出来てないところに目をつむってでも笑顔で子どもと接することを大切にできるようになった
ワークライフバランスは上手くとれていないと思うものの、保育職の魅力を感じながら、日々この仕事を楽しみたいと思うようになった。職場では、できるだけ自分の意見や思い出せるよう努め、また周りの職員と助け合えるような雰囲気大切にしたいと思っている。そして、自分の家庭のことも大切にできるよう切り替えの気持ちを持つよう努めている
様々な価値観の異なる職場の人間関係において、時間や労力を惜しみ、当たり障りのない対応になっている。協力的な家族に対し、感謝の気持ちが薄れてきている
研修では家庭と仕事の両立について、具体的に考える場となった。効率よく仕事をするよう心掛け、職場と家庭でのメリハリを意識できるようになった
自分が子育てすること、保護者の方の悩みに心から共感し、話しができるようになったと思う。
私にとって、我が子が大切なように、保護者にとっても、大事な子を預かっていると思うと本当に可愛くて、子どもたちの日々の成長が楽しみに一人一人にじっくりと向き合って関われるようになりました。
仕事との両立の中、子どもたちの時間が少ないがその時間を濃い時間となるようにスキンシップを図ったり、一緒に遊び、子どもたちが満足いくまで、関わりを持つことを大切に日々過ごすようにしている。
子育てと仕事の両立の大変さを痛感した、どこまでできるか分からないが自分がやれるところまで頑張っていこうという気持ちにはなるが、現状むずかしいなあ・・・と思うことも多々ある、他市町村や保育士の方の意見は参考になったが研修中にもよく話に出ていたが講師や園の上司の方々と時代背景の違いをとっても感じた、時代に合った職場環境作りの大変さ、一園だけでは難しい部分も多くあると思ったので上記のどこに○記をつけていいのか迷いました。
具体的には取り組んでいないが意識はできるようになったと思います。
関わりに自信がもてるようになったと思います。
関わる時は、仕事の事を忘れるようにしています。
育児復帰をしたばかりで、戸惑う私についてきてくれている園児たちや早番から遅番までと負担をかけている自分の子どもにも以前より一層多くの感謝の気持ちが湧いてきた。
周りで育児復帰をしている保育士が少なかったのも同じ立場の方々とお話しできたことで、より頑張ろうと思えたり、自分だけが大変じゃないんだと楽になった。祖父母の協力がなくて続けられないので、いつまで同じ状態で働くことができるかと考えると不安に思う。クラスの子に対して一生けん命向き合っていくことを我が子にも同じように接してあげなければと反省する(仕事に一生けん命だが家ではあまり、かまっていられないので)。
思うように出来ていない現状に悩んでいましたが、研修後、時間の使い方を工夫したり、優先順位をつけて行なうこと、割り切る気持ちを持つことを実践しています。仕事も家庭(子育て)もどちらもあきらめない方法を見つけ、頑張ろうという気持ちになりました。今は迷惑をかけることが多いですが、頼ったり、甘えさせてもらいながら、自分の好きなこと、得意なことでお返しできるように心がけています。
自分の生活リズムを見直し、子どもの時間をつくることを心がけることによって自分の中でも心に少しではあるがゆとりができた。家庭で気持ちにゆとりができてきて、保育所でも子ども達に対しての気持ちに4月の頃より変化ができたと思う。一緒に仕事をしてくださる臨時さんにも、子どもの(クラスの)ことで話し合うことができてきて、関係が以前よりよくなってきたと思う。
自分のまわりに助けてくれる方がいることが分かり、又、職場の方たちの助けもありもっと続けていきたいという気持ちになりました。今後、自分と同じ立場の人がいた時は、フォローしていきたいと思います。

研修を受けて、育休明け不安に思っていた気持ちが少しやわらぎ、保育職の良さも改めて感じる事ができた。今の自分に求められる課題に対し、解決できていないものも多々あるが、前向きに取り組むきっかけになっている。又、子育てに対しても気が楽になった。
同じ立場にいる、他の市の方々と話したり意見交換することで、自分も頑張ろうと励みになったり、家事などで工夫している部分を取り入れたりすることができました。保育者と同時に母として、より意識して保護者の方と関わり、自分の子どもに対しても、一緒に過ごす時間を大切にしようと改めて思いました。
研修は、同世代、同じような立場の保育士が多かったので、悩みを言い合ったり、具体的にどうしているか等話し合うことができ、特に職員関係に関しては改善できるよう自分なりの取り組みをしていこうと思う。
仕事から帰ってからの子どもたちと関わる時間を多く取ろうという意識が強くなりました。職場の雰囲気がより良くなるよう積極的にコミュニケーションをとるようにしています。
色々な方の意見を聞いたことによって自分だけではないんだととても安心することができました。我が子に対しては、時間がなく十分関わってやれていないという申し訳ない思いばかりでしたがある時間のうちに関わってあげられるよう自分の中で工夫できるようになりました。自分も子供を持つ身となり、より、園の子どもたちに対して「大切にあずからなければ」「お母さんと同じくらい愛してあげたい」と思えるようになりました。
クラスの子どもについて上司・同僚と話すようになったことで、成長に気付くことができた。
同じ立場として話を聞いたり、下の子についても声をかけることで、少しホッとした笑顔が見られた。
寝る前に、10分程度あそぶ時間を持つようにしたことで、「今日は何しよう」と楽しみにするようになり、1日の終わりまでせかすことがなくなった。

研修後の実感具体例(障害児)
援助目標を立てるときに毎日出来る生活面にすること、褒めるかかわりを心がけることの大切さを意識して保育するようになった。保護者に対しては、一方的に思いを伝えるのではなく、今の気持ちはどうなのかを考えながらかかわりかたや話し方を意識するようになった。
障がい児保育をしていく上での様々な障がいについての知識や、保育士が子どもたちにどう関わり援助をしていくことが必要なかを丁寧に講義して下さり、障がい児担当としての役割が明確になった。またその中で、子どもたちの成長を見守り、手助けができる保育士という職業の喜びを感じ、現在、「この子には何が必要か、どうすればできるか、どこを援助する必要があるか」を常に考えながら保育をしている。このような意識が変わったのは、研修に参加させていただいたからだと感じている。
保護者に子どもの成長を伝える際は、以前のその子の様子と合わせて伝えるなど、子どもの成長を保護者と喜び合えるような関わりを意識している。
研修を受ける以前よりも、障がい児担当としての役割が分かったように思う。また、保護者に対して寄り添った保護者対応を心掛けるようになったと思う。
日頃クラスに入ると、担当や担任が子どもの対応に困っている場面、また保育士から悩みを多く打ち明けられることがよくあるが、今回の研修で障がい児保育全般を深く学べたことで、その都度的確に答えられるようになった。
自分の経験と学んだことを基盤にして、アドバイスをしたり自分自身が見本となり対応することで、保育士に伝わるものもあり、より信頼関係が深まったと思う。
園児が通所している療育機関に見学へ行くなど、こちらから連携の姿勢をとるようになった。
担当保育士と共に子どもたちに何が出来るかを考え、主任として実践していこうという意識が強くなった。
実際に困っている事例に対する対応の仕方を具体的にがわかりやすく指導していただけたので、もっといろいろな事例に対する対応の仕方を学びたい。
自分のクラスの子に対して関わり方がむづかしいと感じていたが役割が分かり今後の保育に生かせると思う。
子どもや保護者への理解が深まったように思う。特に保護者対応に役立っている。
障がい児保育についての知識はまだ充分ではないが、現任研修を受けた後、他の研修に参加して勉強したいという思いにつながるきっかけになり、学びの機会を得ている。日々の保育に追われ、時として意識が薄れがちな時もあるが、実際の保育を行う中で、この部分はあの時学んだ事につながっていると再確認するようにしている。
障害児保育における基礎知識だけでなく具体的な関わり方を、他市町村の方と考え 合ったり勉強しあったりすることで、自分の保育の振り返りができたとともに、障害児保育担当者として、どう一人一人の子どもと関わっていくべきか役割の大切さを再認識できた。この研修だけにとどまらず、色々な研修に参加し、今後も学んでいきたいと思った。
研修に参加し、自分自身の日常の保育を見直すことができた。「この子にとっての良いかかわり方」について迷いがあつたが、この方法でよいと確認でき自信につながった。また、「必要なかかわり方や欠けていた援助」など、新たな観点から考え反省した。さらに学びを深め、保育に活かしたいと感じた
日々、変化していく障害保育内容の最新版を勉強することができ、とても勉強になった。時間と日数が限られているため、進みが早いように感じたのが残念だった。
障害児保育士として子どもを見る視点を教わり、なぜそのような行動を取っているのか多方面から考え直すことができるようになった。子どもへの理解が深まったことで、保育職としてのやりがいを感じられるようになった。保護者支援では教わった内容を実践することで、良い関係が築けている。
個別に配慮が必要な子との関わり方について学ぶことができ、現場に戻った時に、絵カードを活用することや身の回りのことをするときに子どもができないことがある際、スモールステップを使い目標がより具体的に立てることができるようになった。そのことにより、自信を持って関わりを持つことができています。
子どもたちが感じる思いや心の成長の仕方は日々の保育でもう一度大切にしていきたいと思った。
障害名のついている子だけでなく、気になる子にも今回学んだことが生かせると思った。
気になる子や保護者への関わり方を具体的に学び、研修後、保育に活かしたり、保護者対応への参考にするようにしてきた。
研修に参加することで知識が増えた。実践してみようと思うこともあり、日頃の保育にすぐに活かしていける部分は活かしていった。日頃の保育に追われていたり、内容が広い分、資料を見直す時間がとれなかったり意識が薄れていることは振り返って感じた。
学習のプロセスを伝える時に保育士と関わりを持つことで、形成される信頼関係を大切にしたいと思った。研修を受けた後、支援することだけではなく、心の関わりを大切にしようより意識をするようになった。
課題は見つけられたが、それに対する取り組みはできていない。(思うように進められない)
一人一人に合った保育を考えることの大切さを、あらためて感じている。
障害児や気になる子へのかかわりや、保護者への対応について、事例検討を通して具体的に学ぶことができました。障害児の定義は変わることがあるので、継続して学んでいきたいと思いました。
保護者に対して、気持ちを考え、聞くことを大切にしながら関わるようにしています。同じ障害の名前が付いていても、関わりはまったく違うので、一つ一つ関わりを考え、やった関わりを振り返っていくようにしている。
自分の知識の乏しさを実感するとともに、子どもたちにとってより良い関わりができる
障害児の研修をここまでしっかり受けたのは始めてだったので、今回の研修でもっと勉強したいと思うようになった。また、具体的な対応や考え方を真似、保育士としてもっと成長したいという思いに繋がった。
課題に対する、自分自身に対する意識づけになった。
障害の基礎知識を学び、対応についていろいろな意見をいただき勉強になりました。対応に悩みを抱える保育者もいるので、とても参考になりました。
障害児への援助の仕方等を具体的に学ぶことができたので、子どもについて深く考えようと思えるようになったり、保護者の姿も保育士という片側からの視点からではなく、保護者からの視点でも考えなくてはいいけないということを改めて感じた。障害について理解することは、一人ひとりの子どもの理解が深まっていくことにつながっていくと思うので、具体的な援助の方法やその障害の大まかな特徴を再度詳しく学ぶことができた。
障がいのあるなしに関わらず、一人一人の子どもに合わせた援助をより心がけるようになったり、一人一人のことをよく見て、もっと知ろうという意識が高まった。・障がいのある子の保護者への接し方や声のかけ方など、学んだことを参考にしたり、今の保護者自身の状態について考えるようになった。

保護者支援について、どのように支援していけばよいのか、具体的な方法がわかり、それまで自分の中でどう接していけばよい方法がわからなかったのですが、保護者対応の仕方が変わりました。
障がい児保育は研修だけでなく実践が大切と大学の先生に言われ、担当の子の成長の手助けをしながら、一緒に学んで行っている。
保護者がかかえる内面的な思いに寄り添ったり、「もし、自分の子どもが障害児だったら…」保育士にどんな関わり方をしてもらいたいか考えてから接するように心掛けるようにしている。又、どんな小さな事でも、気軽に話してもらえるように日々保護者との会話や態度など気をつけている。
気になる行動をどのように改善するかでなく、何を今育てる必要があるか考え援助していくようになりました。今回の研修で子どもの特性の理解を深められたことで、どのような援助がその子にとって分かりやすいかを見直すことができました。保護者への関わりでは、研修で学んだ段階をふみながら信頼関係を築けているか振り返りかえり、連携をとっていくように心がけたいと思いました。
障害についてよく分かり子供たちの対応の参考になりよかった。
園内において研修報告後障害をもつ子もたない子に関係なく、子どもや保護者への関わりとして勉強会を行ったが、今は自分自身その意識が薄れてしまっていたことをこのアンケートを行い改めて実感し反省した。
障害児保育士として、見ている子どもたちにとってどんな支援が必要なのかを改めてよく考えるようになった。少しでも園生活を安心して楽しく過ごせるために自分自身が考えることで、子どもの内面理解も同時に今まで以上に考えるようになった。
障害児について今まで自分自身が勉強してきたことの確認だけでなく、新たに学べたことも多かった。より深く勉強したいと思う気持ちが出てきました。子どもたちの困り感についてや保護者への対応などより意識を持って接していけるようになってきた。
研修を通して学んだことによりどうしたらよいのかわかったこと、ヒントになったことが多くありそれを行うことで以前に比べスムーズに子どもと関われるようになった。スムーズになることで関係もスムーズになってきたと感じている。私自身が無理やりだったり変な気負いがなくなってきたことを実感している。
半年経つので、一度資料内容を見直しふりかえりたい。
事例検討のやり方や子ども・保護者に対する見方が変わり、表面的ではなく内面をより深く見ていこうという考え方になってきた。
より専門的な話を聞いたためさらに障害児について学びたいと思った。様々な見方、考え方を知り障害児の理解が深まった。
障害児の基礎知識を学ぶことで改めて一人ひとりを見つめ直すことができるようになった。
他市町村の方々と話をする中で同じような悩みを感じているので自分だけでないことを知った。
健常児と一緒に過ごせるこの時期を大切にしていきたい。
保護者支援の大切さなどもっと学びたい。
援助目標を立てるときに毎日出来る生活面にすること、褒めるかわりを心がけることの大切さを意識して保育するようになった。
保護者に対しては、一方的に思いを伝えるのではなく、今の気持ちはどうなのかを考えながらかわりかたや話し方を意識するようになった。
障がい児保育をしていく上での様々な障がいについての知識や、保育士が子どもたちにどう関わり援助をしていくことが必要なのかを丁寧に講義して下さり、障がい児担当としての役割が明確になった。またその中で、子どもたちの成長を見守り、手助けができる保育士という職業の喜びを感じ、現在、「この子には何が必要か、どうすればできるか、どこを援助する必要があるか」を常に考えながら保育をしている。このような意識が変わったのは、研修に参加させていただいたからだと感じている。
保護者に子どもの成長を伝える際は、以前のその子の様子と合わせて伝えるなど、子どもの成長を保護者と喜び合えるような関わりを意識している。
研修を受ける以前よりも、障がい児担当としての役割が分かったように思う。また、保護者に対して寄り添った保護者対応を心掛けるようになったと思う。
日頃クラスに入ると、担当や担任が子どもの対応に困っている場面、また保育士から悩みを多く打ち明けられることがよくあるが、今回の研修で障がい児保育全般を深く学べたことで、その都度的確に答えられるようになった。
自分の経験と学んだことを基盤にして、アドバイスをしたり自分自身が見本となり対応することで、保育士に伝わるものもあり、より信頼関係が深まったと思う。
園児が通所している療育機関に見学へ行くなど、こちらから連携の姿勢をとるようになった。
担当保育士と共に子どもたちに何ができるかを考え、主任として実践していこうという意識が強くなった。
実際に困っている事例に対する対応の仕方を具体的にがわかりやすく指導していただけたので、もっといろいろな事例に対する対応の仕方を学びたい。
自分のクラスの子に対して関わり方がむづかしいと感じていたが役割が分かり今後の保育に生かせると思う。
子どもや保護者への理解が深まったように思う。特に保護者対応に役立っている。
障がい児保育についての知識はまだ充分ではないが、現任研修を受けた後、他の研修に参加して勉強したいという思いにつながり、学びの機会を得ている。日々の保育に追われ、時として意識が薄れがちな時もあるが、実際の保育を行う中で、この部分はあの時学んだ事につながっていると再確認するようにしている。
障害児保育における基礎知識だけでなく具体的な関わり方を、他市町村の方と考える。合ったり勉強しあったりすることで、自分の保育の振り返りができたとともに、障害児保育担当者として、どう一人一人の子どもと関わっていくべきか役割の大切さを再認識できた。この研修だけでなくとどまらず、色々な研修に参加し、今後も学んでいきたいと思った。
研修に参加し、自分自身の日常の保育を見直すことができた。「この子にとっての良いかかわり方」について迷いがあつたが、この方法でよいと確認でき自信につながった。また、「必要なかわり方や欠けていた援助」など、新たな観点から考え反省した。さらに学びを深め、保育に活かしたいと感じた。
子どもたちを否定的にみて、関わるのではなく、まずは愛着関係を結んでから、子どもたちの伸ばしていきたいことなどに関わることで、子どもたちも挑戦する意欲が生まれるのだと、学ぶことがとても良かった。実際に、子どもの良い所を誉め、認めることで、私の話をよく聞いてくれるようになり、クラスの友だちも、その子たちの発達を受け止めて関わろうとする姿が見られます。そして、これから一生障害を持った子を育てていく保護者支援も必要だと、改めて感じる事ができ良い機会となりました。保護者にねぎらいの言葉をかけることで、本音で話せるようになり、もっとお母さんたちの頑張りを認めていこうと思います。学べたことが生かされているので、概念を踏まえた実践的な内容の研修を教育研修者より受けたいと感じました。ありがとうございました。
自信の課題として、仕事と子育ての両立に不安があつたため、研修で意見交換をして、得た、皆さんの対応法を参考にし、あまり自信を責めずプラス思考で職務に育児・家事にあたるようになった。時間の工夫、家事の工夫の実践をしている。
統合保育の目的を明確に健常児との関わりを考え、保育所としてできること取り組んでいきたい。
関係機関との連携を図りアドバイスの共有をしながら家庭への支援も行っていくこと。
一番学びたかった統合保育が時間の都合でありできなかった。

障がい児保育について、研修を受けさせてもらい、障がい児のことについて、たくさん知ることができた。障がい児や気になる子がクラスの中にいることで大変に感じる時もあるが、その子達のが成長が見られると保育職により魅力を感じられた。また、障がい児と接する中でその子が困っていること、「障がい児にとって良いことは、障がいを持っていない子にも効果的だ！」ということがわかり、自分なりに「こうしてみよう」「あれをやってみよう」と意識的に考えるようになったが、なかなか行動が伴わず、いけないと思い、歯がゆい気持ちになっている。
障がい児を持つ親のショックやその生活(一生)がどんなものかが理解でき、寄り添う気持ちが強く持てた。
こどもたちが、何にどんな風に困っているのか、具体的にディスカッションでき、色々な考えを聞くことができたので、もっと試しにやってみようという気持ちを持てるようになった。
障がい児に対してではなく、子どもへのかかわりの仕方に留意するように心がけている。
新しい考え方や援助方法を知ることができた。
障がい傾向の子どもについての関わりを細かく考え関わる気持ちが持てた。
子どもが1日の中で、できた事や「～すると保育者の言葉を理解できた」など方法を知らせるなど少しの変化も伝えるようになった。
障がいについて学び、自分の知らないことをたくさん得ることができたのでもう少し詳しく知りたいと思った。
職員間で話し合うことで、子どもたちや保護者への対応や気持ちに変化があり、前向きに考えることができた。
たくさんのディスカッションをして、色々な考え方を知ることができた。より、子どもや保護者のことを考えながら保育・養育するように努めるようにしている。
各市町の障がい児への就学支援を聞くことができ、自分の町の障がい児への小学校との連携の在り方がまだ不明確な点があり、園に持ち帰り、確認することができた。障がい児のその後につなげていくフォローや保護者支援も学んでいきたいと思う。
保護者との関わり方について学んだことを、懇談会で生かすことができた。
加配対象児に対して、出来ないことを「直そう」という意識でなく、「フォロー、カバーする」という意識をもてたことで心に少し余裕ができて、声掛けや関わりも具体的にしていけるようになった。
気になる子の行動の原因を、多面的に考えられるようになった。事例検討を研修でやる中で、気になる子の背景にあるものや生活リズムも大きく影響していることを学んだので、子ども理解に生かしていると思う。
研修で再確認できた知識を保護者との懇談などで活用している。

研修後の実感具体例(乳児)
以前より、子どもや保護者の思いを考えて、接したり考えたりするようになった。
グループ討議で各市町村から「この様に環境を工夫している。」「環境の再構成をこうやってみたらどうか」という意見から知り得た情報を生かし、ほふく室、あそびの部屋の環境づくりをした。 片付ける場所が分かる様写真を貼るなど）手作り玩具についての良い案もいただいたので、ぜひ、作ってみたいと思っている。
複数担任の役割について、時々機会を設けて、話し合いをしている。（日案、連携、保育士の動き、行事の進め方など）
環境の大切さ、特に人的環境の大切さを感じ、子どものよりよいモデルとして日々すごしていきたいと思う。
誰とでも隔てなく会話したり、楽しい雰囲気を作ったり、自分のなりに明るい職場作りをしている。
今のクラスの子、今まで関わった子ども達に、もっと良い保育ができればよかった。
ただ話すだけでなく、少しの成長した姿や、保育園での姿を丁寧に伝えるようになった。
経験を積んで何年後かにまた受講したら、また違うことを学べようと思うので。
子どもの困っている行動を悩んでいたが、他受講者との話し合いや講義から、子どものかわり方や子どもを見る目を変え、乳児だからできる個々への温かい見守りが大切だということ学んだ。
乳児同士のかかわりは互いの言葉数が少ない中にもそれなりのやりとりを楽しむ姿がある。そのやりとりを壊さずに見守っていくようにしていきたい。また、大きなけが、事故につながらないよう十分配慮していかなければいけないと再確認した。
保護者対応については、日ごろより子どもの姿の良い面、マイナス面を具体的に伝えていく中で、信頼関係を構築し、保護者と共に子どもを育ていく方向性をもつことの大切さを学んだ。
言葉掛けの内容や音量など、乳児ならではの意識が高まった。
海外の保育を知り、良い刺激となった。
保育士同士、情報を共有し、共通理解するためのボードを、それまで以上に有効利用している。言葉を掛けあうことも増えた。
保育では、子どもの命を絶対守ることが重要であることを再確認し、今まで以上に危機予測をすることや安全な環境を整えることを意識し保育するようにしている。保育士同士で些細なことでも話したり、報告するようにしている。
乳児保育を担当している保育士の思いや困っている点などを知ることができ乳児主任としての役割を認識する貴重な機会になった。
乳児保育について改めて学ぶことができ自信につながった。
職場の雰囲気作りの大切さを感じ、積極的に声をかけたり話し合いの場を持てるように気をつけるようになった。
他市でも抱えている問題が似ていることが分かり、対応策などを聞くことができたのでそれらを参考にしながら取り組んでいる。
保護者の支援や職員同士の連携など学んだことを活かしている。
職員関係がスムーズに行くように雰囲気作りをした。
連絡ノートの書き方など気を付けたり、降園時など会話を多く持つようにした。
保育環境の重要性を改めて感じ、定期的に室内環境を考え玩具の入れ替えや環境の再構成を行った。
乳児保育における保育士が子供や保護者に与える影響の大きさを感じ子どもの発達や特徴を捉え丁寧な対応を意識して行えるようになった。
主と従の関係について異年齢での保育の仕方について参考にして取り入れています。
援助の視点や方法の部分で他国の保育について学ぶことができ自身の保育を振り返る機会となった。子どもたち同士の関わりや自分でやってみようとするすがたをケガの無い範囲で見守り、子どもたち自身の伸びようとする力を大切にしていこう心掛けて保育を行っている。
自分自身、乳児保育経験がほとんどないまま主任という立場になり、不安な部分も多かったのですが、理論として学ぶ事や、他の保育園の先生と交流ができ、とても勉強になりました。また、乳児保育は、子どもの人格形成に多大な影響力があること、保育所における役割が大きいことを再認識できました。保護者とかかわりについても、積極的にコミュニケーションをとったり、園での話をするだけでなく保護者の思いを考えるようになりました。とても有意義な研修であったと思います。ありがとうございました。
「子どもの為に」という思いが強くなりました。生活の中で子どもたちの笑顔や、「楽しい」という言葉が聞け喜びを改めて感じています。
一人一人とより丁寧に関わってこういう意識が強くなりました。内面に寄り添い、温かく、安心できる保育士でありたいと思います。
乳児保育は心と体の発達の基礎を形成する大切な時期ということを保育士がしっかりと認識をし、子どもが安心できる場を作り、信頼できる存在になれるよう努めていきたいと思った。
より良い保育をしていくためには、自分自身が常に学ぶ姿勢・向上心を持っていなければならないと思った。
研修後、自分の保育や園全体の保育を振り返り、連携や一人一人を大切に保育することについて改めて考え直す良い機会になった。
子ども達の成長、発達に合わせた関わりが出来るように、日々子どもの姿をしっかり把握する、また、他の職員とも話し合いを深め、よりよい保育が行えるよう日々の学びあいが大切と改めて感じる事ができた。
改めて学ぶことで再確認できたり、同じ乳児保育に携わる人との意見交換が出来て 有意義な時間を過ごせました。
市の状況や方針によって、保育を構成しているため、自分たちとは違う保育実践を学べ、適切に取り入れている。複数担任のため、職員の関係作りに重要性を置いている。
子どもたちの思いを引き出せるような声掛けをしたり、伝えようとしている時にはその姿を受け止めてゆったりとした雰囲気で待つということにより意識が向くようになった。
子どもの様子だけではなく、保護者の様子も観察し、よりこまめに声をかけ共に喜んだり、考えたりできるようになった。
0歳児の子ども同士の間を長期間に渡りビデオ撮影した記録が印象に残っており、その関わりから子どもから子どもが学びとていくことや保育士の見守る姿勢・観察の重要性が参考になった。
外国の保育について初めて学んだことも多く、スキンシップを大切にする日本の保育観の魅力を再確認したとともに、イタリアでの保育実践を知り遊びに対する視野が広がった。

他の市町村の先生方とじっくりと話し合う場があったことで、自分のクラスの様子をき聞いてもらいアドバイスしてです。もらったり、また、同じような悩みを抱えている先生のお話を聞くことができたりして、有意義な意見交換の時間を過ごすことができました。改めて、「大変だけど、やりがいのある職業」として保育職の魅力を感じることができたと思います。また、講義を受ける中で、子どもの視点で考えることの重要性を学び、子どもの立場に立って保育していきたいと強く思いました。自分のクラスの子どもたちと過ごす時間を、一日一日大切にしていきたい
他市町村の園が行っている遊びを知ることができ、自分の保育にも活かしている。また、最新の保育制度の改革についても学ぶことができ、自分の市では、どのような改革をしているのかを自ら調べ、把握しようとしている。
時代とともに保育が変わってきたり、大学の先生の目線から見た保育。又、若い先生たちの柔軟で、面白い提案など、色々な話も聞けたりしてよかった。その中で実践してみたいこともある。
今回の研修で、乳児期の子どもについて理解を深めたり、話し合うことで、気持ちの受け止め方や、理解の仕方が自分のなかで変わったと感じた。保育士の役割、保護者にとっての保育者の意味を学ぶことができ、保育士という職業の魅力を改めて実感することができた。
現任研修の場では、グループワークを多く行うことによって他の市町村の方との交流ができ、いろいろな意見を知る場となった。今までの保育の現場で培った経験は今の私にはないものなので、貴重な経験となった。先輩保育士には様々な保育士の仕方があると実感した。貴重な経験話を参考に、子どもが遊ぶ時の注意点、玩具の選び方、保育室の環境、保護者との関係を日々の保育に取り入れ、保育士にとっても良い保育となった。
今まで「どうしてもできないのだろう」「やっほいいい」という思いで子どもに接していた部分が、毎日少しずつ成長している子どもたちを認め「ここまでできるようになった」というとらえ方をするよう心がけ、より子どもたちへの思いが深くなった。また、その子どもたちと日々接することができるこの職業は魅力があると感じている。
乳児保育をなるべく大きな集団を小さな集団にして、保育をするようにしている。
今回の研修を通して、保育の奥深さを感じ、より毎日の保育を通して、自分自身を成長させていきたいと思った。また、グループでの話し合いを通して、もっと自発的に学んでいきたいと思った。保護者の気持ちに寄り添うことで、より信頼関係を深めることができた。
いい点を見直すよききっかけとなり、職員間の連携のもと子どもにとってよい保育、私自身も子どもとともに成長し、楽しんでいけるよう努力していきたいと思いました。また、まだまだいろいろな面で勉強していきたいです。そして、乳児期における食育なども勉強したいです。
乳児保育としての仕事や役割がはっきり学べる研修でした。職員との連携をいしきたり、子どもの発達について考え直すきっかけになりとても良かったです。半年たち、少しずつ意識が薄れてきているように感じるので、研修のことを思い出して保育をしていきたいです。
乳児保育は、ゆとりを持って一人一人の発達に合わせて関わることが大切であること。複数担任だと、共通理解や職員間の連携が何より大切になってくるといこと。乳児保育としての仕事や役割がはっきり学べる研修でした。
保護者の方が、話してくださったことに対して、『お話が聞けて良かったです。』と伝えることなど、すぐ実践できることを実際に行っている。また、他市町村のことを聞くことができ、参考になることがたくさんあったので、もっと勉強したいと感じた。
乳児保育の環境として保育者などの人的環境が要であり、自分自身の生活行動、関わりが大きく影響していることを改めて実感した。保育士として今この時を生きている子どもたちと関わることの魅力を感じることができ、感情を共にしながらたくさんの成長を感じられることで子どもに対する思いも深まった。感情を共にしながらたくさんの成長を感じられることで子どもに対する思いも深まった。他市の保育者との話でも色々な違いも感じたが、悩み、工夫など分かり合えることもあり、自信を持つことができた。
職員間での話し合いが今まで以上に必要と感じ、話し合いの場を設けるようにした。今回のアンケートを行って、研修後の意識が薄れていると気づけたので見返したい。
他市の職員とグループ討議をすることで、職員同士の連携やコミュニケーションの取り方等、学ぶことができ、悩んだり大変に思ったりすることもあるが、前向きに取り組めるようになった。保育士の関わりや環境の重要性を学ぶことができ、乳児期の保育の大切さを改めて考えるようになった。
乳児保育の重要性を再認識でき、子ども達のために乳児保育士としてどうあるべきか改めて考えることができた。
4日間充実して学べたことで、他の保育士にも自信を持って学んだことを伝えることができたこと、知識が広がり、よく考えることができるようになったことが自信につながった。
他の園でも職員同士の人間関係には悩み、いろいろ考えて取り組んでいることを知り、私自身も前向きに捉えて頑張ろうと思った。知識が広がるのが楽しく、自分のスキルアップにもつながると思い、もっと詳しく知りたい、もっと話を聞きたいという気持ちになった。
乳児保育は人間形成の基礎を作る土台となり、一人ひとりが尊重される。また0歳児から、子どもと子どもが関わり学べる力があることを理解し、どのように仲立ちしていくかを考えたり、子どもを取りまく環境についても考え実践して行く事で、子ども達・保護者との関わりも広がり、想いもさらに深まったと思います。保育職は子ども達の未来を担う素晴らしい職業であることも再確認できました。
子どもの気持ちを待たせない保育や、普段何気なく行っていること、毎日の単純な遊びなどが大切な発達に繋がっていることを意識して見ていくこと。一人ひとりへの丁寧なまなざしについて。
職員間の共通理解や情報交換について連携に配慮していくこと、役割分担等、声をかけ合い、時には話し合いを設けていきながら行っていくことで円滑に保育を進めていくことを心がけている。
乳児保育の中で、保育士の人的環境の影響は大きいので、子どもへの関わり方や声掛けを意識するようになった。掃除や給食の準備等、雑務ではなく子どもを待たすことなく過ごすために必要なことなので進んでやっていたいかなければならないと思った。そして、保育士同士でしっかりと連携を取り待たせない保育ができるように話し合い実践していかなければならないと感じ、意識するようになった。保育士は、子どもと共に成長できる仕事なのでやりがいや楽しさを実感している。
再度確認ができた。研修を受けたことで他の職員の悩み事などに関しても、アドバイスをしてみたり、一緒に考えてみたりする機会が増えた。これで終わりにせず、子どもの発達や環境改善をしていきたいと思う。
他園の保育士と日頃やっている触れ合いあそびや保育士の連携の仕方、保育室の環境など色々な情報交換ができた。乳児保育の基本を再確認し、乳児救急も学べてよかった。
久しぶりの乳児担当でどのように活動を取り入れたらよいか悩んでいたが研修で乳児は生活(排泄・食事・睡眠)とともに身体を動かして遊ぶことが一番大切であると学んだのでその点を心掛けています。子どもたちを待たせないための工夫として必要な物は(ティッシュ、雑巾、着替え等)すぐ手の届く所に置くこと、保護者と保育所からの連絡の伝達を忘れないようにするためホワイトボードの活用を始めた。
0歳児の担任の保育士として、子どもとの関わりの中で、保育士の存在の大きさを実感しました。また、保護者支援の役割の重要性を実感し、保育士が保護者の子育ての喜びをどうつくることができるかが、支援の意味だと思いました。ありがとうございました。

乳児保育は、人格形成の基礎であることを振り返り、学ぶことができた。子ども一人一人の発達に合わせた対応や複数担任の連携の取り方など、課題としていたことを研修で学んだ。このことを基に職員間で話し合いの場を多く持ち、子どもが心豊かな育ちにつながる丁寧な関わりを意識的に取り組んでいます。
他の園のやり方を聞いたことを保育に生かしている。
保育園で働いているとなかなか勉強する機会がないので、研修を通して勉強できようと思う。研修へ参加することで改めて自分の保育を見直すことができた。新たな気持ちで取り組むことができた。勉強できる機会がたくさんあると良いと思う。
乳児期から将来を見通して子供を理解し対応することが最も大切であることを学んだ。
文字の伝達以上に「会話」でのコミュニケーションが大切であることを認識し心がけている。
言葉のかけ方に気を付け保護者の思いを理解し、受け止め安心できる対応をどの保育士もできるように保育士間で話し合いを行うように心がけている。
乳児保育のあり方について再確認できました。新たな気持ちで取り組んでいます。外国の保育体制や考え方の違いを知り得たことはとても勉強になりました。今後に生かしていきたい。他市町村の保育士の方との交流では保育の仕方にも様々な違いがあることを知り、意見交換ができたのでとてもよかったです。
子どもにとって、保育をする上で必要なことを再確認できた。新たな知識を得ることができた。
乳児保育のあり方について再確認できました。新たな気持ちで取り組んでいます。外国の保育体制や考えの違いを知り得たことはとても勉強になりました。今後に生かしていきたい。他市町村の保育士の方との交流では保育の仕方にも様々な違いがあることを知り、意見交換ができたのでとてもよかったです。
乳児期の保育の大切さをより細かく学ぶことができ、日々の振り返りにつながった。大切な時期を保育しているという実感がより深まった。様々なことを学び子どもの見方も変わった。
保育士同士の連携を改めて考えるようになった。子供たちとの接し方を自分なりに考えるようになった。
乳児保育における保育士の連携について悩んでいたが他市町村の方の話を聞き情報交換をすることで自分が今後どうしていきたいか考え直すことができた。園内研修でも議題にし職員全体で考えることもできた。
連携の取り方、大切さを改めて考え直し日々保育にあたっている。
乳児が大人に対し生理的欲求を満たされることによって信頼を得るという学びから研修前よりさらに丁寧に子供の欲求をその都度満たそうという意識が高まった。
保護者との関わりの中で子どもと保護者の関係が良くなるようにする声掛けを考えるようになった。
保育に生かすため自分自身も生活の中で音楽を聴いたり絵を見たり感性を高めるように意識するようになった。
研修を受講するまでは保育技術の向上ということばかり意識をしていた(知識は大学等で学んできたものをベースに保育に努めようと思っていた)が時代によって保育も常に変化していることを知り、知識の見直しや本当に正しい知識なのか再度学ぶことの大切さを感じた。自分に対する課題が見つかったのでこれからまた新たに学んで経験していきたい。
他の園の先生方との意見交換ができ保育士としての子どもたちの見方、環境の見方が変わった。研修後は覚えたことを実践してみたり先生方との話し合いにも意欲的に発言できている。
以前より、子どもや保護者の思いを考えて、接したり考えたりするようになった
グループ討議で各市町村から「この様に環境を工夫している。」「環境の再構成をこうやってみたらどうか」という意見から知り得た情報を生かし、ほふく室、あそびの部屋などの環境づくりをした。片付ける場所が分かる様写真を貼るなど)手作り玩具についての良い案もいただいたので、ぜひ、作ってみたいと思っている
複数担任の役割について、時々機会を設けて、話し合いをしている。(日案、連携、保育士の動き、行事の進め方など)
環境の大切さ、特に人的環境の大切さを感じ、子どものよりよいモデルとして日々すごしていきたいと思う
誰とでも隔てなく会話したり、楽しい雰囲気を作ったり、自分のなりに明るい職場作りをしている
今のクラスの子、今まで関わった子ども達に、もっと良い保育ができればよかった
ただ話すだけでなく、少しの成長した姿や、保育園での姿を丁寧に伝えるようになった
経験を積んで何年後かにまた受講したら、また違うことを学べると思うので
子どもの困っている行動を悩んでいたが、他受講者との話し合いや講義から、子どものかかわり方や子どもを見る目を変え、乳児だからできる個々への温かい見守りが大切だということ学んだ
乳児同士のかかわりは互いの言葉数が少ない中にもそれなりのやりとりを楽しむ姿がある。そのやりとりを壊さずに見守っていくようにしていきたい。また、大きなけが、事故につながらないよう十分配慮していかなければいけないと再確認した
保護者対応については、日ごろより子どもの姿の良い面、マイナス面を具体的に伝えていく中で、信頼関係を構築し、保護者と共に子どもを育ていく方向性をもつことの大切さを学んだ
言葉掛けの内容や音量など、乳児ならではの意識が高まった
海外の保育を知り、良い刺激となった
保育士同士、情報を共有し、共通理解するためのボードを、それまで以上に有効利用している。言葉を掛けあうことも増えた
保育では、子どもの命を絶対に守ることが重要であることを再確認し、今まで以上に危機予測をすることや安全な環境を整えることを意識し保育するようにしている。保育士同士で些細なことでも話したり、報告するようにしている
乳児保育を担当している保育士の思いや困っている点などを知ることができ乳児主任としての役割を認識する貴重な機会になった
乳児保育について改めて学ぶことができ自信につながった
職場の雰囲気作りの大切さを感じ、積極的に声をかけたり話し合いの場を持てるように気をつけるようになった
他市でも抱えている問題が似ていることが分かり、対応策などを聞くことができたのでそれらを参考にして取り組んでいる
保護者の支援や職員同士の連携など学んだことを活かしている
職員関係がスムーズに行くように雰囲気作りをした
連絡ノートの書き方など気を付けたり、降園時など会話を多く持つようにした
保育環境の重要性を改めて感じ、定期的に室内環境を考え玩具の入れ替えや環境の再構成を行った
乳児保育における保育士が子供や保護者に与える影響の大きさを感じ子どもの発達や特徴を捉え丁寧な対応を意識して行えるようになった
主と従の関係について異年齢での保育の仕方について参考にして取り入れています
援助の視点や方法の部分で他国の保育について学ぶことができ自身の保育を振り返る機会となった。子どもたち同士の関わりや自分でやってみようとするすがたをケガの無い範囲で見守り、子どもたち自身の伸びようとする力を大切にしていこう心掛けて保育を行っている

自分自身、乳児保育経験がほとんどないまま主任という立場になり、不安な部分も多かったのですが、理論として学ぶ事や、他の保育園の先生と交流ができ、とても勉強になりました。また、乳児保育は、子どもの人格形成に多大な影響力があること、保育所における役割が大きいことを再認識できました。保護者とかかわりについても、積極的にコミュニケーションをとったり、園での話をするだけでなく保護者の思いを考えるようになりました。とても有意義な研修であったと思います。ありがとうございました
「子どもの為に」という思いが強くなりました。生活の中で子どもたちの笑顔や、「楽しい」という言葉が聞け喜びを改めて感じています
一人一人とより丁寧に関わっていかうという意識が強くなりました。内面に寄り添い、温かく、安心できる保育士でありたいと思います
乳児保育は心と体の発達の基礎を形成する大切な時期ということを保育士がしっかりと認識をし、子どもが安心できる場を作り、信頼できる存在になれるよう努めていきたいと思った
より良い保育をしていくためには、自分自身が常に学ぶ姿勢・向上心を持っていなければならないと思った。
研修後、自分の保育や園全体の保育を振り返り、連携や一人一人を大切に保育することについて改めて考え直す良い機会になった
子ども達の成長、発達に合わせた関わりができるように、日々子どもの姿をしっかり把握する、また、他の職員とも話し合いを深め、よりよい保育が行えるよう日々の学びあいが大切と改めて感じる事ができた
改めて学ぶことで再確認できたり、同じ乳児保育に携わる人との意見交換が出来て 有意義な時間を過ごせました
市の状況や方針によって、保育を構成しているため、自分たちとは違う保育実践を学べ、適切に取り入れている。複数担任のため、職員の関係作りに重要性を置いている
乳児クラスを担当して、乳児保育の奥深さを痛感している。乳児の出生以後の育ちについてもっと勉強したいと思った。子どものペースに合わせてかかわることや、保護者と信頼関係をしっかりと築くことの大切さをこの研修で改めて感じた。
研修を受け、乳児保育士としての役割などよくわかり、色々なことが勉強になったが半年がたち、徐々に意識が薄れてきたと感じます。資料を見直すこともあるが、見るだけでなく、もっと意識や行動につなげていきたい。
今年度は子育て支援制度センター勤務のため、保育園のように常に障がい児と接しているわけではないが、月に5回、検診の事後フォローの会を担当しているので、その会がより良いものになるよう今回研修で得たことや他の市町村を参考に取り組んでいる。
保護者との連携、保育士との連携について、他の市町村の先生の話なども聞き、工夫した点など知ることができただけでなく、同じような悩みを、持っているのがわかり、みんな同じような頑張っているということが力になった。
研修に参加させて頂き、乳幼児期がとても大切な重要な時期であるかを再確認することができました。とても大切な役割のある仕事をしているのかを再確認しました。子どもたちは、1日1日成長しているため、1人ひとりとしてしっかりと関わっていきたく思います。また、子ども園が増えてきていることなどもわかりました。ありがとうございました。
保護者との関わりについて学ぶことが多かったので、改めて今まで以上に信頼関係をしっかりと築いていこうという意識が持てるようになった。
まずは自分のやるべきことを前に前に進め、良い雰囲気です子供たちと関わっていきたくと改めて感じた。正規・パート間などの連携もしっかりと、とっていきたくです。
働いている保護者の代わりとなれるよう、愛情をもって接するという役割が再確認ができた。
イギリスやフランスの保育を知れたことで視野が広がり、1つのやり方に固定されずに保育をしても良いことを感じられたため、自信につながった。
他市町村の保育士との情報交換ができたことで、皆、さまざまな工夫をしていることが分かって、魅力を感じられた。
遅番・早番の連絡ノートを活用している。
環境についての見直し、間仕切りやおもちゃ作りに研修会での学びを生かすようにしました。
乳児の発達について、改めて学び、生活や遊びの中で意識したいとおもいました。
他市町村の保育士との話し合いが出来たことで、自分の未熟さや思慮の浅さを感じた。子どもに関わる仕事もしているということはそれだけの責任と考え方を持って動く必要があるのだと改めて感じる事ができる研修だったと思う。自分自身の刺激のためにも、資料を見直したり参考書を読んだりして、保育に関する知識を深めていきたい。
子どもの成長の中の乳児として一番はじめの時期の成長の大切さを十分に理解することができた。日々の保育に役立てるよう今後も自己研鑽し、実践していくように心がけたい。
・子どもたちの発達について再度確認し、日頃の保育を見直した。・保育室の環境について担任同士で話し合い、落ちついて遊べる環境や、子どもたちの興味、関心に合った遊具を用意するなどした。・保護者対応については、できるだけ会って話をする機会をもうけ、子どもたちの様子を具体的に伝えるように心がけている。
研修で乳児保育の専門的なお話を聞いたり、乳児クラスを担当している先生方とお話をしたりしていく中で、自分の保育や子どもたちとの関わりを振り返ったり、今後、どのように関わっていくといいか考えていくことができたと思います。
より思いは強くなったが、少し意識は薄れてきていた。これを期に、今一度資料を見直し、再確認していきたくです。
研修で学んだ保育室の環境構成や子ども同士の関わり方を参考に実践している。
研修で得た知識や技術(救急、手あそび等)を、他の乳児保育士に伝え、共通理解できるよう努めている。(月1回の乳児会議等で)
子どもたちが受け取りやすい言葉などの伝え方をし、1人ひとり丁寧にしっかりと関わっていかうという意識をクラスの先生全員で持つことができた。
新しい保育制度について知ることができた。また、乳児期の大切さを改めて知る研修であった。定期的に資料を見直し日々の保育に生かしていきたい。
研修に行く事で今まで気付けなかった事や、他の市町の取り組み方などを知る事などができて勉強になった。
すぐに実践できることばかりではないが、研修で明確になった課題について意識をしながら保育をするようになった。
乳児保育を様々な分野から学べとても勉強になった。改めて、子ども達の発達を踏まえながら、丁寧にじっくり関わっていかうと思った。また、子どもとの関係だけではなく、保護者への対応や子育てをめぐる社会情勢など、保育士として学ばなければならない知識はまだまだまだたくさんあると感じた。それと同時にとてもやりがいのある仕事だと感じる事が出来た。ありがとうございました。
いろいろな分野から、乳児保育について学ぶことが出来て良かった。また、他職員にも発表したことでより学びになった。
乳児は人的環境としての保育者の存在がとても重要であり、育ちに大きく関わっていると改めて学んだ。
日々の関わりを通して子どもたちの成長を見守ることのできるところが、素敵だと改めて思った。
日々の保育を振り返ることが大切で、毎日今日の子どもたちの姿に思いをはせるように心がけている。
手あそびやふれあい遊びを通して育つことがあるという事を学び、心を通わせながら育ちに関することができていると感じ、うれしく思う。また、色々な角度から子どもの姿を捉えるよう努めるようにすることで新たに子どもの気持ちに気付くことができ想いがより深くなったと思う。

共感的応答の大切さを学び、連絡を伝えることだけではなく思いを受けとめたり何気ないコミュニケーションを通して信頼関係を築けるようより気をつけるようになった。

乳児保育士としての役割を再確認できたり、知らなかった役割を学べたりして研修後すぐに自分の保育に取り入れることができた。取り入れたことにより、より良い保育をすることができている。